

小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進学・就職・出産・子育てなどに関する意識調査
報告書

平成28年3月
小金井市

目次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 実施概要	1
3. 報告書におけるグラフおよび表の見方	2
4. 標本誤差について	2
第2章 調査結果まとめ	3
1. 住民の居住年数と出身地	3
2. 転入した理由	3
3. 学生の進学・就職に対する意識	3
4. 子どもの数	3
5. 理想とする子どもの数	3
6. 出産と就業継続について	4
7. 住みやすさについて	4
8. 定住意向について	4
第3章 アンケート結果	5
1. 回答者について	5
2. 転入した理由や選択理由について(転入者向け)	11
3. 高校・大学等の卒業後の進路や就職観について(学生向け)	14
4. 出産・子育てに関する意向について	18
5. 小金井市の住みやすさや定住意向について	25
第4章 分析編	27
1. 性別・年代別による分析	27
2. 居住地区による分析	37
3. 出身地・居住年数による分析	38
3. 子どもの有無による分析	41
4. 住みやすさや定住意向による分析	43
第5章 自由回答のとりまとめ	47
第6章 調査票	71
1. 若年世代の進学・就職・結婚・出産・子育てに関する意識調査	71

第1章 調査概要

1. 調査目的

小金井市人口ビジョン及び小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、人口変動に影響を与える、進学・就職・出産・子育てに関する実態や考え方を伺い、今後の取組を検討する際の基礎資料を得ることを目的としています。

2. 実施概要

(1)対象者:

小金井市に住む16歳から39歳の方

(2)調査期間

平成27年7月29日(水)～8月17日(月)

(3)対象者数

2,000名

(4)集計数

482名

(5)回収率

24.1%

3. 報告書におけるグラフおよび表の見方

- ① グラフ内の「N」は、設問に対する回答の合計数です。
- ② 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、グラフ中の回答比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答を求めた設問(設問の末尾に(○はあてはまるものすべて)、(○は3つまで)と記載されているもの)は、設問に対する回答者数を母数として各選択肢の割合を算出しているため、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ④ 単一回答を求めた設問(設問の末尾に(○は1つだけ)と記載されているもの)は、選択肢を選ばなかった方も含めて集計しています。複数回答を求めた設問は、選択肢を選ばなかった方は除いて集計しています。
- ⑤ 各設問にて性別、年代別等を分析軸としたクロス集計を行なっていますが、分析軸となる設問で「無回答」と回答した人数は割愛してクロス集計をしているため、性別・年代別の各人数を合計しても、回答者総数にはならない場合があります。

4. 標本誤差について

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数(n、回答者数)、回答の比率(p)によって誤差範囲が異なります。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合です。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数です。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N:母集団、n:サンプル数(有効回答数)、p:回答比率

○進学・就職・出産・子育てなどに関する意識調査 (N=37,918)

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
482	2.66	3.54	4.06	4.35	4.44
324	3.25	4.34	4.97	5.31	5.42

※Nは平成27年7月1日現在の16～39歳の男女の人口(外国人住民を含む)

○この表の見方

例えば「ある設問の回答者数が482人おり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.35以内である」とみることができます。

第2章 調査結果まとめ

1. 住民の居住年数と出身地

- 生まれてから小金井市に住み続けている人は15.6%で、ほとんどの人が市外から引っ越してきた人です。
- 居住年数が5年未満の人が51.8%を占めます。
- 出身地は、東京都以外の人が54.8%を占めます。

2. 転入した理由

- 理由は「結婚のため」「住宅の都合(購入・借換など)」が多いです。
- 小金井市を選んだ理由は「通勤・通学に都合がよかったから」「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」「希望した広さの住宅があったから」といった、交通アクセスや住宅事情に関するものが多いです。
- 一方、「みどり・水辺などの事前環境がよいから」「街並みや街の雰囲気がいから」「静かな環境で生活したかったから」といった、住環境を理由とする人もいます。

3. 学生の進学・就職に対する意識

- 大学進学時には「自宅から大学に通いたい」が65.4%であるのに対し、「自宅から離れて大学に通いたい」という回答はありません。
- 就職時に、自宅に住み続けたいと思う人は29.9%です。
- 就職時に市外で暮らし、働きたいと思う人は9.1%です。

4. 子どもの数

- 子どもがいる人は41.1%です。そのうち、子どもが1人は52.5%、2人が38.4%です。

5. 理想とする子どもの数

- 最終的に持つつもりの子どもの数(予定している子どもの数)は、2人が53.7%で最も多く、2人以上の子どもの持とうとする人が67.8%います。
- 全体の26.6%の人が理想よりも少ないと回答しています。その理由は、男女ともに資金面が最も多いですが、男性では住宅が理由になっているのに対して、女性では仕事や体力に関する理由が選ばれています。
- 理想とする子どもの数は、2人が45.4%で最も多く、次いで3人が25.9%です。2人以上の子どもの持ちたい人は73.6%となり、予定している子どもの数の場合よりも、5.8%増えます。
- 予定している子どもの数の平均が1.64人であるのに対して、理想とする子どもの数の平均は1.83人となっています。
- 子どもを産み育てやすくなるための条件では、子どもがいる人では保育園・児童館などの子育て環境が最も求められており、一方で子どもがいない人では子育て費用の負担軽減が求められています。

6. 出産と就業継続について

- 女性のうち、出産にともない仕事を辞めたことのある人は49.7%、辞めたことのない人は49.0%です。
- 家庭と仕事の両立が難しいという理由が多い(28.2%)ですが、積極的に仕事を辞めた人も少なくありません(21.1%)。

7. 住みやすさについて

- 住みやすいと思う人は75.9%います(「住みやすい」「どちらかというと住みやすい」の合計)。「住みにくい」「やや住みにくい」の合計は9.1%と少ないです。
- 年代でみると、男女ともに20歳代よりも30歳代の方が「住みやすい」と思う人は少ないです。
- 子どもの有無でみると、子どもがいない人の40.1%が住みやすいと思っているのに対して、子どもがいる人では24.2%となります。
- 地区別でみると、武蔵小金井地区がやや高いですが、総じて7割の人が住みやすいと思っています。

8. 定住意向について

- 58.7%の人が定住意向を持っています(「住み続けたい」「どちらかというと住み続けたい」の合計)。
- 性別・年代でみると、10歳代の男性で定住意向がやや低い以外は、総じて高いです。
- 住み続けたい街としては、安全・安心のほか、日常生活や街の利便性、住環境のよさが挙げられています。

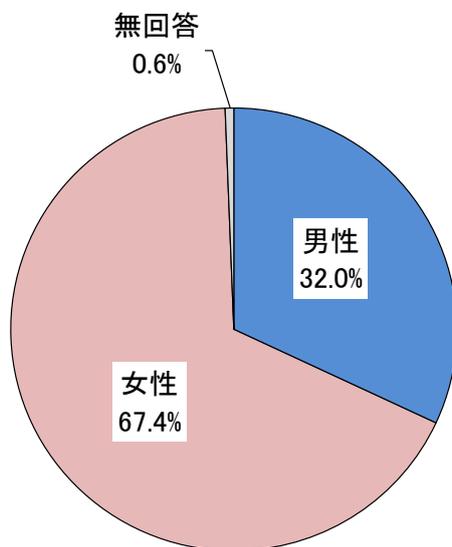
第3章 アンケート結果

1. 回答者について

問1 性別(○は1つだけ)

「男性」は32.0%、「女性」は67.4%です。

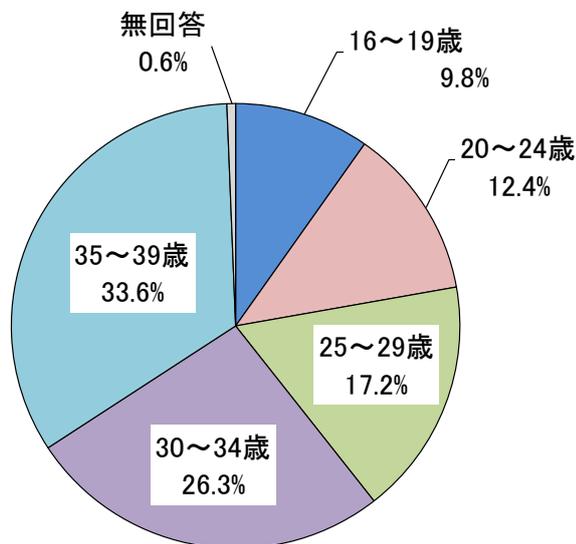
N=482



問2 年齢(○は1つだけ)

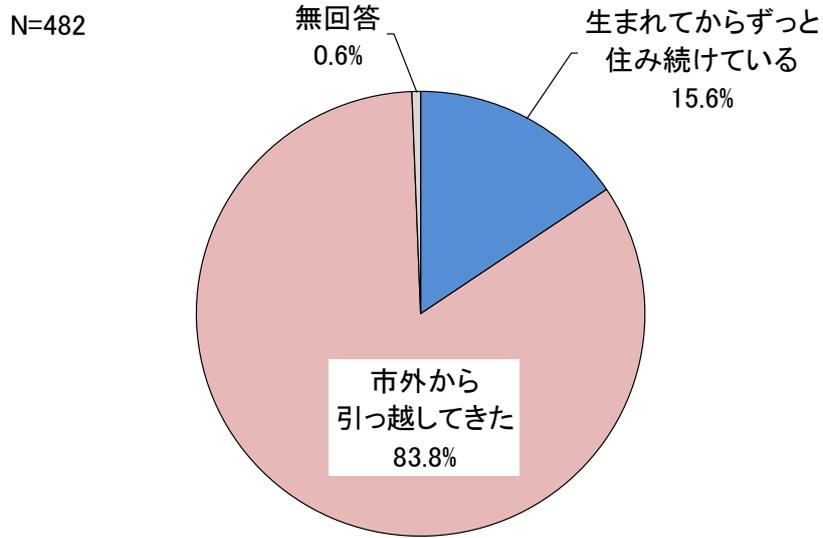
「35～39歳」が33.6%で最も多く、次いで「30～34歳」が26.3%、「25～29歳」が17.2%で続きます。

N=482

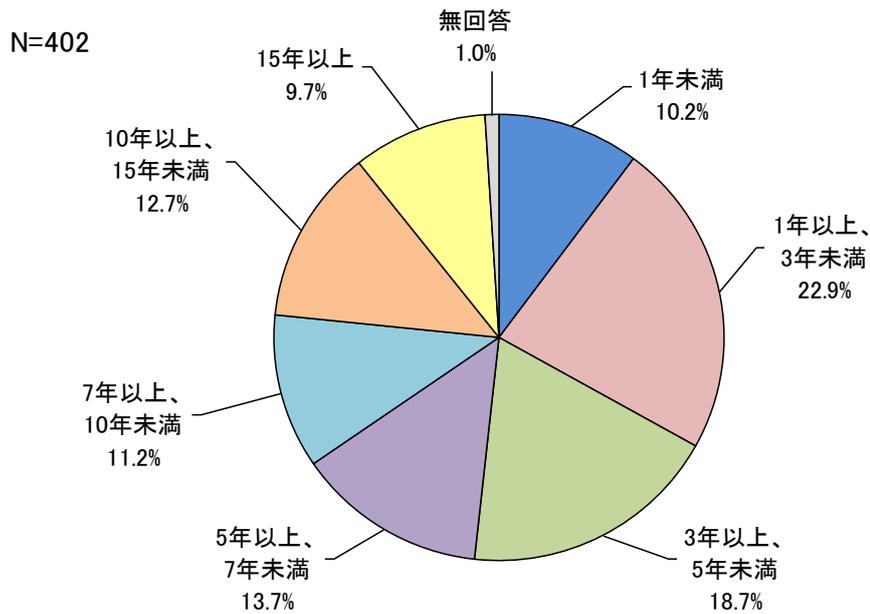


問3 小金井市での居住年数(○は1つだけ)

「生まれてからずっと住み続けている」は15.6%、「市外から引っ越してきた」が83.8%です。

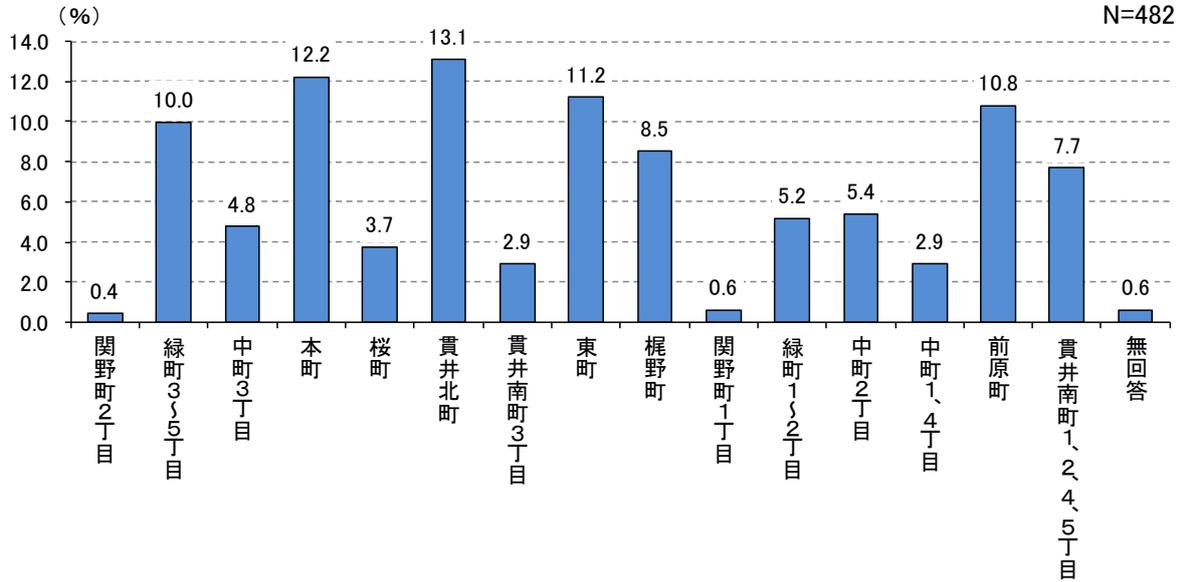


市外から引っ越してきた人(402人)の居住年数を見ると、「1年以上、3年未満」が22.9%で最も多く、次いで「3年以上、5年未満」が18.7%、「5年以上、7年未満」が13.7%で続きます。



問4 あなたのお住まい(〇は1つだけ)

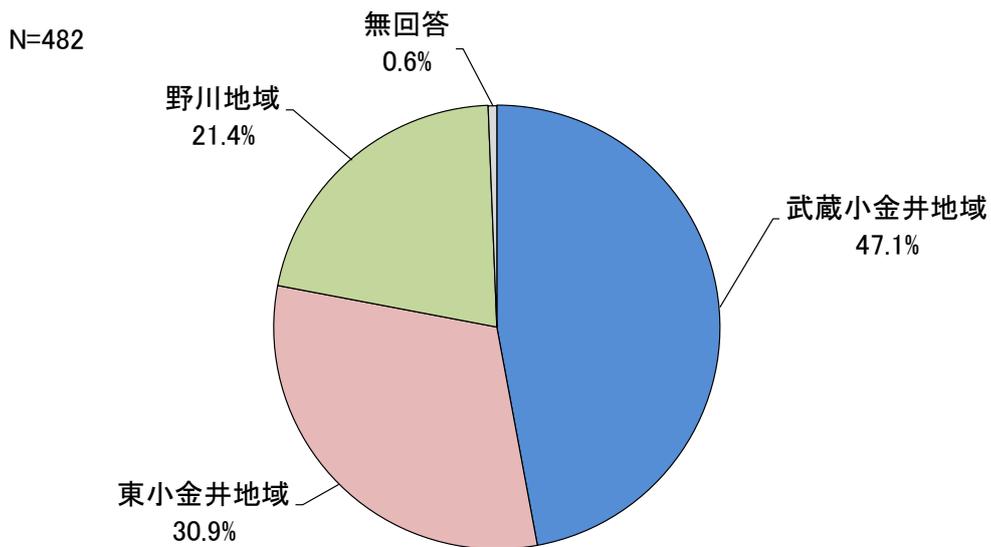
町丁目別にみると、「貫井北町」が13.1%で最も多く、次いで、「本町」が12.2%、「東町」が11.2%で続きます。



各町丁目を次の3つの地域に区分して分析を続けます。

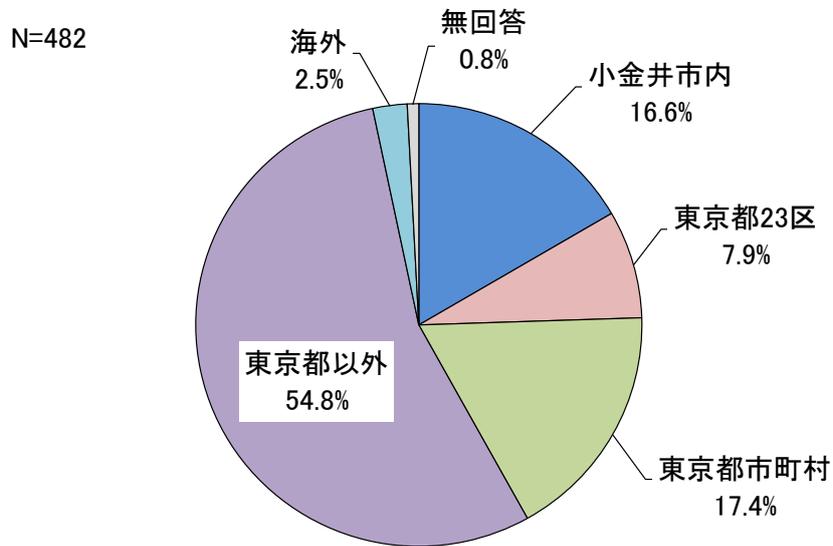
武蔵小金井地域	関野町2丁目、緑町3~5丁目、中町3丁目、本町、桜町、貫井北町 貫井南町3丁目
東小金井地域	東町、梶野町、関野町1丁目、緑町1~2丁目、中町2丁目
野川地域	中町1、4丁目、前原町、貫井南町1、2、4、5丁目

「武蔵小金井地域」が47.1%、「東小金井地域」が30.9%、「野川地域」が21.4%です。



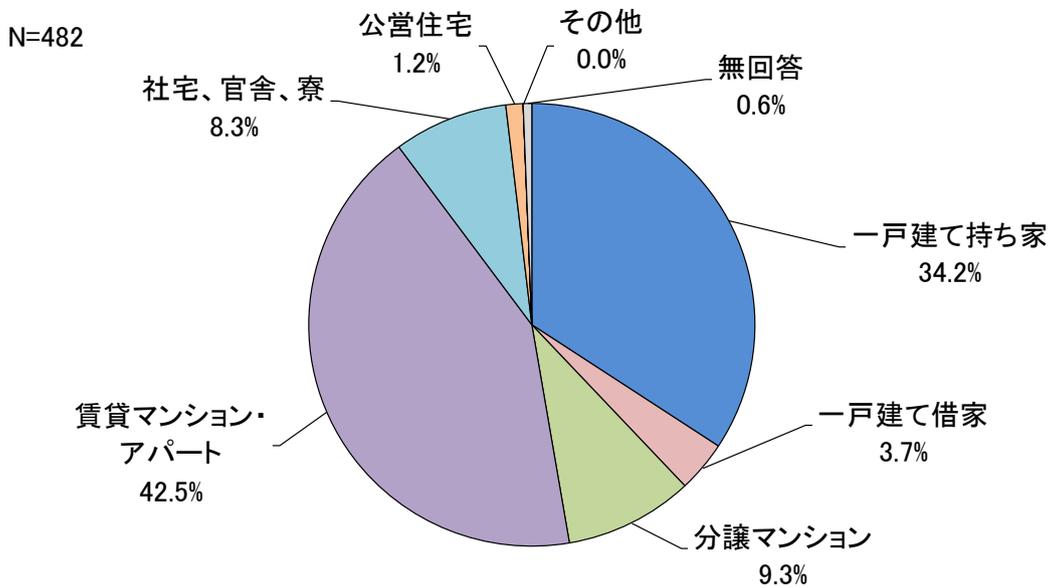
問5 あなたの出身地(○は1つだけ)

「東京都以外」が54.8%で最も多く、次いで「東京都市町村」が17.4%、「小金井市内」が16.6%で続きます。



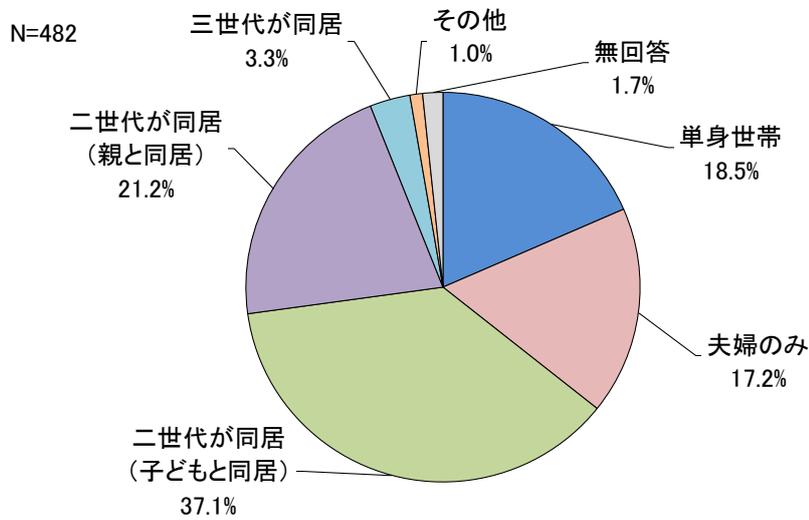
問6 あなたのお住まい(住居)(○は1つだけ)

「賃貸マンション・アパート」が42.5%で最も多く、次いで「一戸建て持ち家」が34.2%で続きます。分譲マンションを含めると、持ち家は43.5%です。一戸建ては37.9%です。



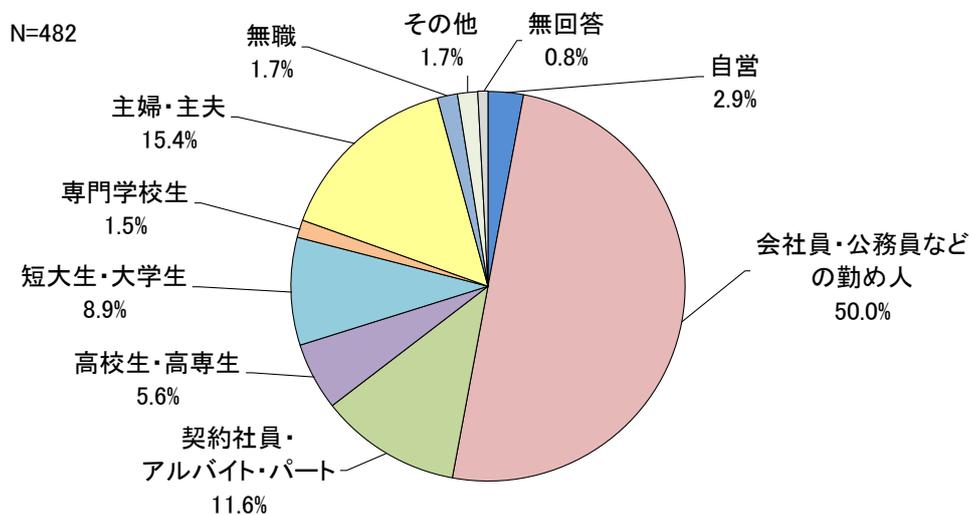
問7 あなたの世帯構成(○は1つだけ)

「二世帯が同居(子どもと同居)」が37.1%で最も多く、次いで「二世帯が同居(親と同居)」が21.2%、「単身世帯」が18.5%、「夫婦のみ」が17.2%で続きます。



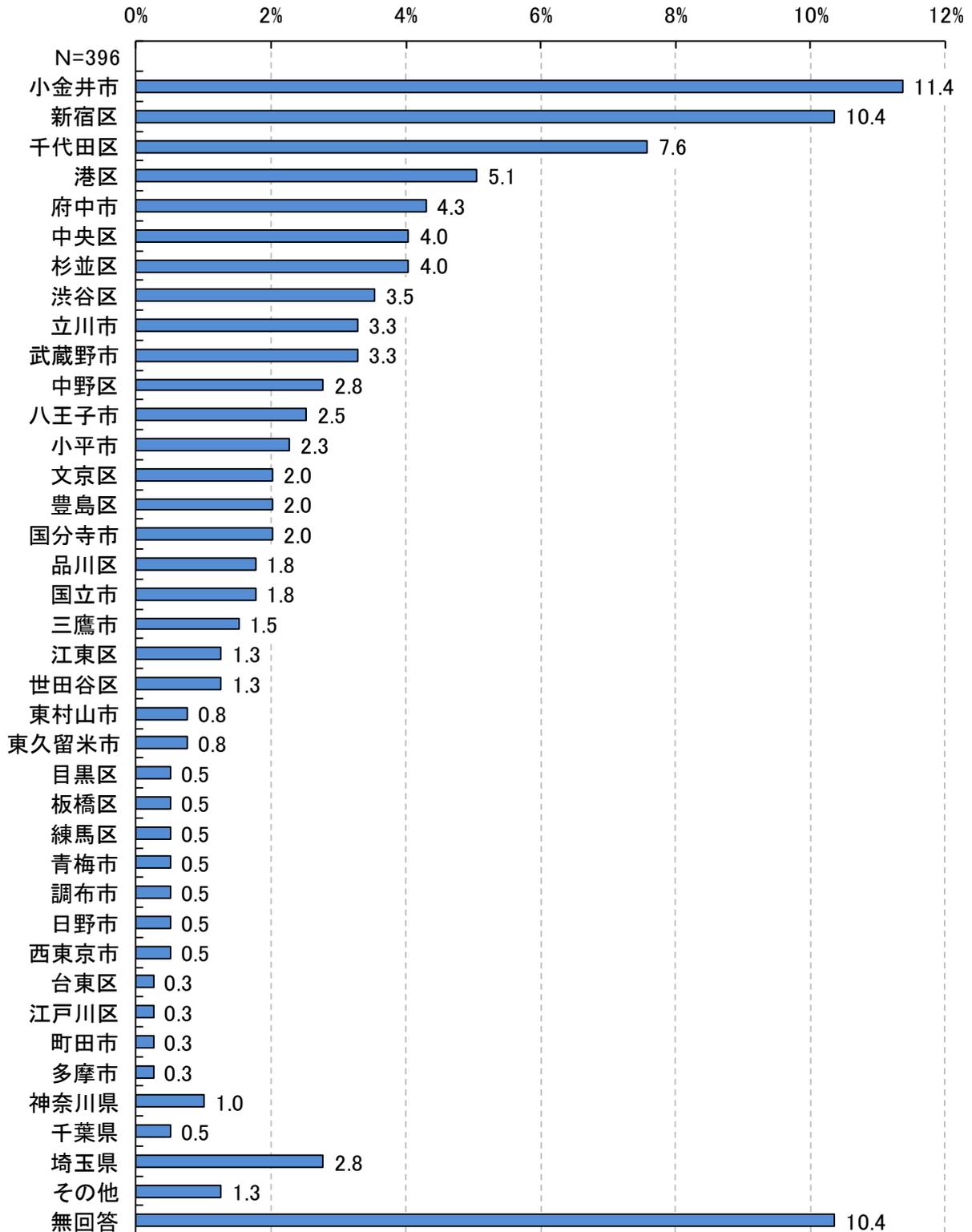
問8 あなたのお仕事(○は1つだけ)

「会社員・公務員などの勤め人」が50.0%で最も多く、次いで「主婦・主夫」が15.4%、「契約社員・アルバイト・パート」が11.6%、「短大生・大学生」が8.9%で続きます。



問9 問8で「自営」「会社員・公務員などの勤め人」「契約社員・アルバイト・パート」「高校生・高専生」「短大生・大学生」「専門学校生」を選択した人にお伺いします。どちらまで通勤・通学されていますか。(自治体名を記入ください) 《問8で上記6つの選択肢を選択した396名が対象》

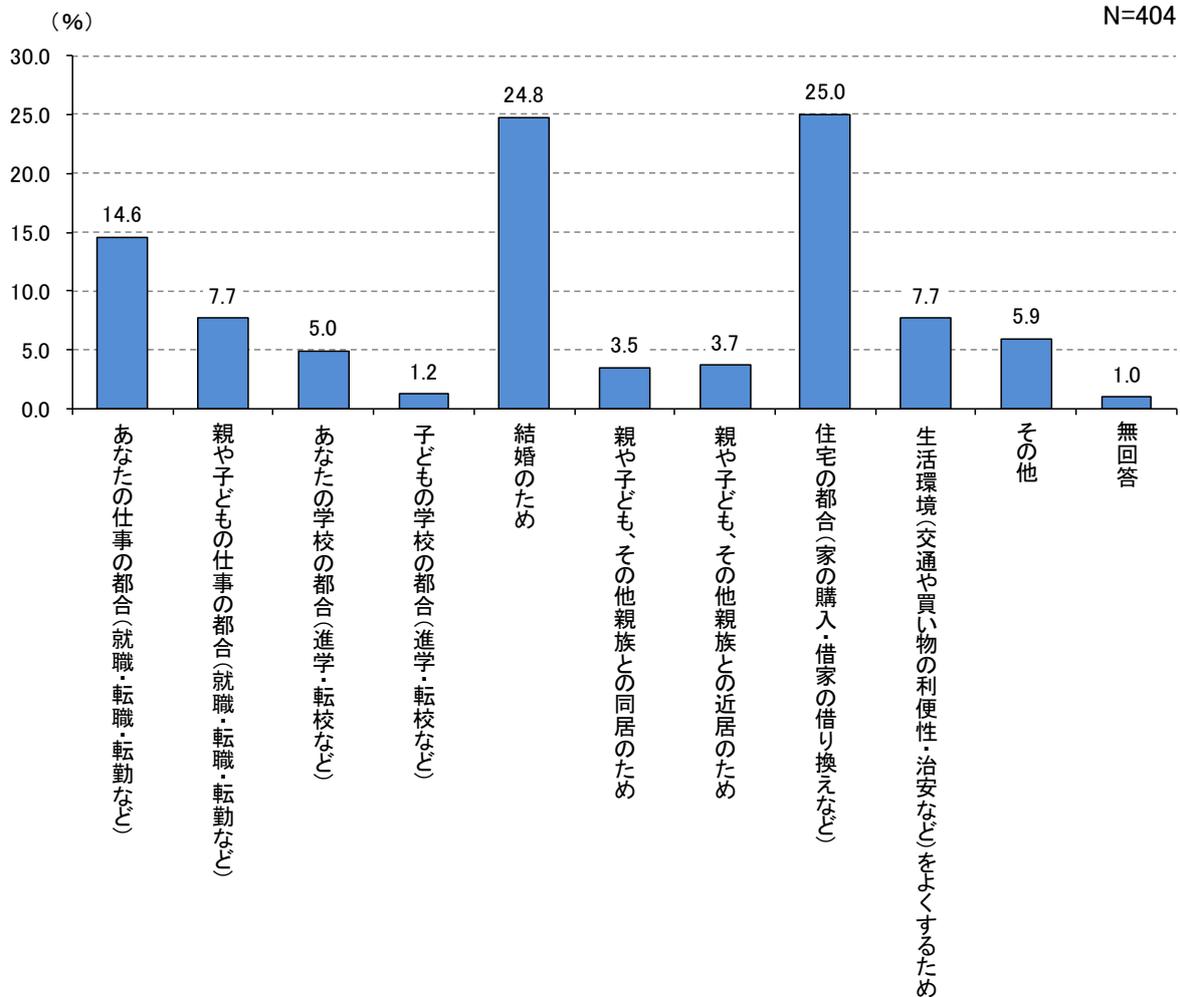
「小金井市」が11.4%で最も多く、次いで「新宿区」が10.4%、「千代田区」が7.6%で続きます。



2. 転入した理由や選択理由について(転入者向け)

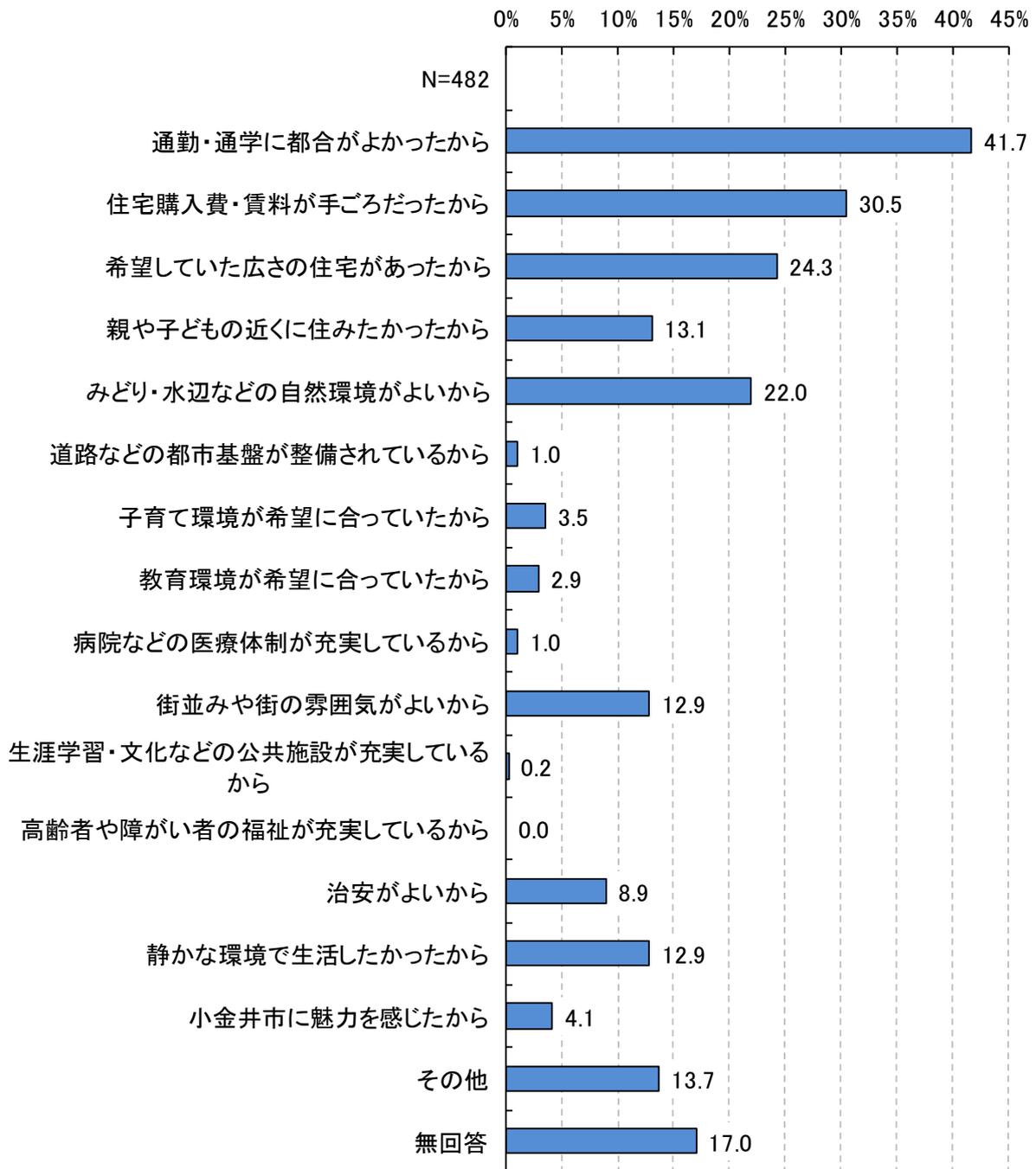
問10 転入の理由は何ですか。(最も大きな要因1つに○) 《問3で「市外から引っ越してきた」を選択した404名が対象》

「住宅の都合(家の購入・借家の借り換えなど)」が25.0%で最も多く、次いで「結婚のため」が24.8%、「あなたの仕事の都合(就職・転職・転勤など)」が14.6%で続きます。「その他」の意見としては、夫の仕事の都合に関することが主に挙げられています。



問11 小金井市を選択した理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて) 《問3で「市外から引っ越してきた」を選択した482名が対象》

「通勤・通学に都合がよかったから」が41.7%で最も多く、次いで「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」が30.5%、「希望していた広さの住宅があったから」が24.3%、「みどり・水辺などの自然環境がよいから」が22.0%で続きます。「その他」の意見としては、社宅・官舎などがあったことや実家・親の家があったことが主に挙げられています。



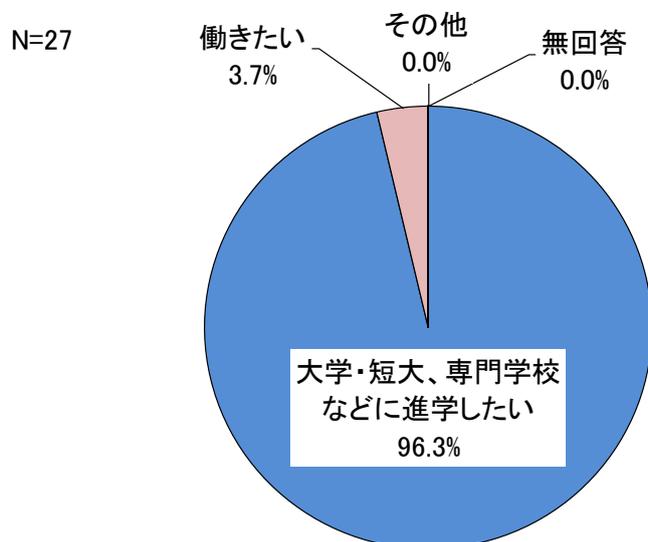
問11-1 問11で「小金井市に魅力を感じたから」を選択した方にお伺いします。あなたが感じた小金井市の魅力は何ですか。具体的に書いてください。《問11で上記の選択肢を選択した20件が対象》

- ・中央線が通っていて桜が美しい
- ・駅が小さいので家からの距離が近く感じる。駅前のお店が色々ある。静かである。車が小さい。
- ・自然を愛する宮崎駿氏が本拠地を置いているので、緑が多いイメージがあった。
- ・中央線沿いで大きな公園があつて、人混みにならないことが理由です。
- ・自然が多くて緑が豊かな為
- ・中央線沿い、西へも東へも行き易い。緑豊か。
- ・子育てするには良い環境である事 ・緑があり公園があり、近くに吉祥寺や立川等ターミナル駅があり、バランスが良い 吉祥寺、三鷹に比べて地価が安い
- ・桜!!
- ・夫婦の出身大学の近くで、共通の思い出が多いので。
- ・小金井公園、治安、住宅街
- ・自然が豊かで都心にも近いため、暮らし易さを感じたから。
- ・小学生～社会人2、3年まで住んでおり、その頃の印象からずいぶん変わり、高架線になり、商業施設がたくさんでき便利になったところ
- ・うぐいすの音が聞けること
- ・緑が多い。あまり高いマンションやビルがない。人工的な街でないから。
- ・自然環境が豊か。義務教育の小中学校の学力水準が高い。都心へのアクセスしやすい。地縁団体が活動しているなど。
- ・東京都で緑豊かな自然環境で子育てできるのは、とてもよいと感じています。
- ・落ちついていて静か、治安が良い、コンパクトにまとまっていて、買い物がしやすく、中央線沿線なのでアクセスが良い。

3. 高校・大学等の卒業後の進路や就職観について(学生向け)

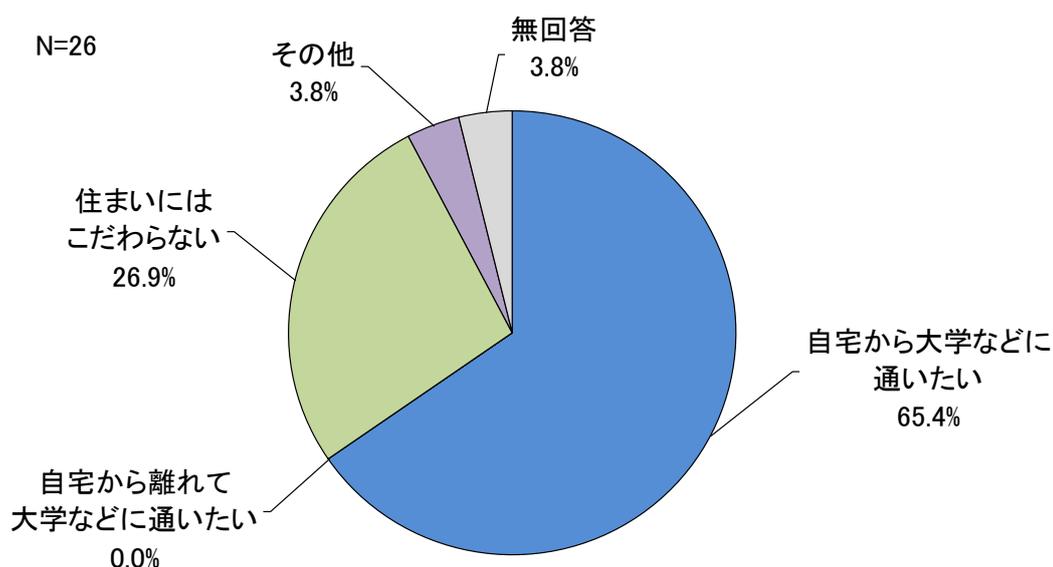
問12 高校卒業後の進路はどのように考えていますか。(○は1つだけ) 《問8で「高校生・高専生」を選択した27件が対象》

「大学・短大、専門学校などに進学したい」が96.3%、「働きたい」は3.7%です。



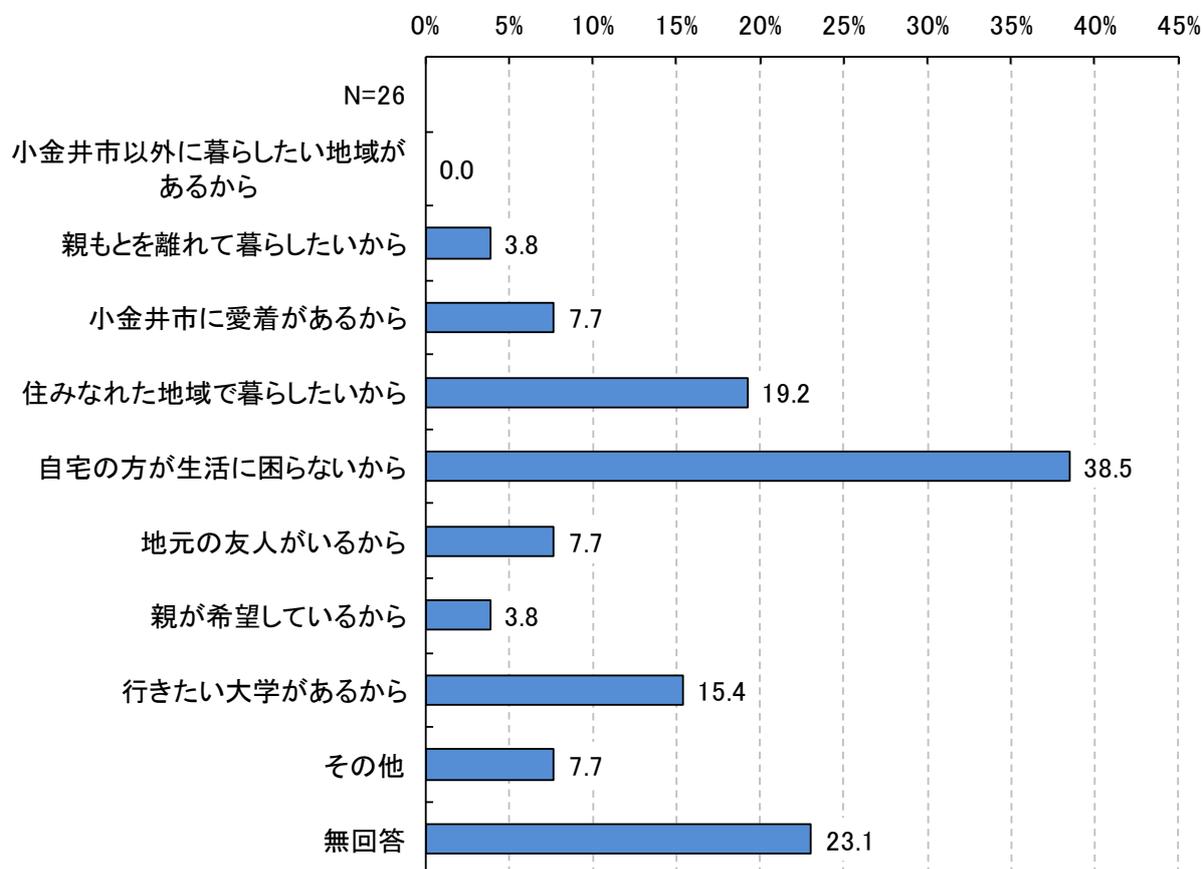
問13 問12で「大学・短大、専門学校などに進学したい」と回答した方にお伺いします。学生生活を送る上での住まいはどのように考えていますか。(○は1つだけ) 《問12で上記の選択肢を選択した26名が対象》

「自宅から大学などに通いたい」が65.4%で最も多く、次いで「住まいにはこだわらない」が26.9%です。「自宅から離れて大学などに通いたい」は0%でした。



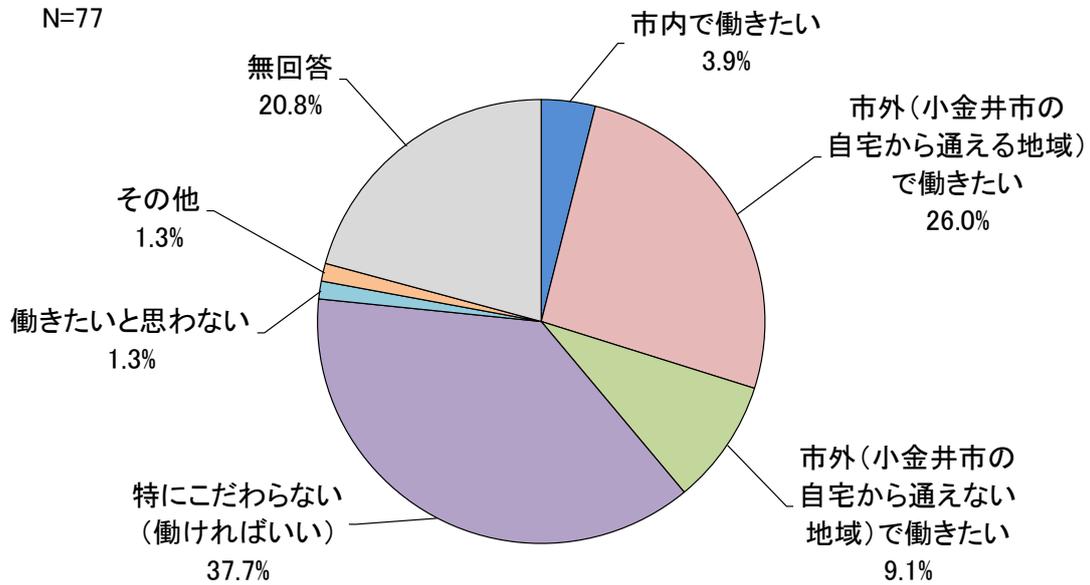
問14 問13の回答のように住まいを希望する理由はなんですか。(〇は3つまで)《問12で「大学・短大、専門学校などに進学したい」を選択した26名が対象》

「自宅の方が生活に困らないから」が38.5%で最も多く、次いで「住みなれた地域で暮らしたいから」が19.2%、「行きたい大学があるから」が15.4%で続きます(無回答は除きます)。



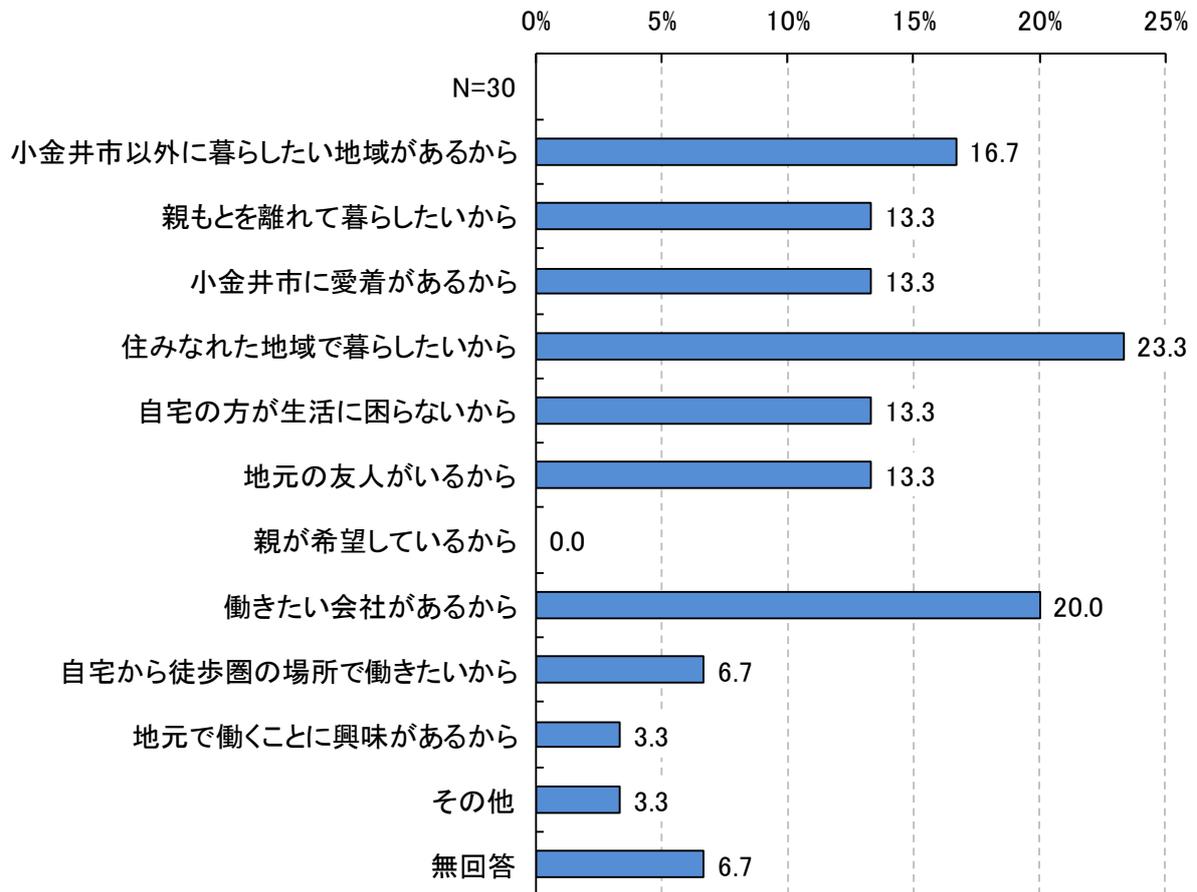
問15 就職先の地域に関して希望はありますか。(〇は1つだけ) 《問8で「高校生・高専生」「短大生・大学生」「専門学校生」を選択した77名が対象》

「特にこだわらない(働ければいい)」が37.7%で最も多く、次いで「市外(小金井市の自宅から通える地域)で働きたい」が26.0%、「市外(小金井市の自宅から通えない地域)で働きたい」が9.1%で続きます。



問16 問15で「市内で働きたい」「市外(小金井市の自宅から通える地域で働きたい)」「市外(小金井市の自宅から通えない地域)で働きたい」と回答した方にお伺いします。問15の回答のように働く場所を考える理由は何ですか。(〇は3つまで)《問15で上記の選択肢を選択した30名が対象》

「住みなれた地域で暮らしたいから」が23.3%で最も多く、次いで、「働きたい会社があるから」が20.0%、「小金井市以外で暮らしたい地域があるから」が16.7%で続きます。



問17 問14または問16で「小金井市以外に暮らしたい地域があるから」を選んだ方にお伺いします。暮らしたい地域とその理由は何ですか。(地域や街の名前)

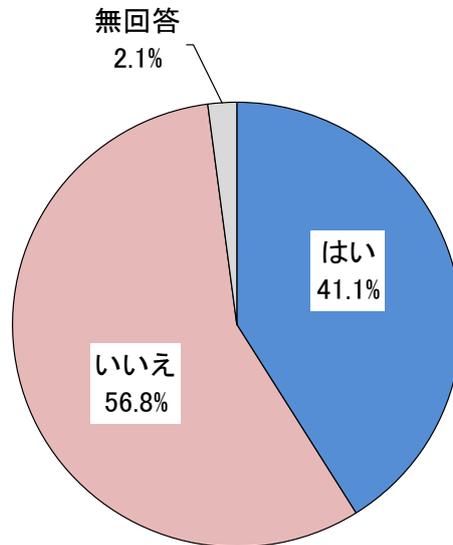
- ・茨城県:故郷で働きたい
- ・中央・港・新宿区:利便性が高いので
- ・23区内:都心に近い方が買い物もおいしい店もあるから

4. 出産・子育てに関する意向について

問18 現在、お子さんはいますか。(〇は1つだけ)

子どものいる人が41.1%、いない人が56.8%です。

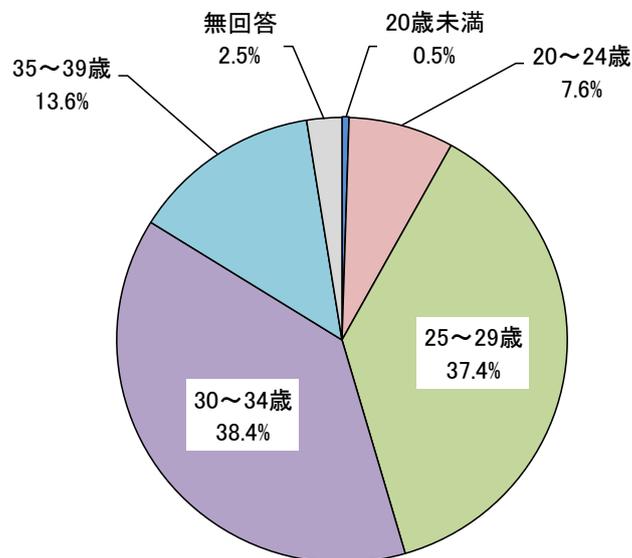
N=482



問19 問18で「はい」と回答した方にお伺いします。第一子がお生まれになったのは、あなたが何歳のときですか。《問18で上記の選択肢を選択した198名が対象》

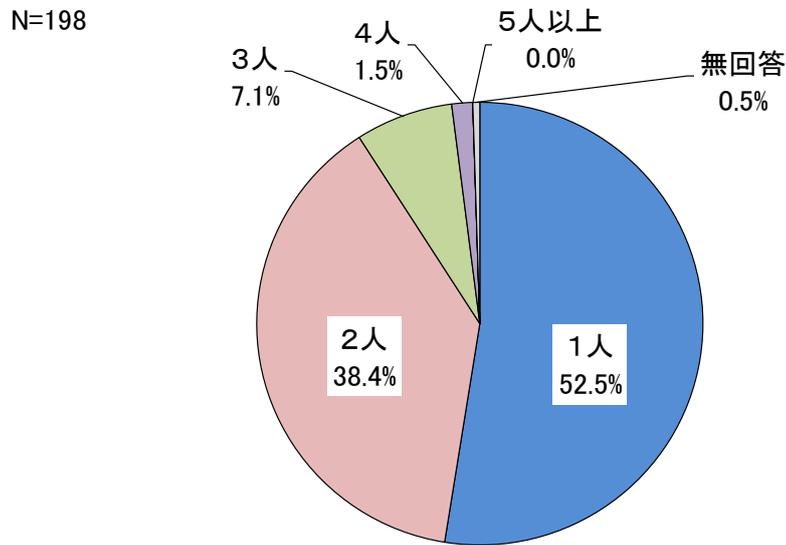
「30～34歳」が38.4%で最も多く、次いで「25～29歳」が37.4%、「35～39歳」が13.6%で続きます。

N=198



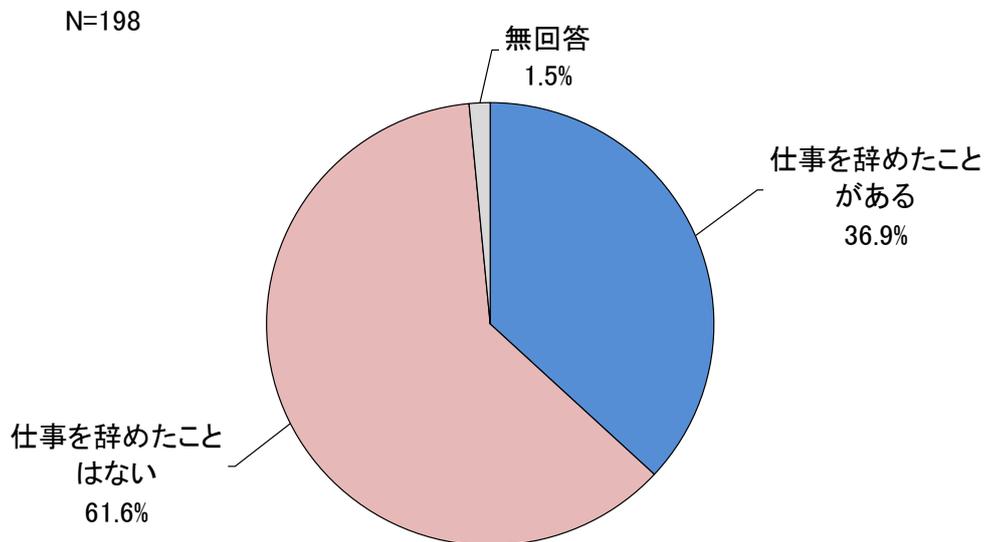
問20 問18で「はい」と回答した方にお伺いします。あなたの現在のお子さんの人数は何人ですか。(○は1つだけ) 《問18で「はい」を選択した198名が対象》

「1人」が52.5%で最も多く、次いで「2人」が38.4%で続きます



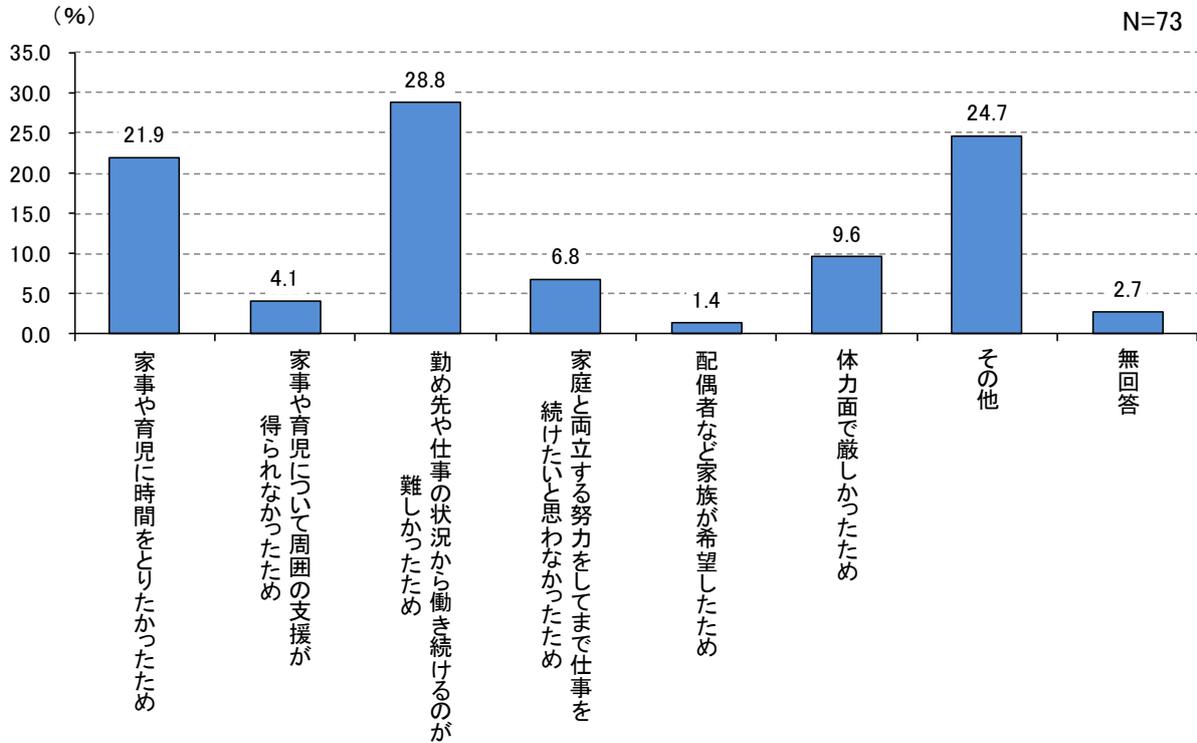
問21 問18で「はい」と回答した方にお伺いします。お子さんが生まれたことをきっかけに仕事を辞めたことがありますか。(○は1つだけ) 《問18で「はい」を選択した198名が対象》

「仕事を辞めたことがある」が36.9%、「仕事を辞めたことはない」が61.6%です。



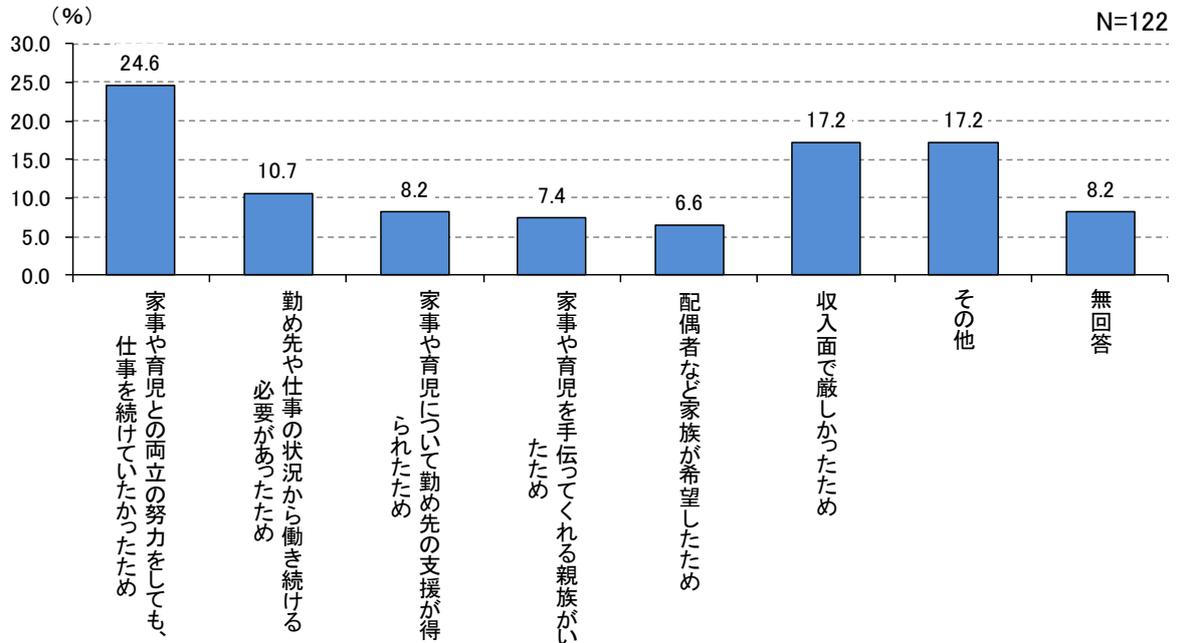
問22 問21で「仕事を辞めたことがある」と回答した方にお伺いします。仕事を辞めた理由は何ですか。(〇は1つだけ) 《問21で上記の選択肢を選択した73名が対象》

「勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため」が28.8%で最も多く、次いで「家事や育児に時間をとりたかったため」が21.9%で続きます。「その他」他の意見としては、保育園に入れなかったことが主に挙げられています。



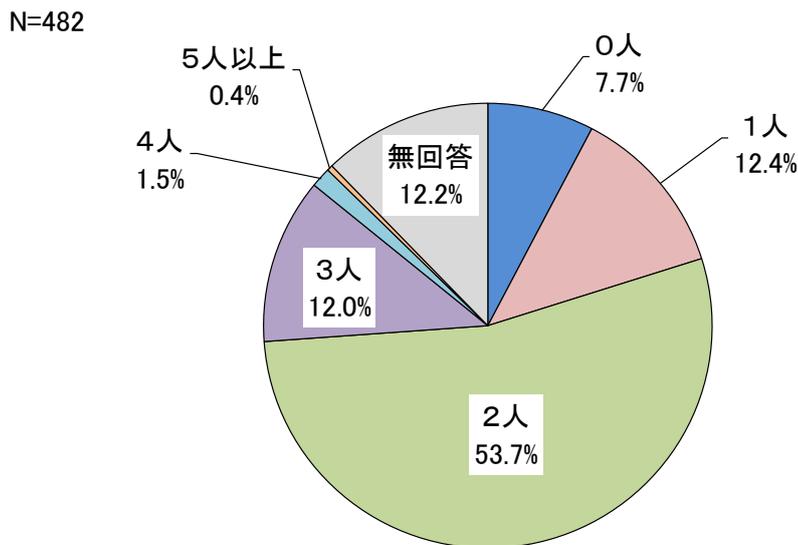
問23 問21で「仕事を辞めたことはない」と回答した方にお伺いします。仕事を続けた理由は何ですか。(〇は1つだけ)《問21で上記の選択肢を選択した122名が対象》

「家事が育児との両立の努力をしても、仕事を続けていたかったため」が24.6%で最も多く、次いで「収入面で厳しかったため」が17.2%で続きます。「その他」の意見としては、辞める理由がなかったことが主に挙げられています。



問24 あなたが最終的に持つつもりのお子さんの人数をご回答ください。(〇は1つだけ)

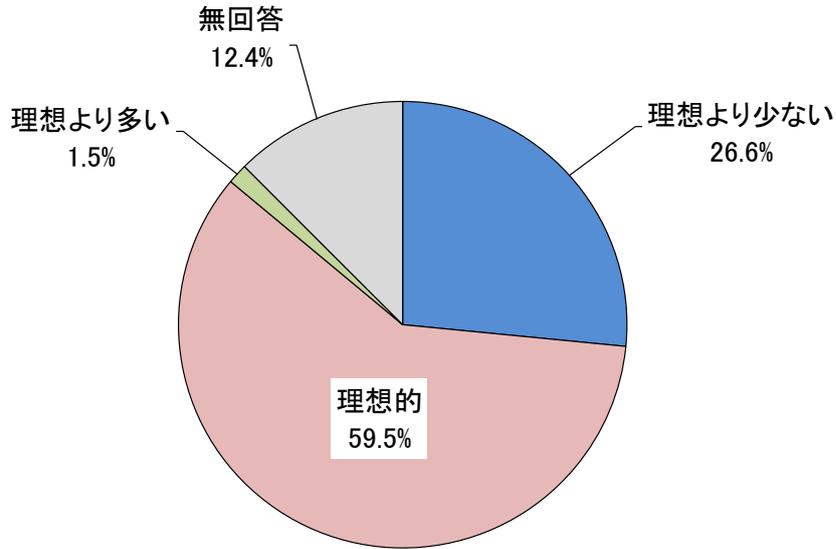
「2人」が53.7%で最も多く、次いで「1人」が12.4%、「3人」が12.0%で続きます。最終的に持つつもりの子どもの数(予定している子どもの数)の平均は1.64人です。



問25 最終的に持つつもりのお子さんの人数はあなたにとって理想的ですか。(〇は1つだけ)

「理想的」が59.5%、「理想より少ない」は26.6%です。

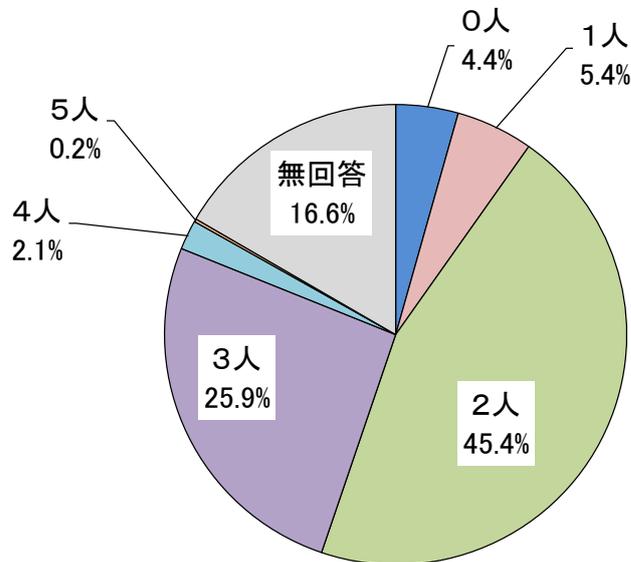
N=482



理想とする子どもの数は、「2人」が45.4%で最も多く、次いで「3人」が25.9%、「1人」が5.4%で続きます。

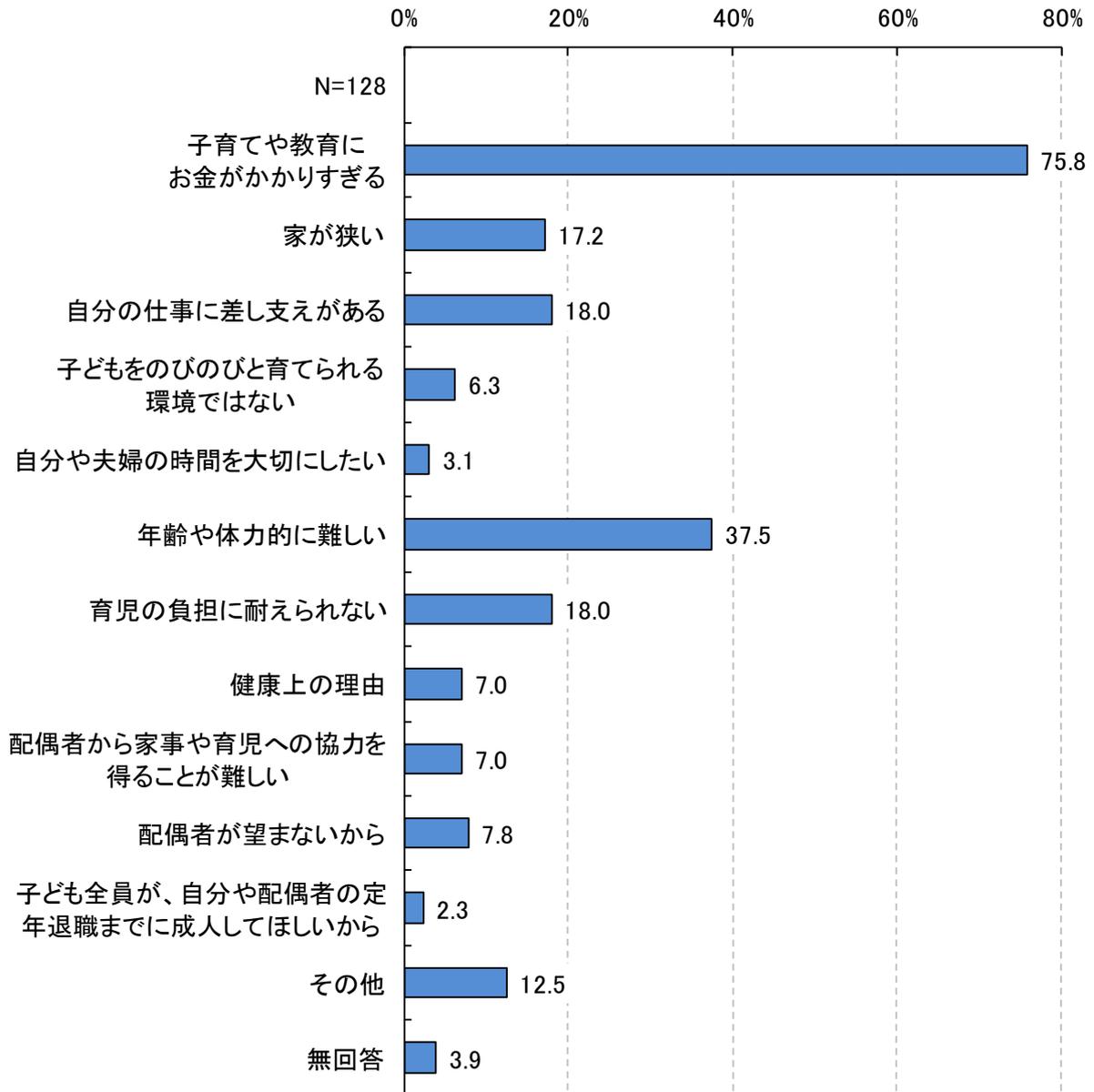
予定している子どもの数と比較すると、「3人」が増えています。また、理想とする子どもの数の平均は1.83人となり、予定している子どもの数の平均よりも0.19人多くなっています。

N=482



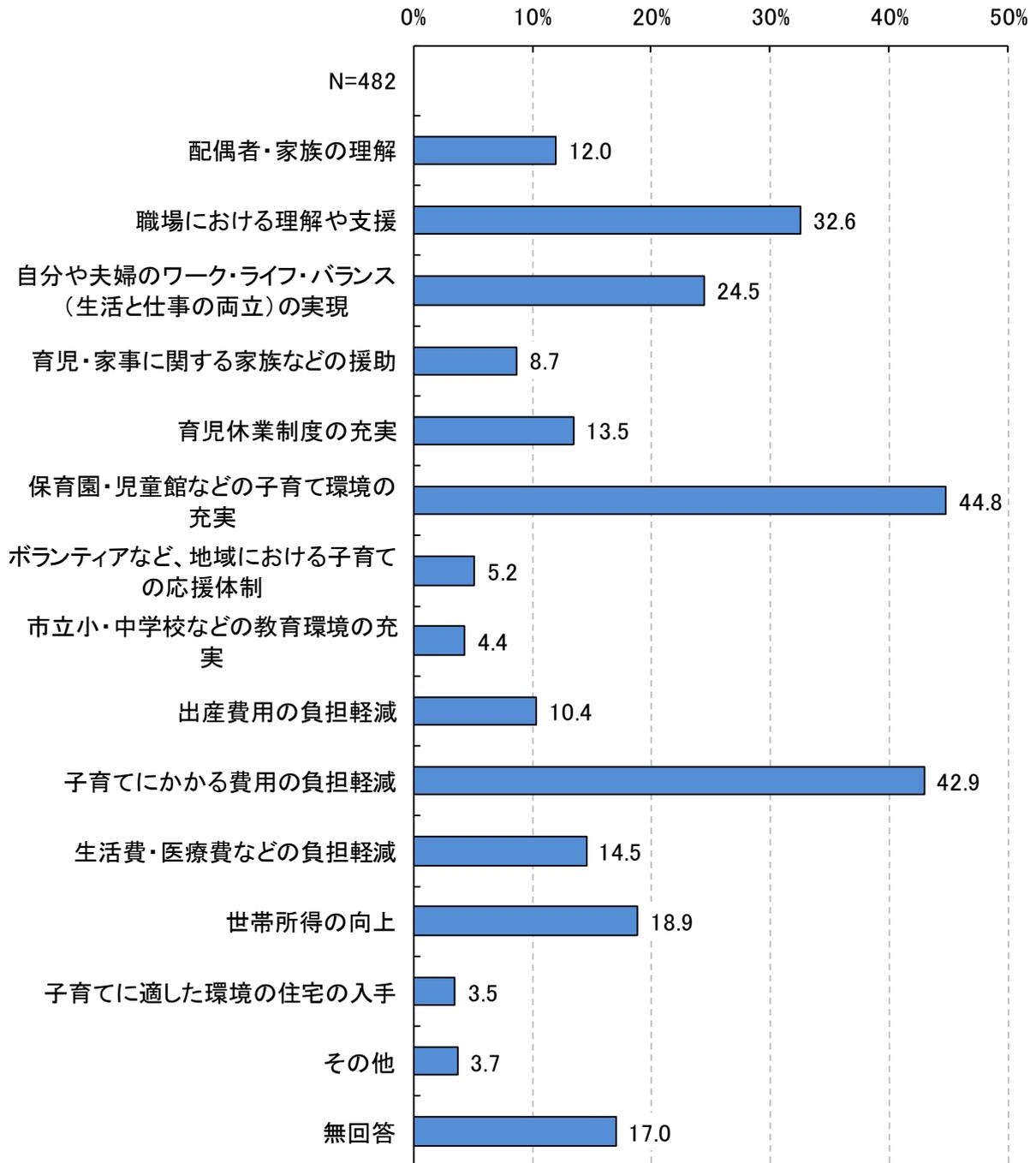
問26 問25で「理想より少ない」と回答した方にお伺いします。その(最終的に持つつもりの子どもが理想的でない)理由は何ですか。(〇は3つまで)《問25で上記の選択肢を選択した128名が対象》

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が75.8%で最も多く、次いで「年齢や体力的に難しい」が37.5%、「自分の仕事に差し支えがある」、「育児の負担に耐えられない」が18.0%、「家が狭い」が17.2%で続きます。「その他」の意見としては、保育園への入園に関することが主に挙がっています。



問27 少子高齢化が進んでいますが、一般的に、どのような条件がそろえば子どもを産み育てやすくなると思いますか。(〇は3つまで)

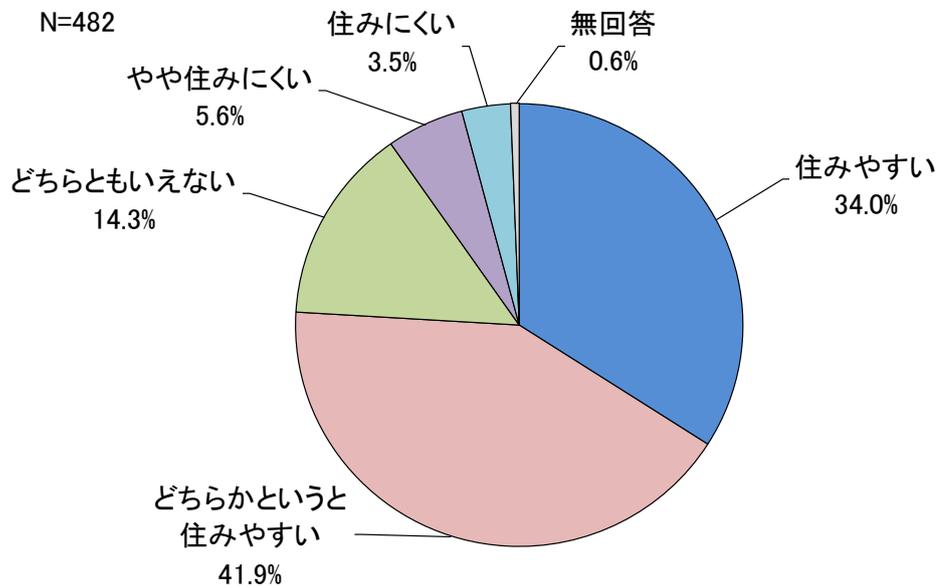
「保育園・児童館などの子育て環境の充実」が44.8%で最も多く、次いで「子育てにかかる費用の負担軽減」が42.9%、「職場における理解や支援」が32.6%、「自分や夫婦のワーク・ライフ・バランス（生活と仕事の両立）の実現」が24.5%で続きます。「その他」の意見としては、不妊治療費の軽減に関することが主に挙げられています。



5. 小金井市の住みやすさや定住意向について

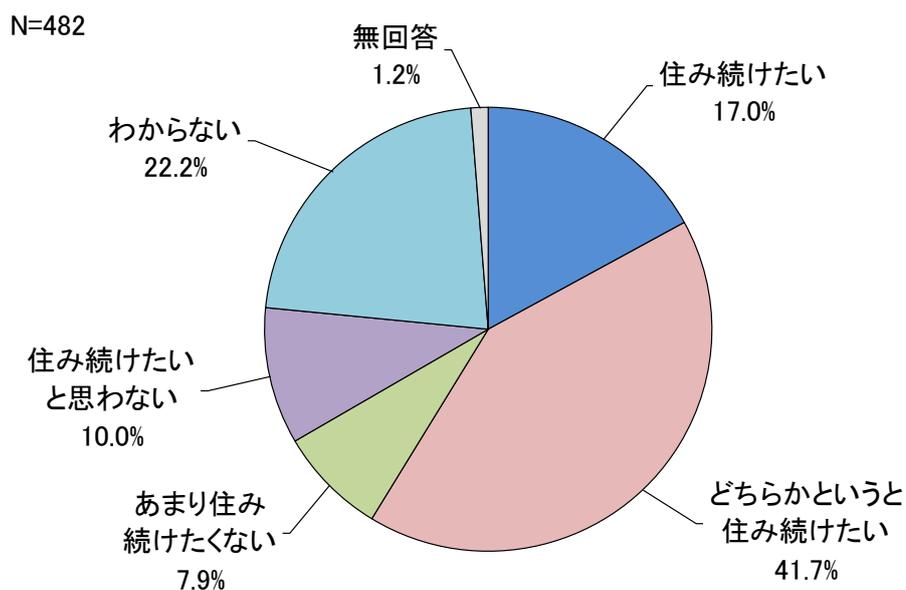
問28 小金井市は住みやすいと思いますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという住みやすい」が41.9%で最も多く、次いで「住みやすい」が34.0%、「どちらともいえない」が14.3%で続きます。「住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は7割半ばを超えています。



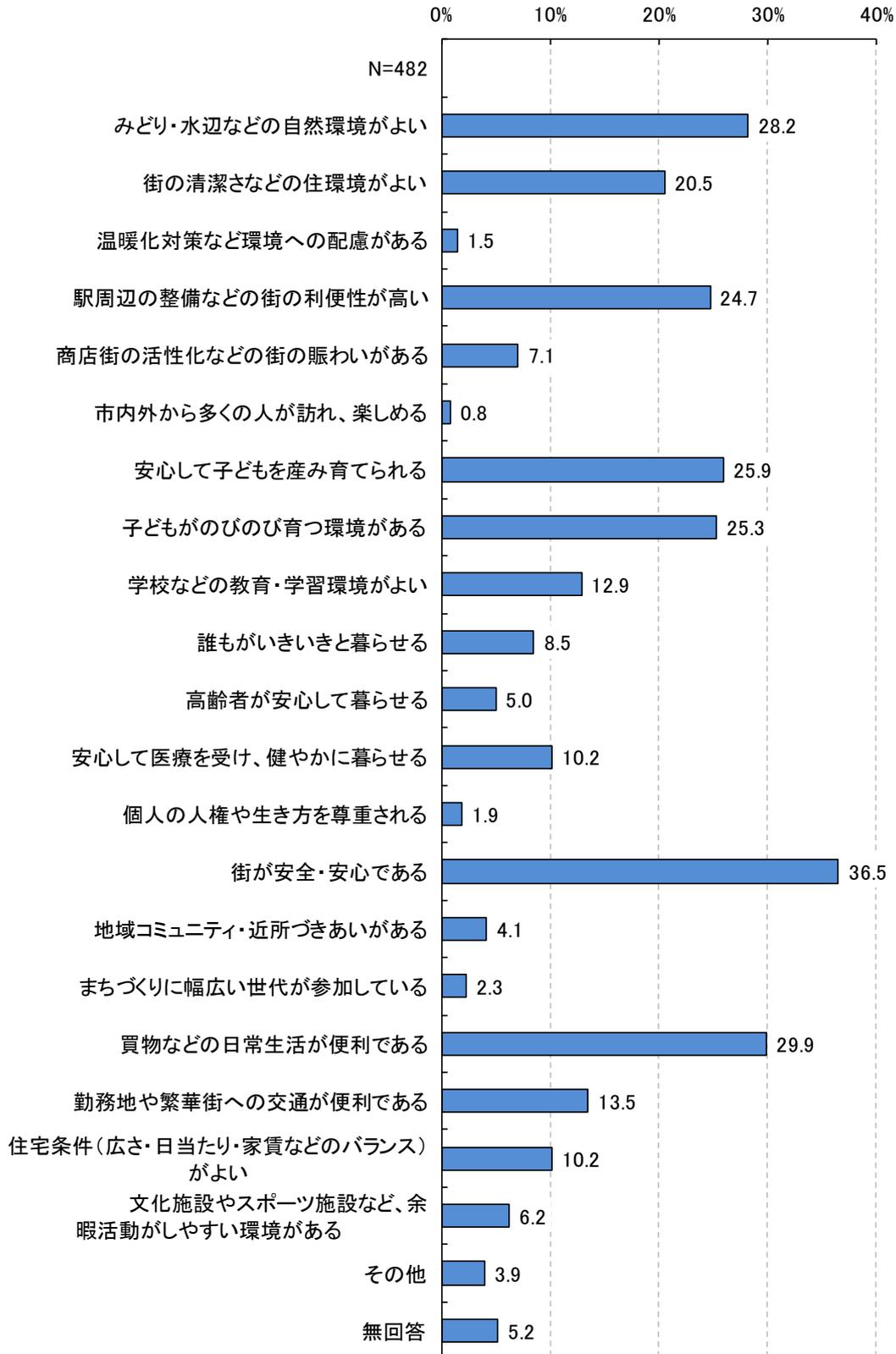
問29 将来、小金井市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという住み続けたい」が41.7%で最も多く、次いで「わからない」が22.2%、「住み続けたい」が17.0%で続きます。「住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」の合計は約6割です。



問30 「住みたいまち」とはどんなまちだとお考えですか。(〇は3つまで)

「街が安全・安心である」が36.5%で最も多く、次いで「買い物などの日常生活が便利である」が29.9%、「みどり・水辺などの自然環境がよい」が28.2%、「安心して子どもを産み育てられる」が25.9%で続きます。



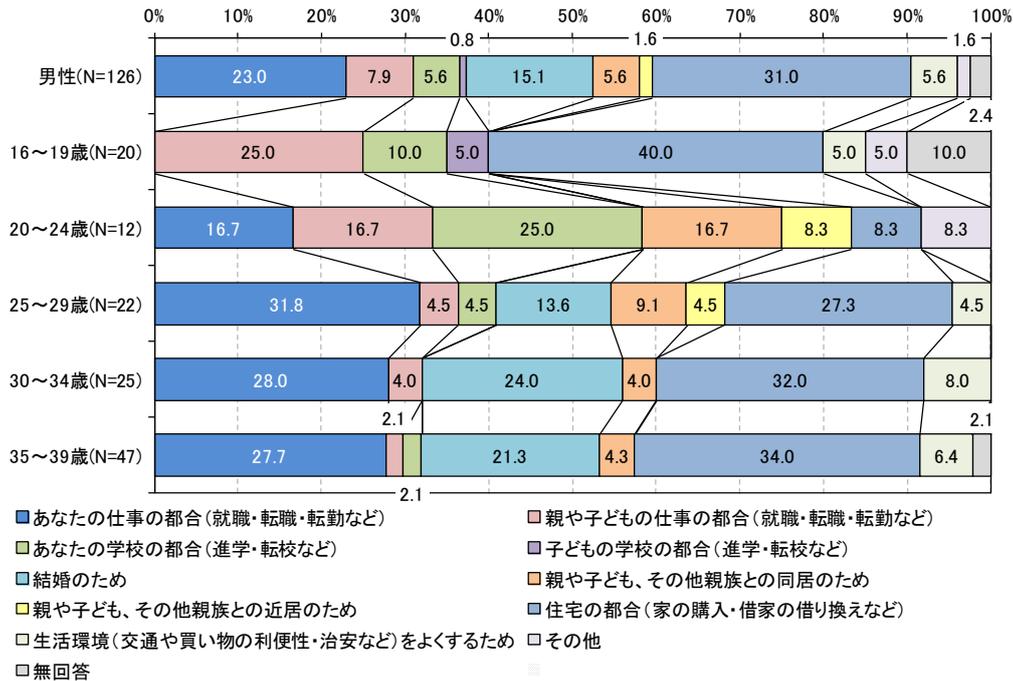
第4章 分析編

1. 性別・年代別による分析

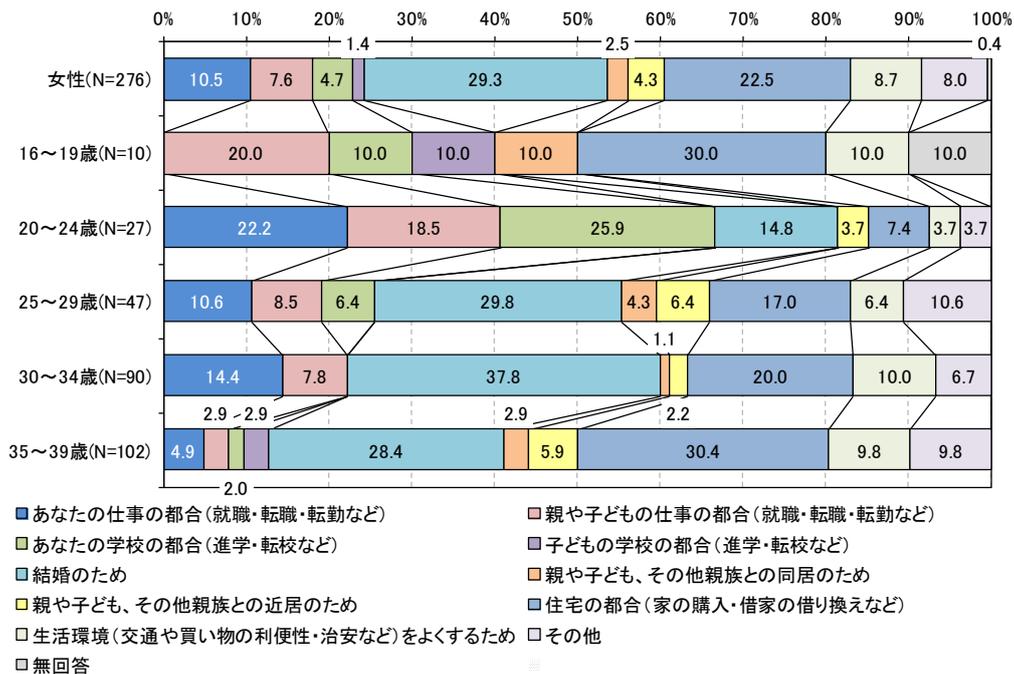
問10 転入の理由は何ですか。(最も大きな要因1つに○) 《問3で「市外から引っ越してきた」を選択した404名が対象》

性別で見ると、男性は女性よりも「あなたの仕事の都合(就職・転職・転勤など)」「住宅の事情(家の購入・借家の借り換えなど)」が多く、女性は男性よりも「結婚のため」が多いです。

男性・女性を問わず20～24歳で「あなたの学校の都合(進学・転校など)」が多いことが特徴です。



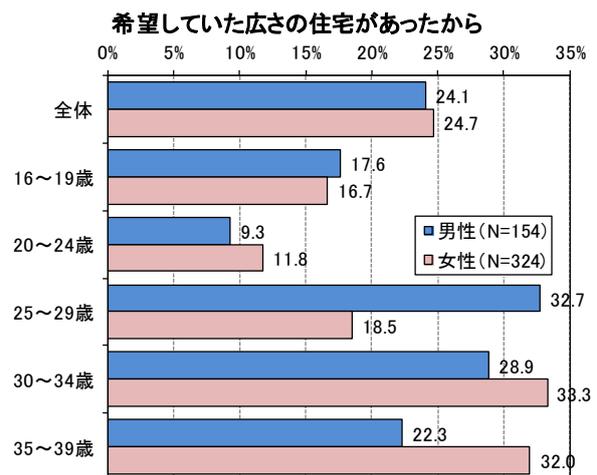
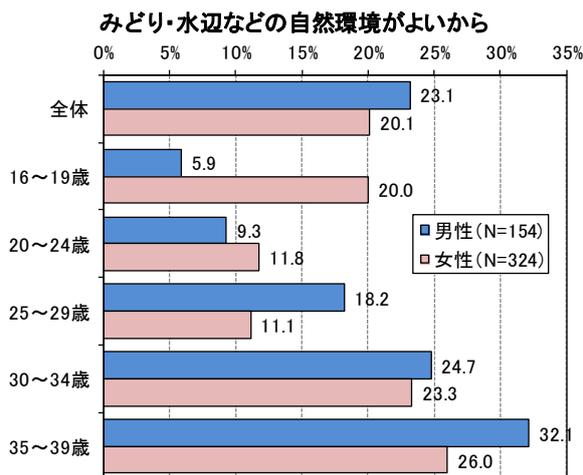
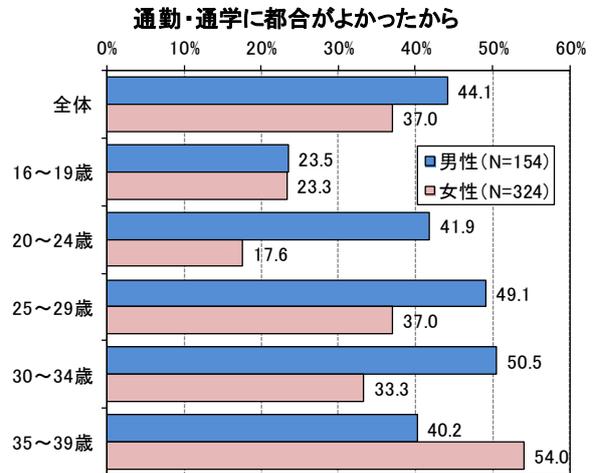
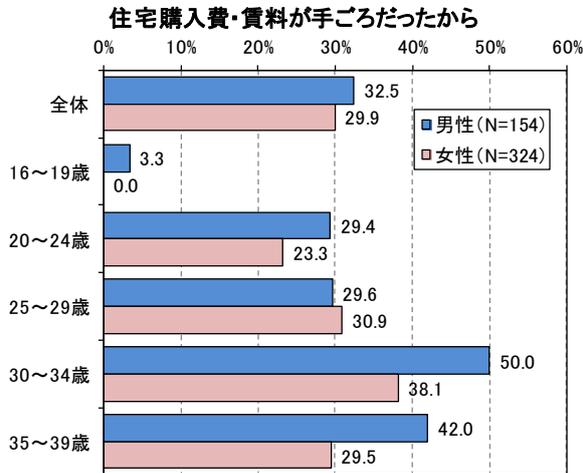
【男性:年代別にみた転入理由】



【女性:年代別にみた転入理由】

問11 小金井市を選択した理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

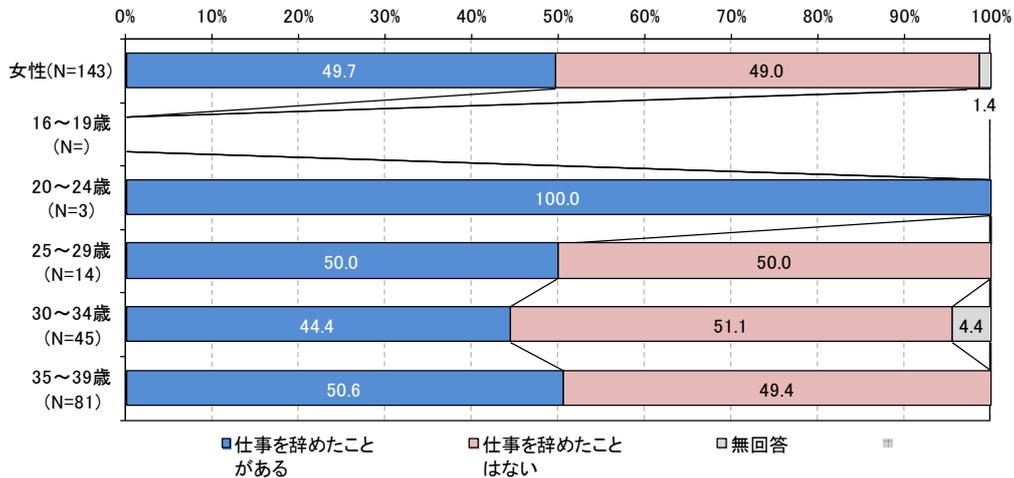
小金井市を選択した理由上位4項目について、性別・年代別にみると、男性の30～34歳で「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」が特に多く、また20～34歳で「通勤・通学に都合がよかったから」が多いです。



【性別・年代別にみた小金井市を選んだ理由(上位4項目)】

問21 問18で「はい」と回答した方にお伺いします。お子さんが生まれたことをきっかけに仕事を辞めたことがありますか。(○は1つだけ) 《問18で上記の選択肢を選択した女性143名のみ》

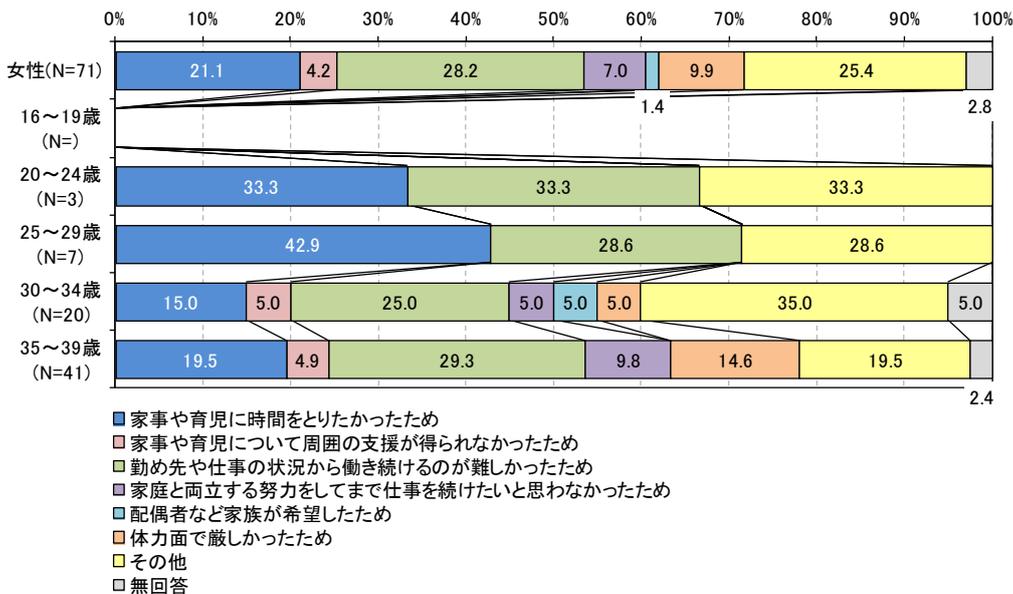
女性について、年代別にはあまり違いがみられず(20～24歳は3名なので割愛します)、仕事を辞めたことのある人、ない人は同程度の割合です。



【女性:年代別にみた仕事を辞めた経験の有無】

問22 問21で「仕事を辞めたことがある」と回答した方にお伺いします。仕事を辞めた理由は何ですか。(○は1つだけ) 《問21で上記の選択肢を選択した女性71名のみ》

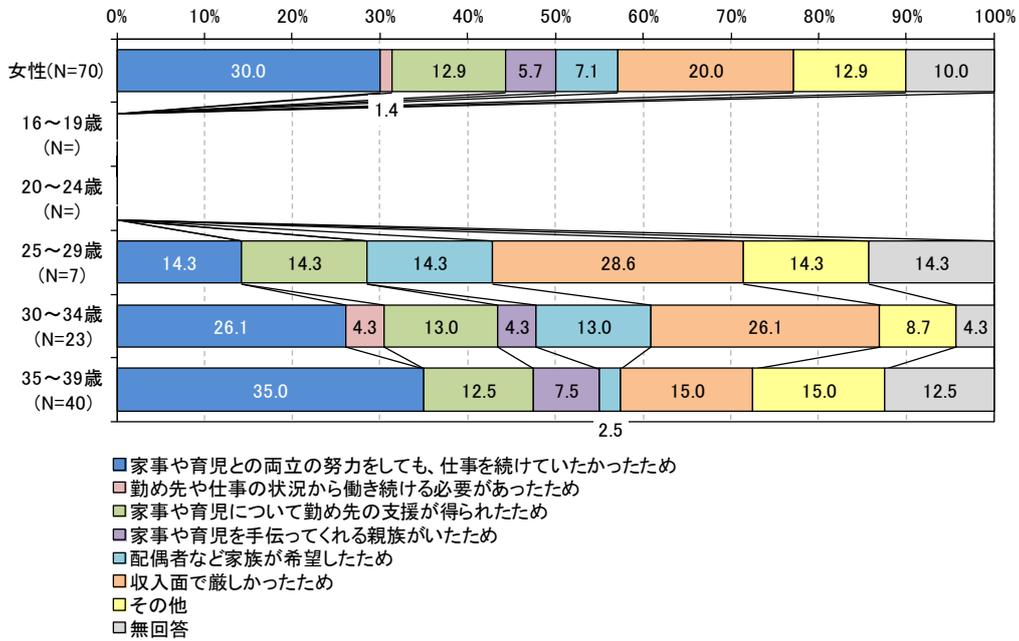
女性について、年代別にみると、20歳代では「家事や育児に時間をとれなかったため」が多い一方、30～34歳では、「勤め先と仕事の状況から働き続けるのが難しかったため」が多いです。



【女性:年代別にみた仕事を辞めた理由】

問23 問21で「仕事を辞めたことはない」と回答した方にお伺いします。仕事を続けた理由は何ですか。(〇は1つだけ) 《問21で上記の選択肢を選択した女性70名のみ》

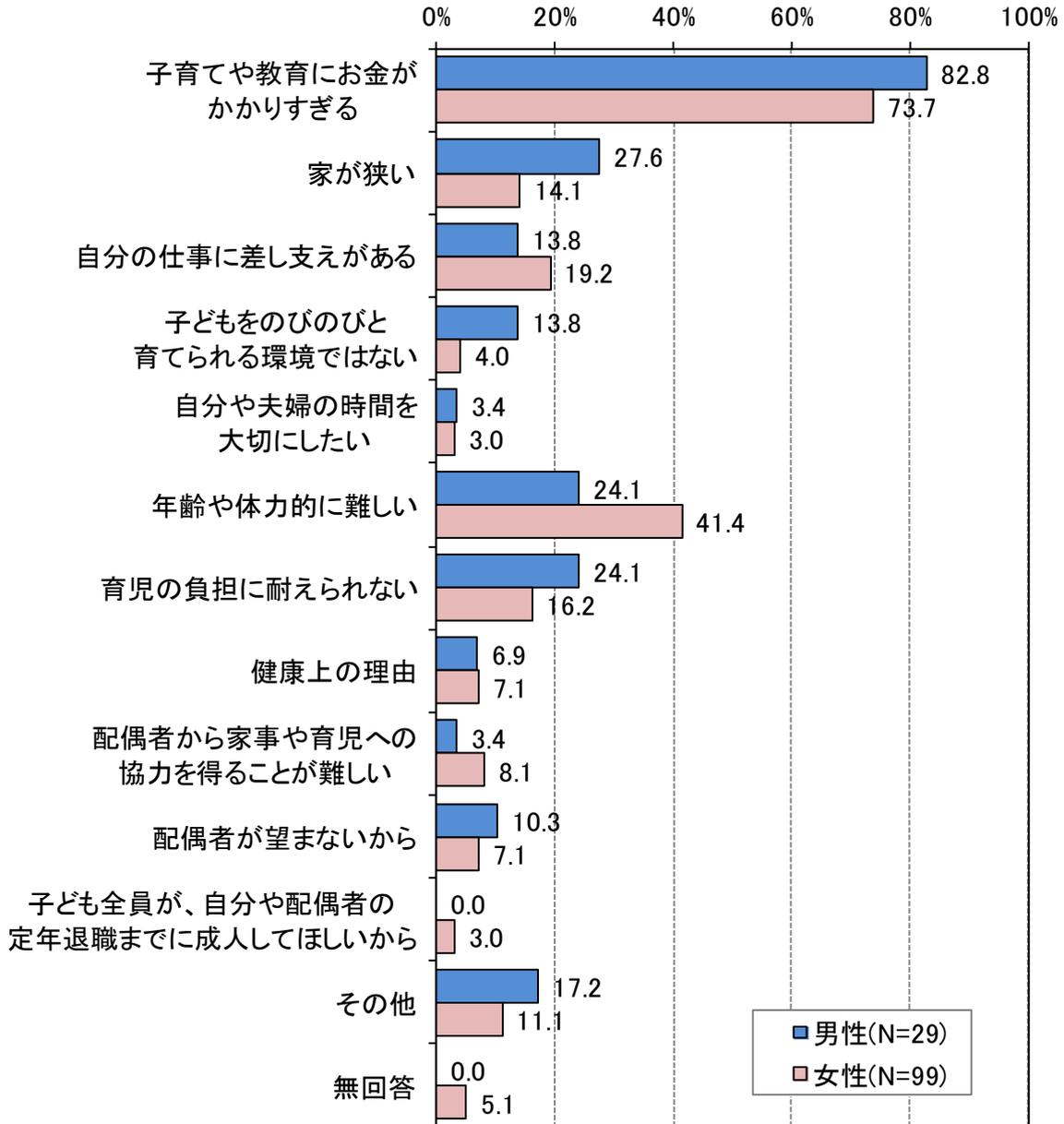
女性について、年代別にみると、年齢が上がるにつれて「家事と育児との両立を努力しても、仕事を続けていたかったため」が多くなります。25～34歳では「収入面で厳しかったため」も多いです。



【女性:年代別にみた仕事を続けた理由】

問26 問25で「理想より少ない」と回答した方にお伺いします。その(最終的に持つつもりの子どもが理想的でない)理由は何ですか。(〇は3つまで)《問25で上記の選択肢を選択した128名が対象》

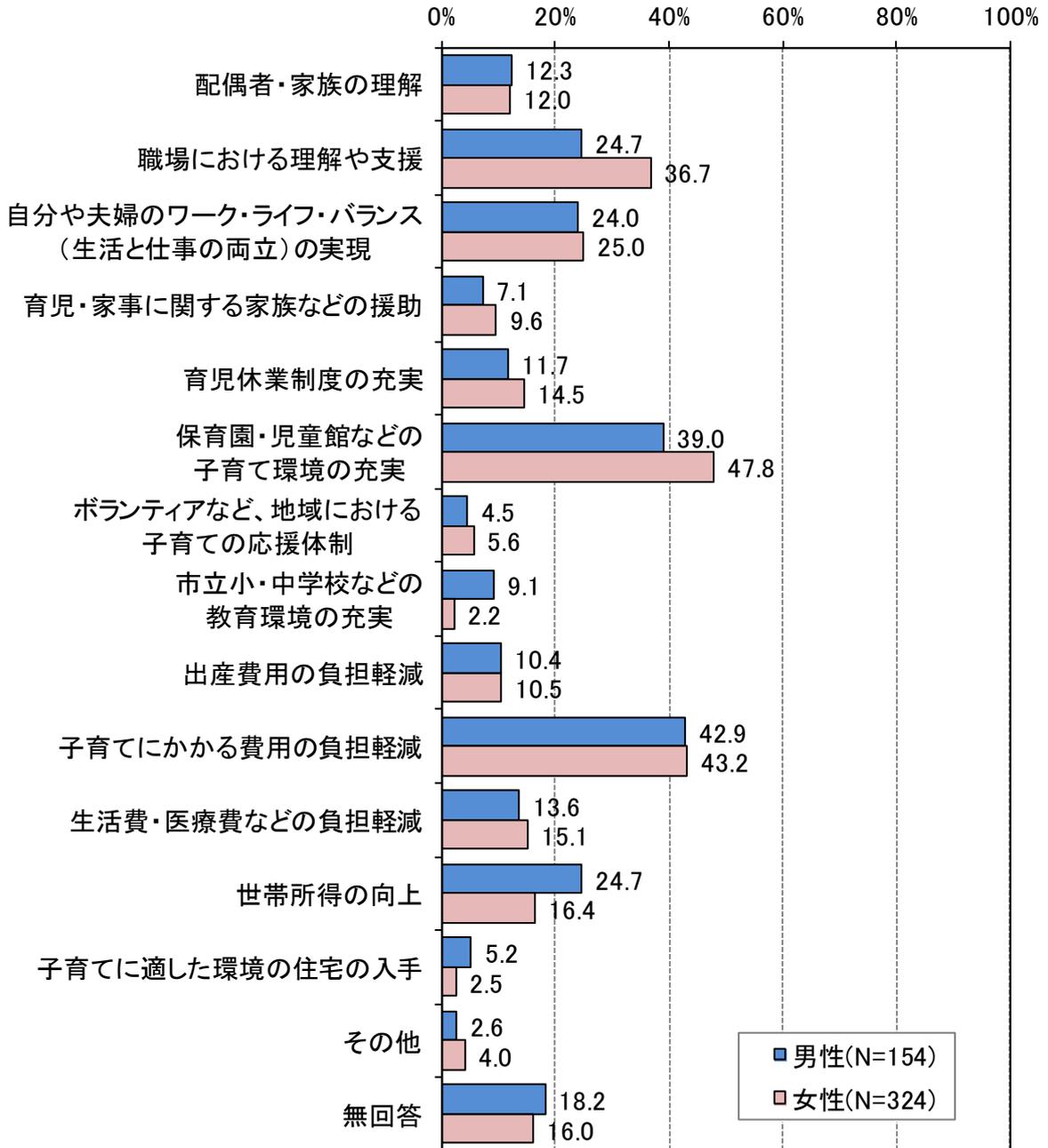
性別で見ると、男性・女性に関わらず「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も多いです。身体的な原因以外では、男性の方が女性よりも「家が狭い」「子どもをのびのびと育てられる環境でない」「育児の負担に耐えられない」が多く、一方で女性の方が男性よりも「自分の仕事に差し支えがある」が多いです。



【性別でみた理想的な数の子どもを持たない理由】

問27 少子高齢化が進んでいますが、一般的に、どのような条件がそろえば子どもを産み育てやすくなると思いますか。(〇は3つまで)

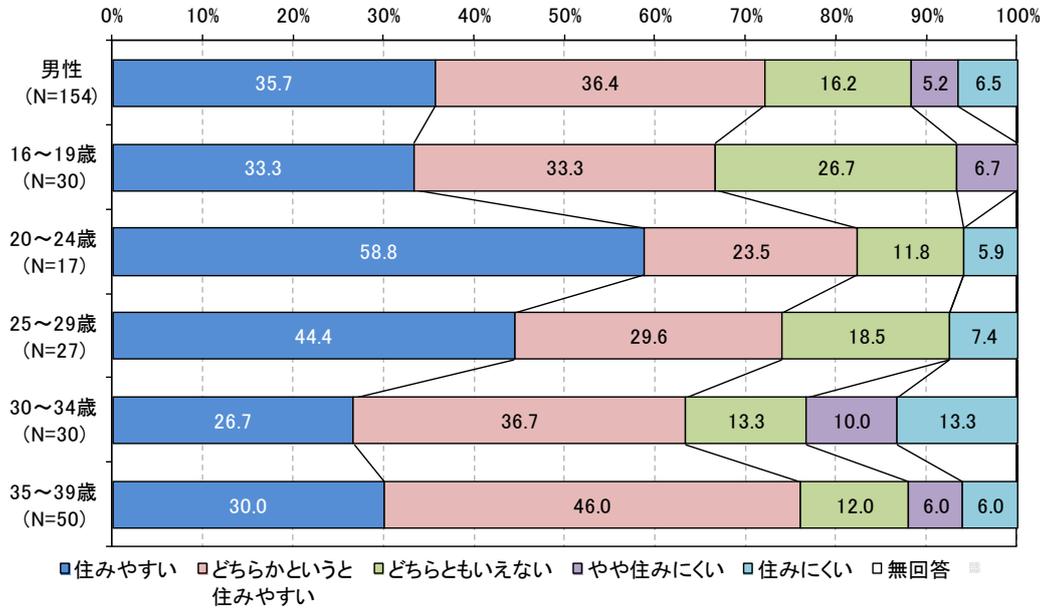
性別でみると、女性の方が男性よりも「職場における理解や支援」「保育園・児童館などの子育て環境の充実」が多いです。



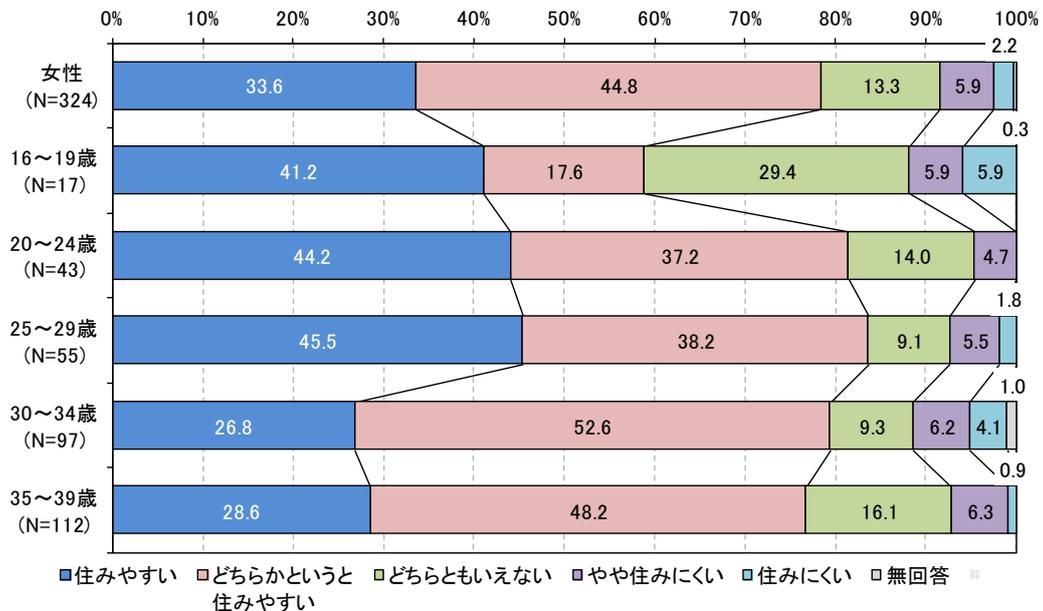
【性別でみた子どもを産み育てやすくなる条件】

問28 小金井市は住みやすいと思いますか。(〇は1つだけ)

性別・年代別にみると、男性の20～24歳・35～39歳で「住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計が多く、特に男性20～24歳では「住みやすい」が5割を超えています。一方、女性は16～19歳で「住みやすい」「どちらかという住みやすい」が少なく、30歳代に入ると「住みやすい」が減少することも見て取れます。



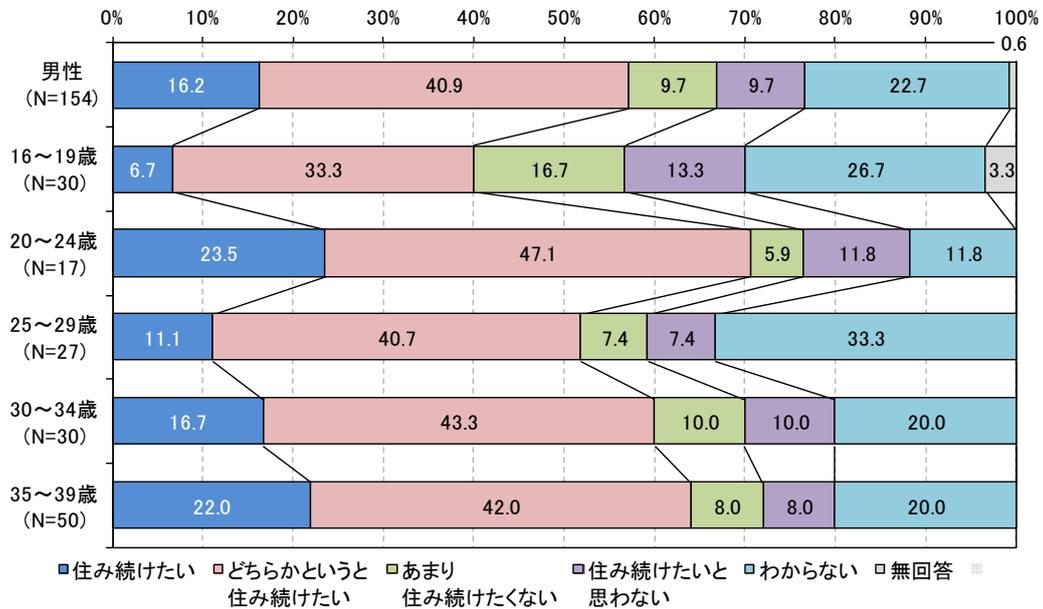
【男性:年代別にみた小金井市の住みやすさ】



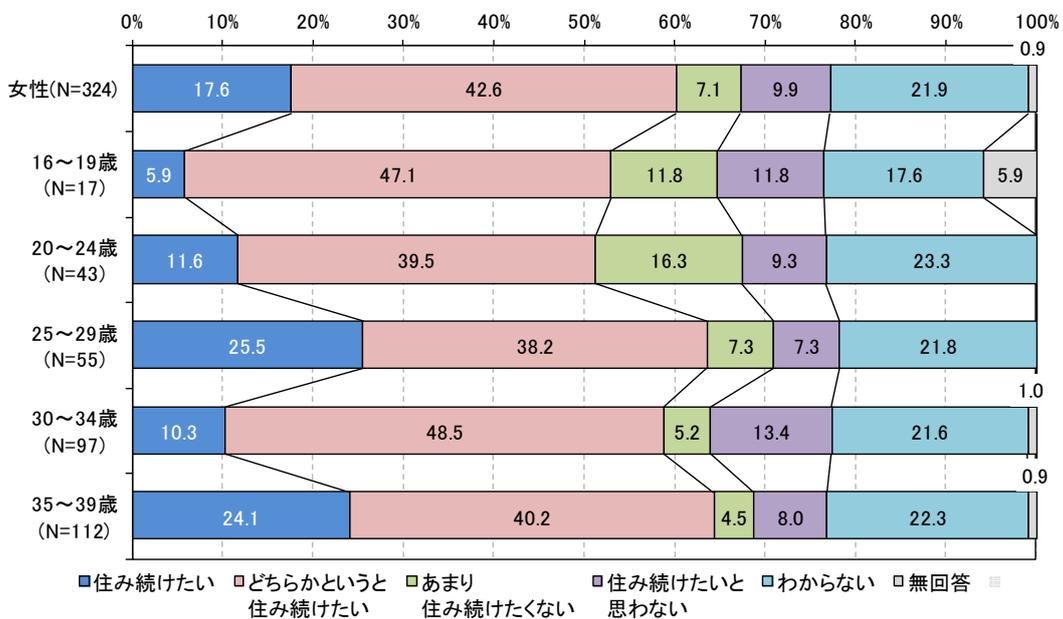
【女性:年代別にみた小金井市の住みやすさ】

問29 将来、小金井市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

性別・年代別にみると、男性では20～24歳で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」が多く、16～19歳で少ないです。女性についても、年齢が低い方が総じて「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」が少ないです。



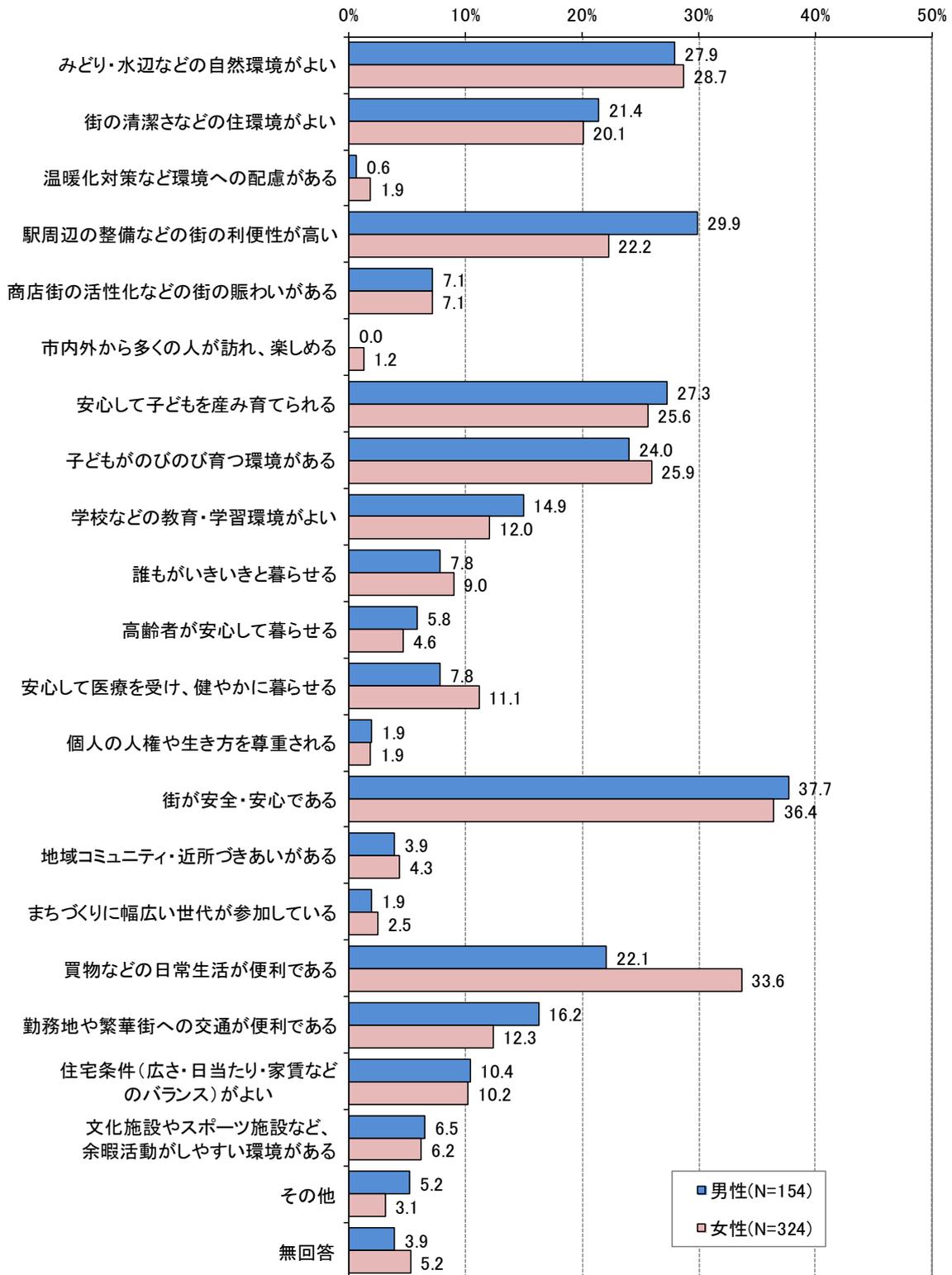
【男性：年代別にみた定住意向】



【女性：年代別にみた定住意向】

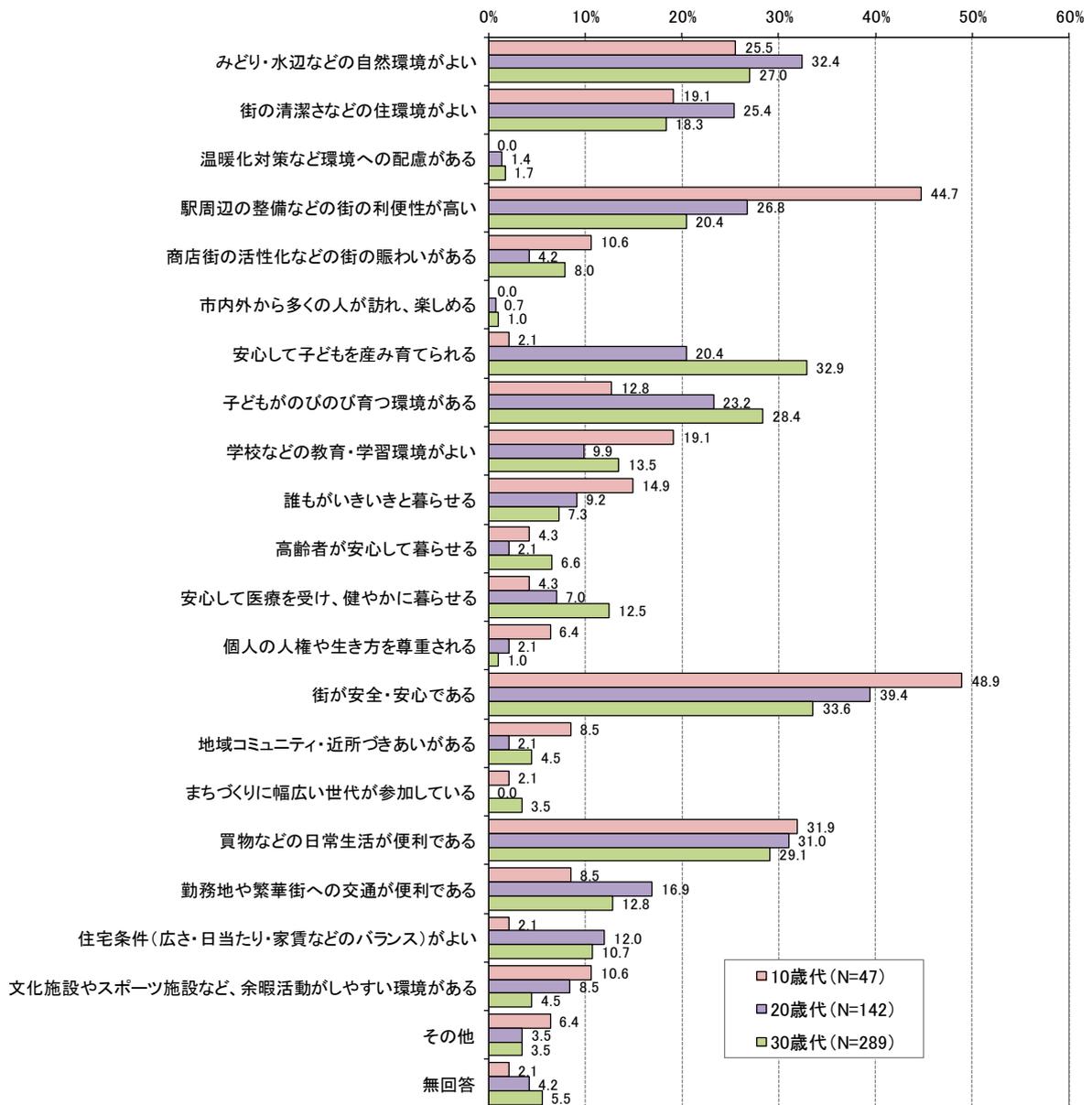
問30 「住みたいまち」とはどんなまちだとお考えですか。(〇は3つまで)

性別でみると、男性では「駅周辺の整備などの街の利便性が高い」が多く、女性では「買い物などの日常生活が便利である」が多く選ばれています。



【性別でみた住みたいまちのイメージ】

年代別にみると、10歳代では「駅周辺の整備などの街の賑わいがある」「街が安全・安心である」が選択されています。20歳代では「みどり・水辺などの自然環境がよい」「勤務地や繁華街への交通が便利である」が選択されています。30歳代では「安心して子どもを産み育てられる」「子どもがのびのび育つ環境がある」が選択されています。年代ごとに重視する点異なります。年代ごとに重視する点が異なることが分かります。

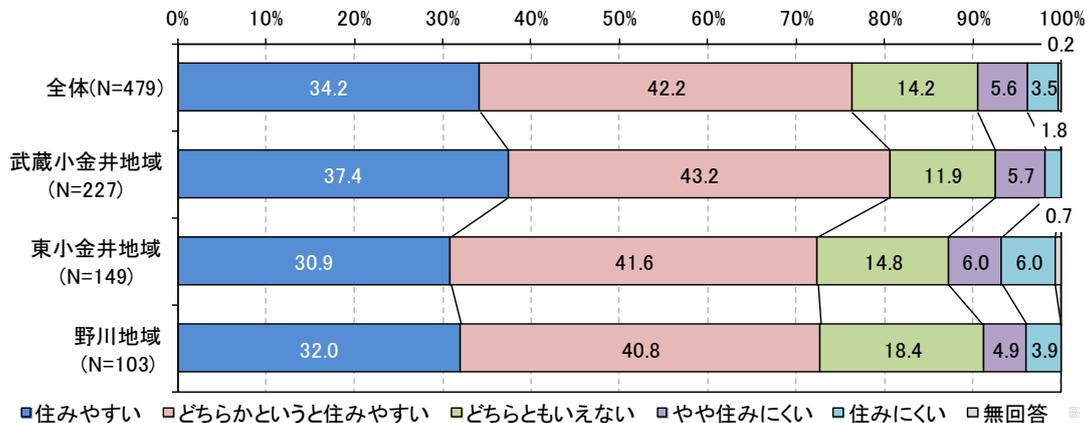


【年代別にみた住みたいまちのイメージ】

2. 居住地区による分析

問28 小金井市は住みやすいと思いますか。(○は1つだけ)

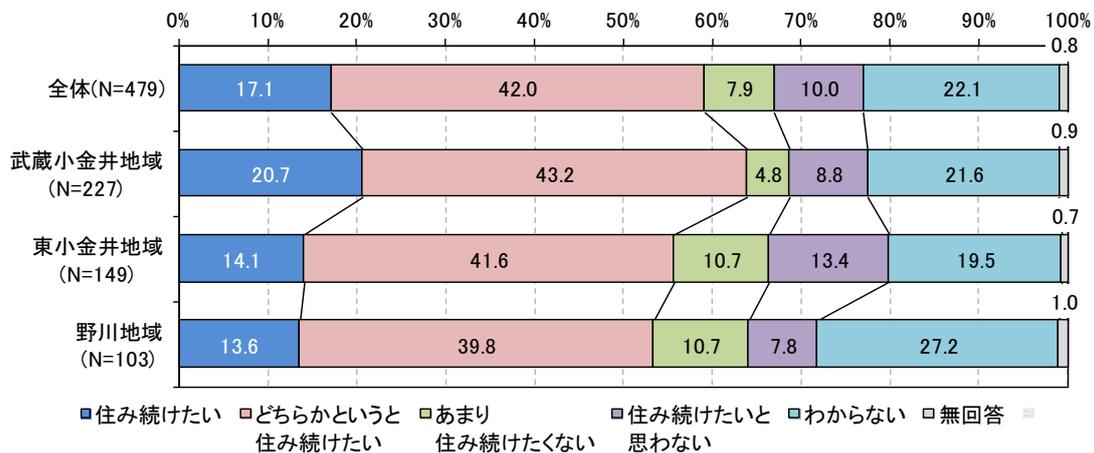
居住地区別にみると、大きな違いはありませんが、比較的、武蔵小金井地域が「住みやすい」「どちらかという住みやすい」が多いです。



【居住地区別にみた小金井市の住みやすさ】

問29 将来、小金井市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

居住地区別にみると、大きな違いはありませんが、比較的、武蔵小金井地域が「住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」が多いです。



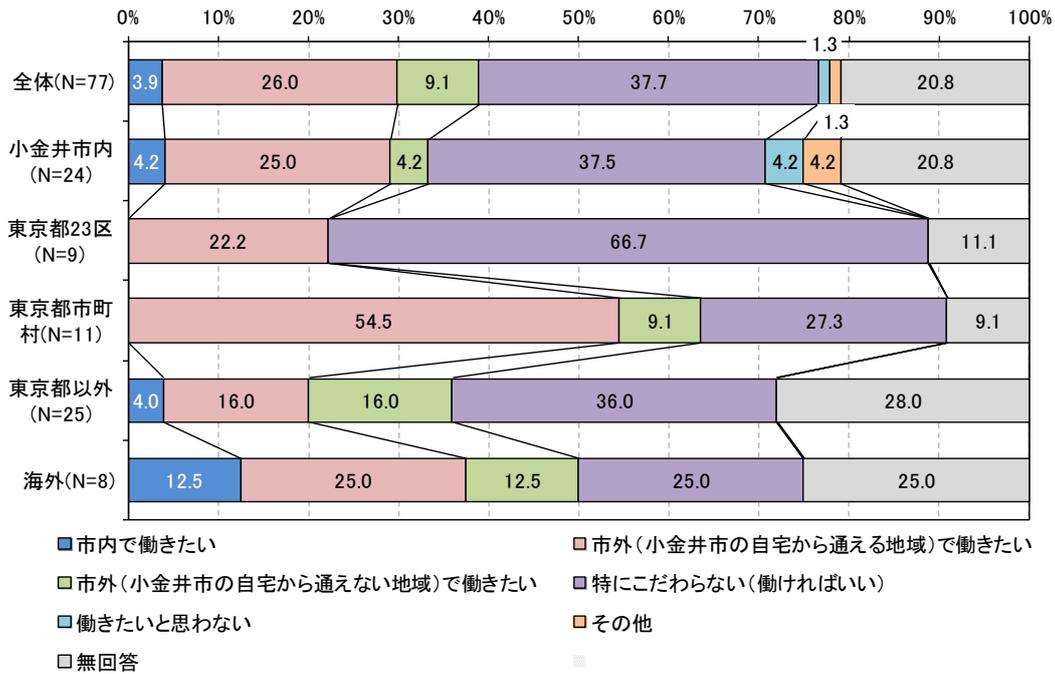
【居住地区別にみた定住意向】

3. 出身地・居住年数による分析

問15 就職先の地域に関して希望はありますか。(〇は1つだけ) 《問8で「高校生・高専生」「短大生・大学生」「専門学校生」を選択した77名が対象》

出身地別で見ると、東京都23区出身で「特にこだわらない」が多く、東京都市町村出身で「市外(小金井市の自宅から通える地域)で働きたい」が多いです。

小金井市出身については、市内に住みながら働きたい人は全体の約3割、市外に住みたい人は4割弱です。

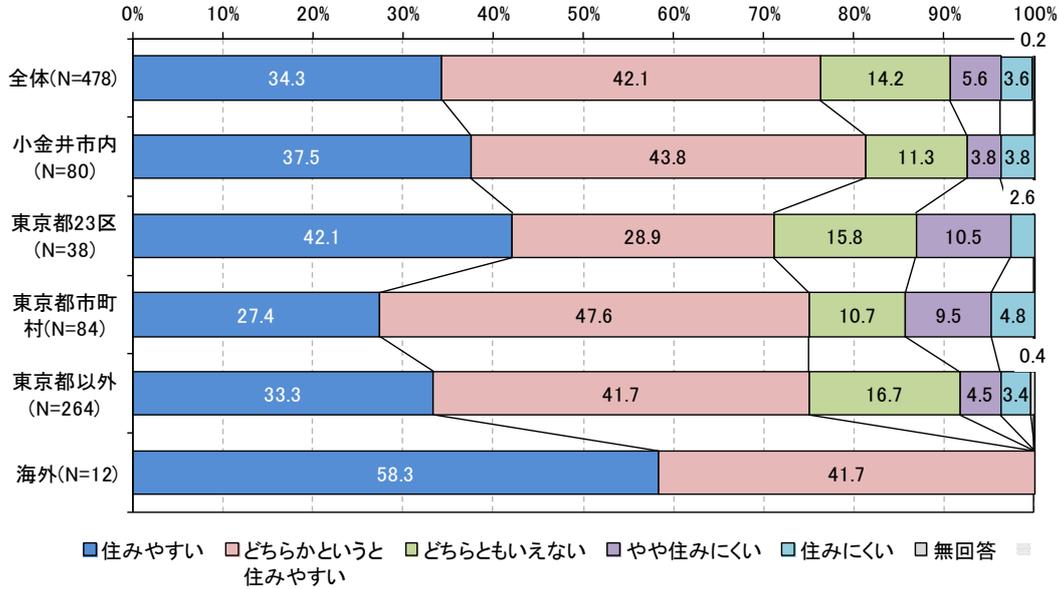


【出身地別にみた就業地・居住地の意向】

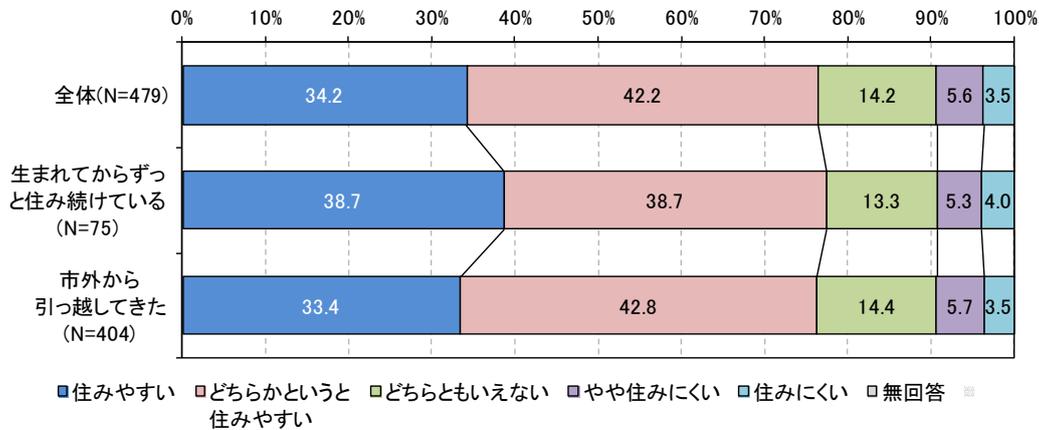
問28 小金井市は住みやすいと思いますか。(〇は1つだけ)

出身地別にみると、海外出身と東京都23区出身にて「住みやすい」が多いです。小金井市出身における「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計は76.4%です。

生まれてからずっと小金井市に住み続けている人は、そうでない人よりも、「住みやすい」がやや多いです。



【出身地別にみた小金井市の住みやすさ】

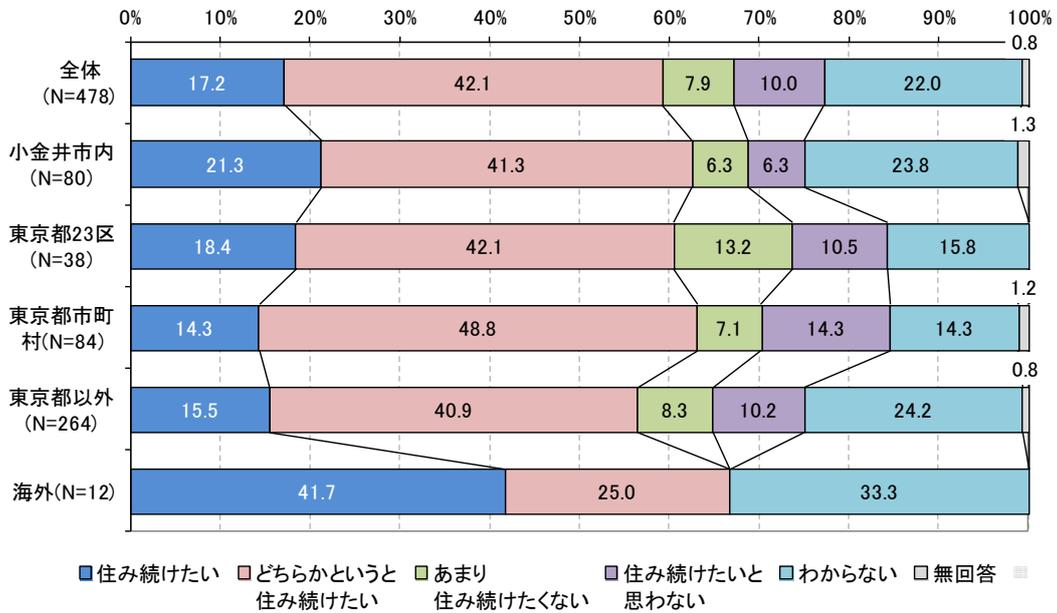


【居住年数でみた小金井市の住みやすさ】

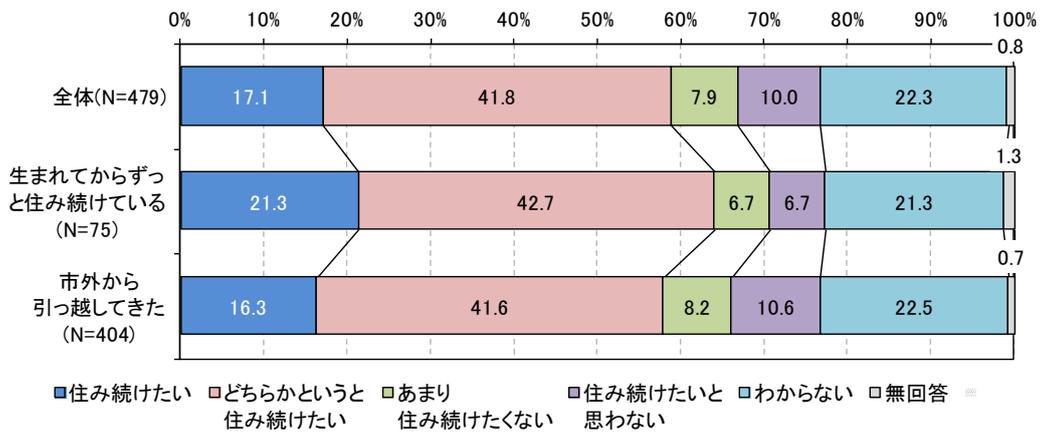
問29 将来、小金井市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

出身地別にみると、海外出身を除き、「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」に大きな違いはありません。

生まれてからずっと小金井市に住み続けている人は、そうでない人よりも「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」が多いです。



【出身地別にみた定住意向】

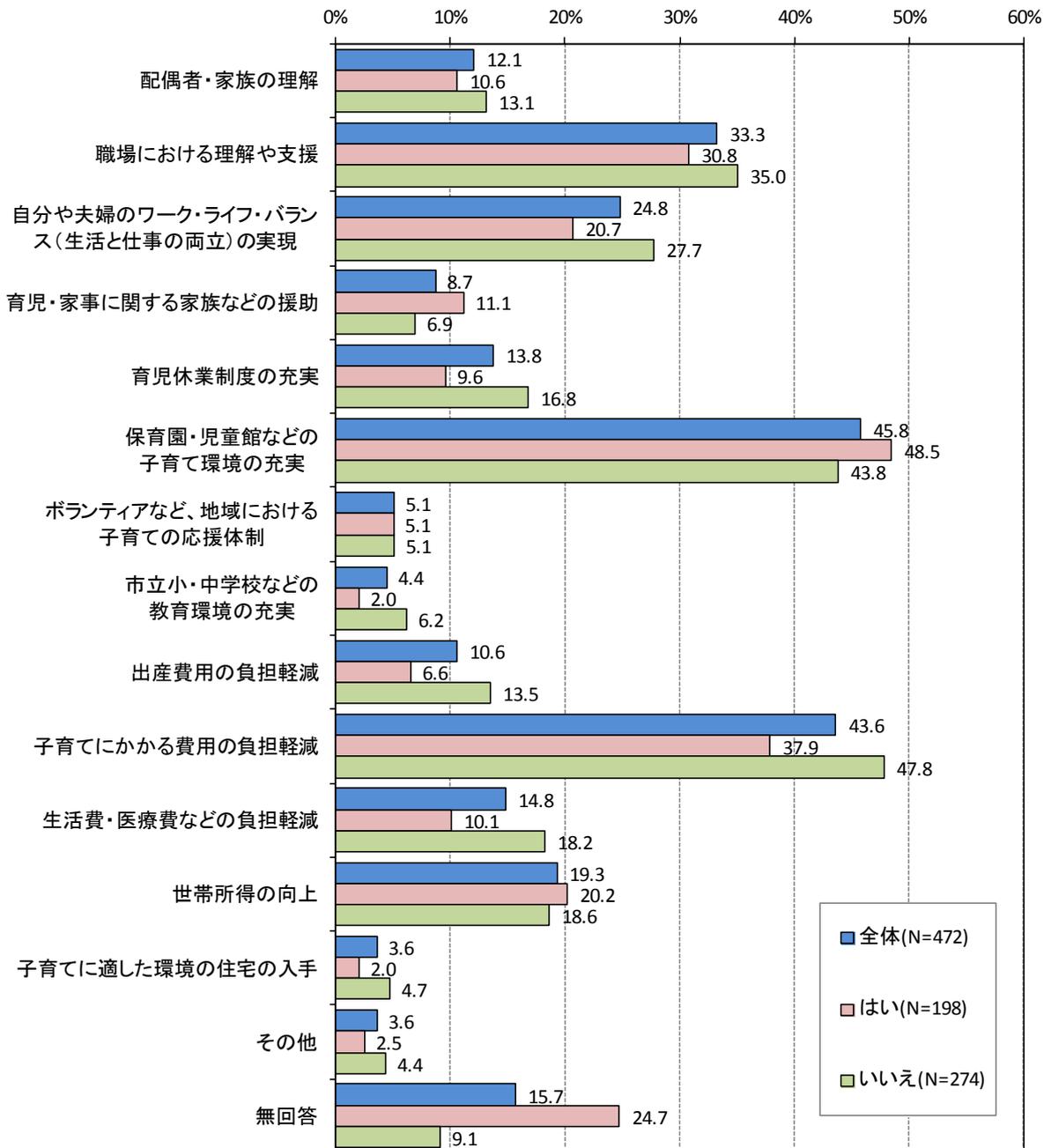


【居住年数でみた定住意向】

3. 子どもの有無による分析

問27 少子高齢化が進んでいますが、一般的に、どのような条件がそろえば子どもを産み育てやすくなると思いますか。(〇は3つまで)

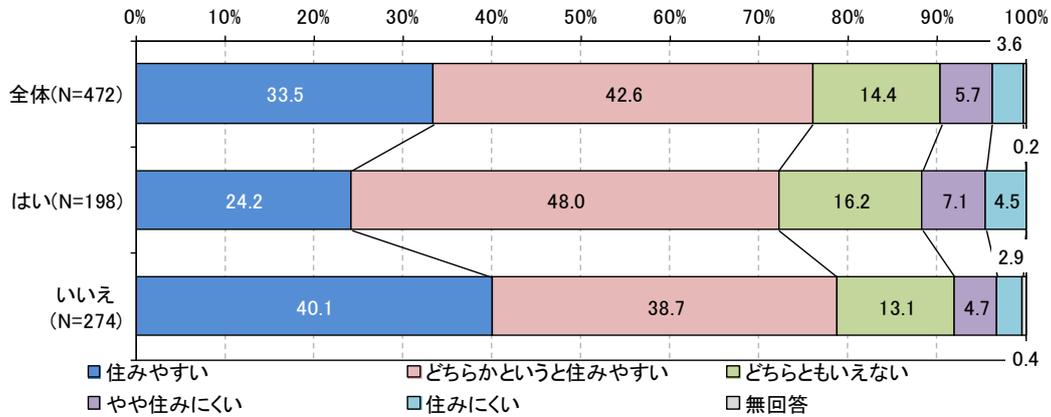
子どもの有無でみると、子どものいる人では「保育園・児童館などの子育て環境の充実」が多いです。一方、子どものいない人は「子育てにかかる費用の負担軽減」「育児休業制度の充実」「自分や夫婦のワーク・ライフ・バランス(生活と仕事の両立)の実現」などが子どものいる人よりも多いです。



【子どもの有無でみた子どもを産み育てやすくなる条件】

問28 小金井市は住みやすいと思いますか。(○は1つだけ)

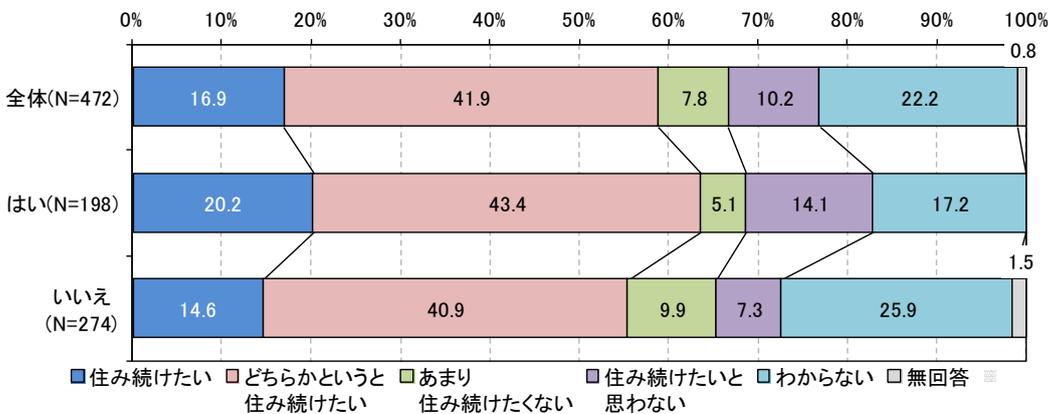
子どもの有無でみると、子どものいない人の方が「住みやすい」が約15%多く、「住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計も6.6%多いです。



【子どもの有無でみた小金井市の住みやすさ】

問29 将来、小金井市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

子どもの有無でみると、子どものいる人の方が「住み続けたい」が多く、「住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」の合計も多いです。ただし、「住み続けたいと思わない」も子どものいる人の方が6.8%多いです。

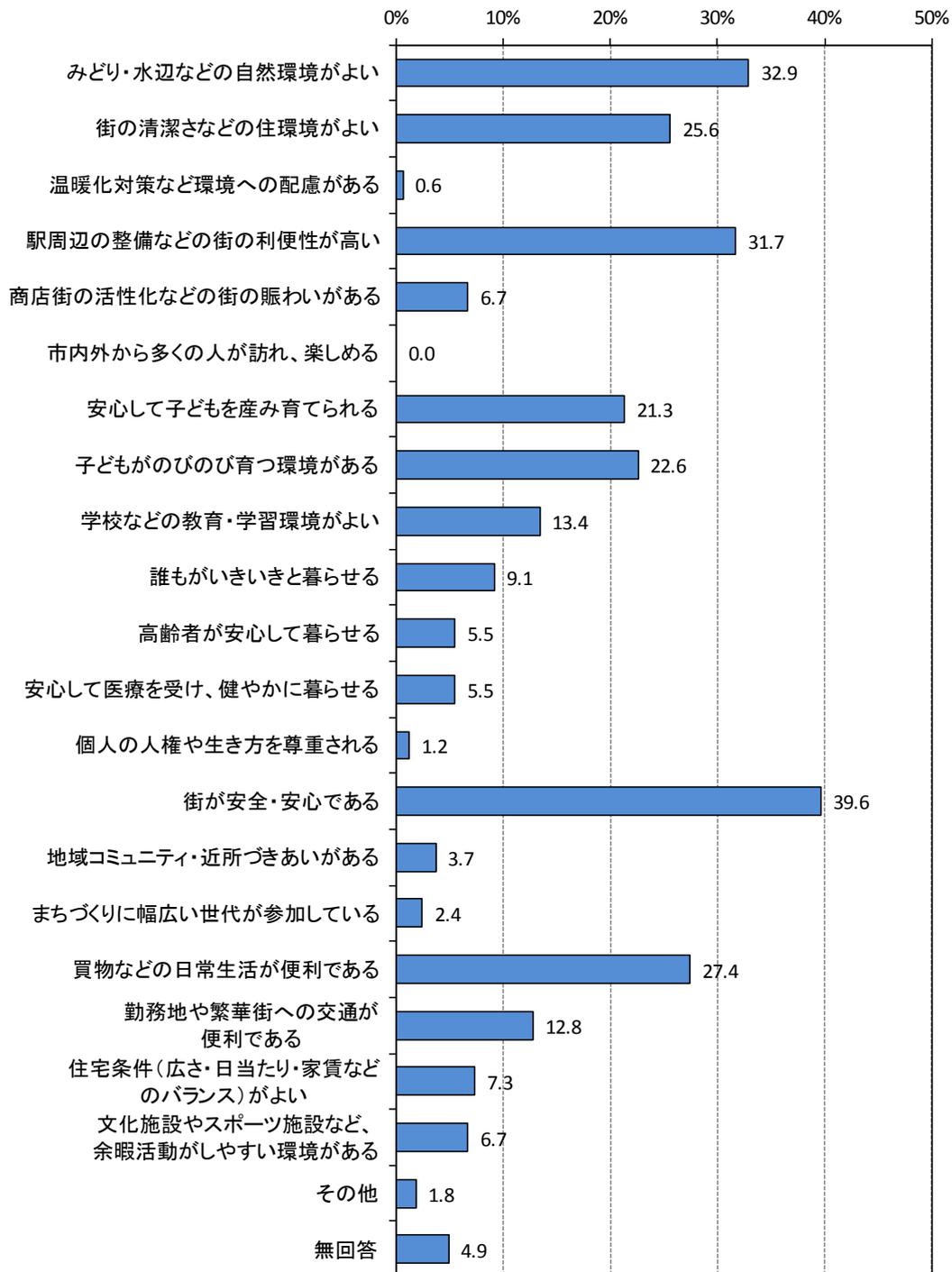


【子どもの有無でみた定住意向】

4. 住みやすさや定住意向による分析

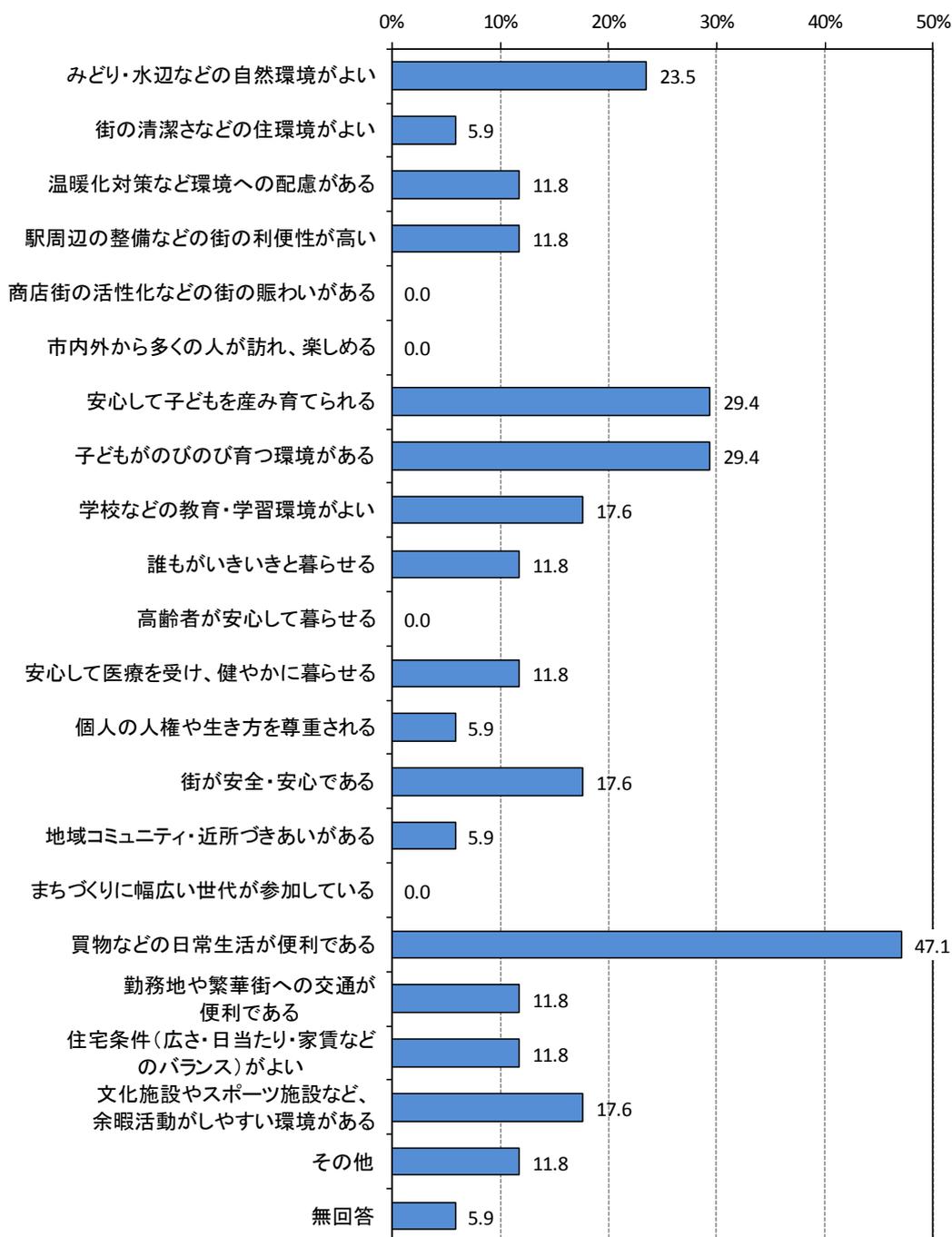
問30 「住み続けたいまち」とはどんなまちだとお考えですか。(〇は3つまで)

住みやすいと感じるかどうかでみると、小金井市を住みやすいと感じている人では「街が安全・安心である」が39.6%で最も多く、次いで「みどり・水辺などの自然環境がよい」が32.9%、「駅周辺の整備などの街の利便性が高い」が31.7%で続きます。



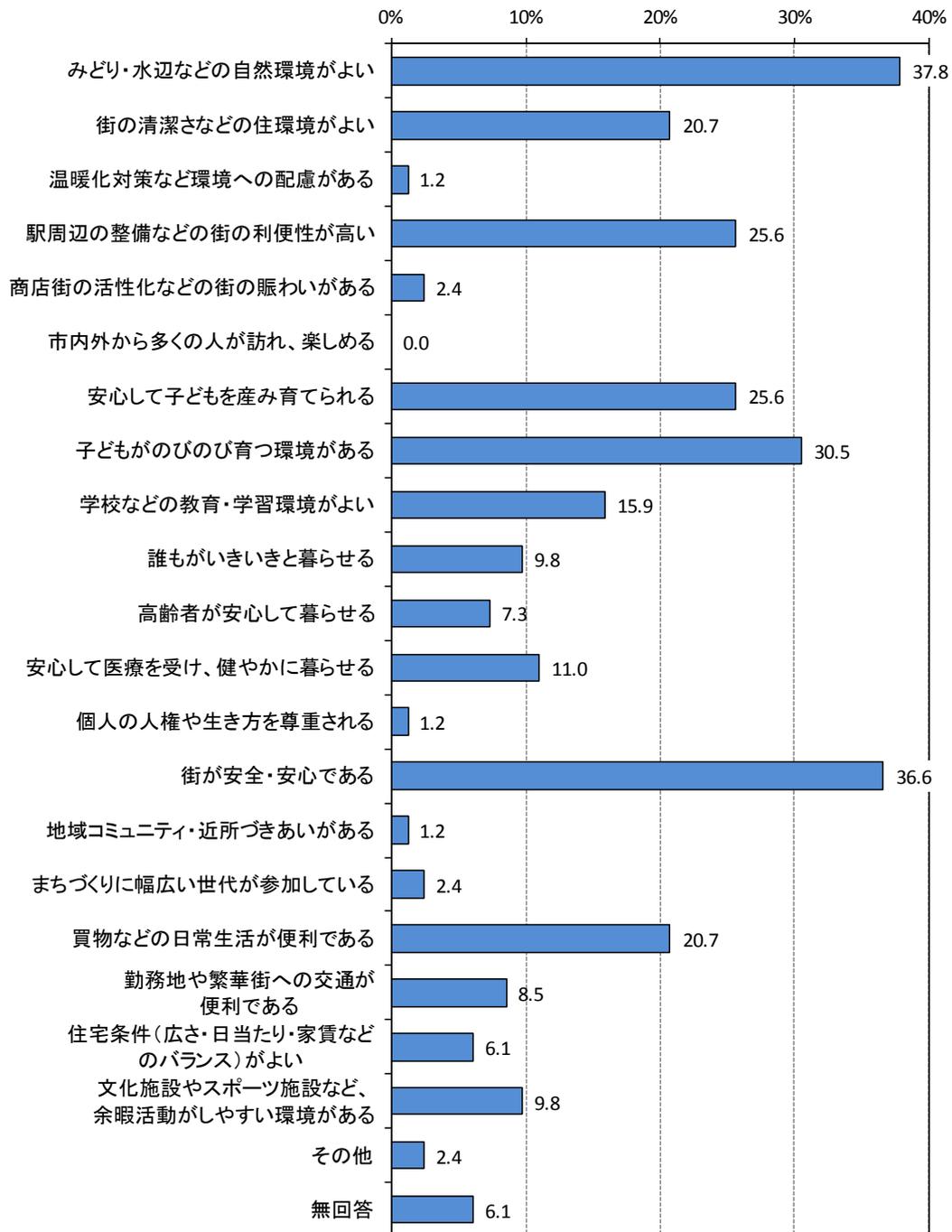
【小金井市を住みやすいと感じる人が思う住みやすいまち】

一方、小金井市を住みにくいと感じている人では、「買い物などの日常生活が便利である」が47.1%で最も多く、次いで「安心して子どもを産み育てられる」「子どもがのびのびと育つ環境がある」がそれぞれ29.4%、「みどり・水辺などの自然環境がよい」が23.5%で続きます。



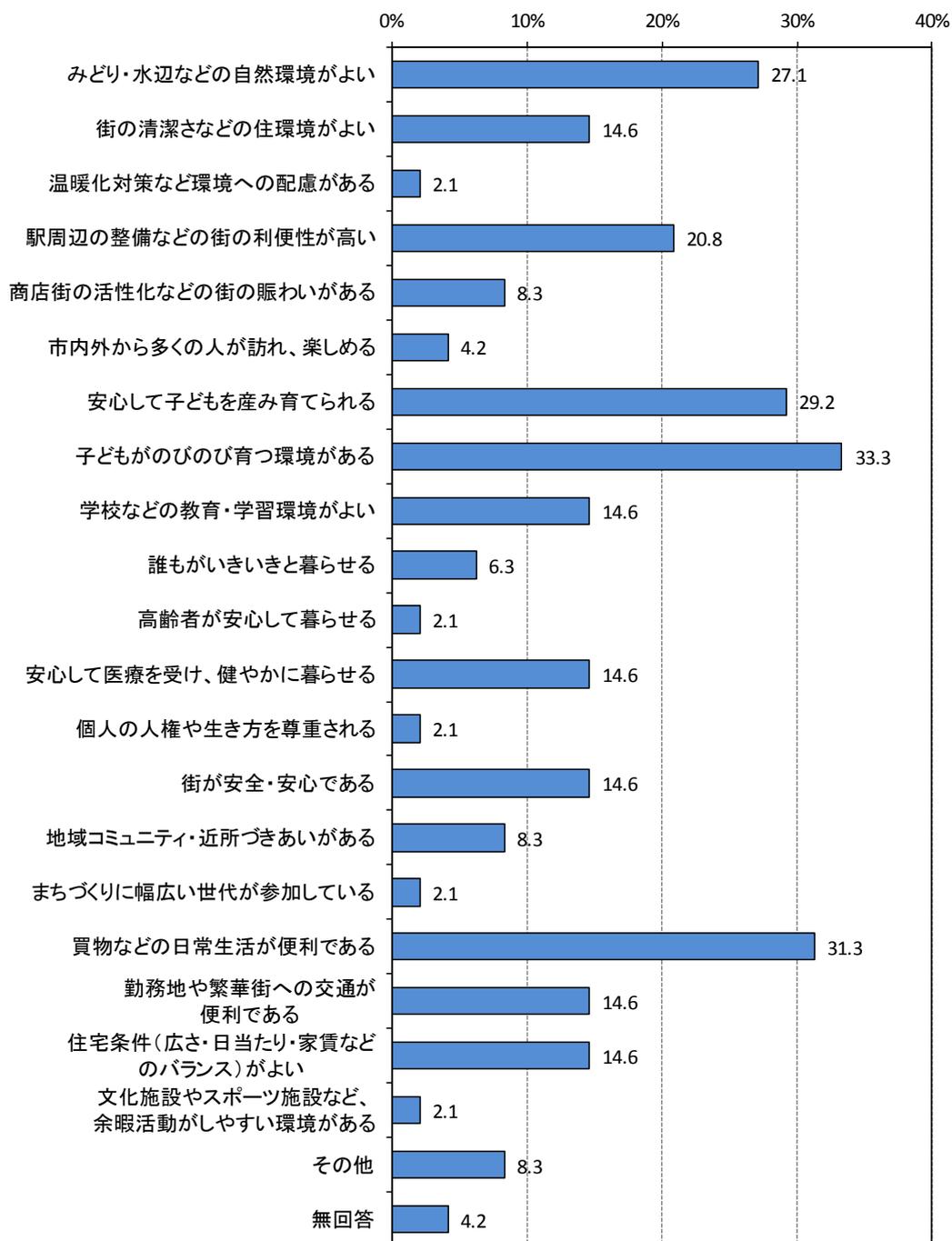
【小金井市を住みにくいと感じる人が思う住みやすいまち】

定住意向でみると、小金井市に住み続けたいと思う人では、「みどり・水辺などの自然環境がよい」が37.8%で最も多く、次いで「街が安全・安心である」が36.6%、「子どもがのびのびと育つ環境がある」が30.5%で続きます。



【小金井市に住み続けたいと思う人が思う住みやすいまち】

小金井市に住み続けたくないと思う人では、「子どもがのびのび育つ環境がある」が33.3%で最も多く、次いで「買い物等の日常生活が便利である」が31.3%、「安心して子どもを産み育てられる」が29.2%で続きます。



【小金井市に住み続けたくないと思う人が思う住みやすいまち】

第5章 自由回答のとりまとめ

問31 「人口減少を見据えたまちづくりを進めていくために、何かご意見・アイデアがありましたら、是非お聞かせください。

■回答数内訳

(件)

項目	16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	合計
自然環境	0	0	0	0	3	3
住環境	0	2	3	1	2	8
環境対応	0	0	0	0	1	1
街のにぎわい	3	2	2	4	6	17
子育て支援	4	6	21	36	36	103
保育園・幼稚園等の充実	2	2	13	28	22	67
その他	2	4	8	8	14	36
子育て・教育	1	1	1	1	1	5
市民の自己実現 (誰もがいきいきと暮らせる)	0	0	2	1	1	4
高齢者福祉	1	1	1	4	2	9
医療体制	0	0	0	2	1	3
人権、男女平等	0	0	1	0	0	1
安全・安心	0	1	0	0	0	1
地域コミュニティ・近所づきあい	0	2	2	1	2	7
市民参画	0	0	0	0	2	2
日常生活の利便性	0	1	2	2	1	6
交通の利便性	0	2	0	5	1	8
住宅条件	0	0	2	2	2	6
文化・スポーツ	2	0	0	1	1	4
ごみ問題	0	5	2	4	3	14
その他	3	5	5	5	8	26
総数	14	28	44	69	73	228

注)自由回答は原文のまま掲載していますが、特定の個人名が含まれるものや誹謗中傷に属するもの等は掲載していません。

■自然環境 3件

回答	年齢層	性別
中央線が通っていて教育環境も良い。文京地区としてアピールする。湧水があり水が美しい。自然が豊かであることもあわせてアピールして、国立市に負けないようなブランド感を出して、今の20～30代に子育てする場として、まず小金井市に住んでもらう!!小金井市大好きです。	35～39歳	女性
人口が減少するなら大型施設はいらない。自然環境を大切にして地域の小さくても面白い店を大切にする。他の市町村が真似のできないような独自性を目指して欲しい。便利だけど、どこにでもあるようなものには魅力を感じない。どこにでもあるなら小金井じゃなくてもいいから。	35～39歳	女性
企業を誘致して昼間の人口を増やして税収を増やす。豊かな自然を生かして森の幼稚園を開設する。	35～39歳	女性

■住環境 8件

回答	年齢層	性別
家の増改築やリフォームを行う際、条例に応じて介護の補助金などを出してあげると、親と同居する世代も増え、多少の将来を見据えて小金井に住んでくれるNewファミリー層が増えてくるのではないか。	20～24歳	男性
人口が減少していく町において、私はこの町に住みたいと思えるようなまちづくりが必要だと思いました。例えば、医療、教育面での住民の負担を減らしたりして、住民が暮らしやすい環境を整えることが必要だと思います。また、心豊かに生活していけるような自然環境も重要だと思います。小金井市は緑豊かな町なので、それを大事にすることは、住みたいと思える町づくりにつながるのではと思います。	20～24歳	女性
自然を残すことを念頭において計画を立てる。ゴミの捨て方やタバコの路上喫煙。人口が増えると同時に自治体の清潔さとして損なわれていくものもあると思う。今の小金井市がキレイなところだと感じるので、それを守れるようにルールを整備して欲しい。	25～29歳	男性
マンション建設ではなく、リバースモーゲージを活用した空き家問題の解消や若い夫婦世帯への貸出等を行う。高齢者の就労支援(柏市で行っている「高齢者の生きがい就労プロジェクト」のようなもの)	25～29歳	男性
人口減少の観点からはずれるかもしれませんが…。小金井市に転入して1年程ですが、通勤中の道によく嘔吐物があります。毎朝毎日別の場所にあり、それも数日放置され掃除もされないんだなと思っていました。今まで住んできた東京都内、市内の地区より、清潔面であまり良いと思えませんでした。より住みやすく気持ち良く生活できるように、清潔面での整備、対応は重要だと思っております。	25～29歳	女性

将来人口減少に伴い、空家等が増えた際、次の世代が暮らせるような体制を作って欲しいです。1人あたりの住面積を広くより住み心地の良い環境づくりをして欲しいです。小金井市周辺は緑が多いので都心のオアシスになるような街づくりが良いと思います。治安の良さを維持して頂きたいです。歩道を広く、人と自転車と自動車が互いに快適に利用できる体制でいて欲しいです。世界中の頭脳や才能が集まるような知的住的インフラを整備して欲しいです。	30～34歳	女性
人工物に頼ることなく地球・自然本来の良さを活かした街づくり。暮らしづくりをしていくことを目指す。理由①人工物を作成し、その維持に資金がかかり、その財源に苦勞しないで済むため。②管理せずとも成立しやすい住環境を目指す、人が減っても影響されづらいと考えるため。	35～39歳	女性
広くて安全な歩道の整備。住宅の区画整備。大学や研究施設の誘致(地域活性化の為)。スポーツ施設を作る(有料で)。	35～39歳	女性

■環境対応 1件

回答	年齢層	性別
人口減少が問題だとは必ずしも思っていない。昭和20年代くらいまでは小金井市も農地と森林の地域だったことを考えれば、また元に戻ってだけで住人が減少すれば、道路も拡張できるし自然も元に戻せる。混雑も緩和され本当の意味でのエコロジー&文教都市として、活性化できるかもしれない。まあその分だけ市としても役所や公的サービス等も縮小するべきだが、どの程度縮小してコンパクト化するかは、今後の状況予測などにもよるのでわからない。日本全国が人口減なのだから、小金井市だけが増加に転じるというのは難しいと思う。	35～39歳	男性

■街のにぎわい 17件

回答	年齢層	性別
娯楽施設を作る。→高齢者増加を考えるなら、室内でアクセスが比較的安易なもの。→子供を増加させるなら、球技可能な公園を設置する。→中高生ならカラオケ、ボウリングなどの施設を増やす 今後の活躍に期待しています。	16～19歳	男性
個人的にもう少し遊ぶ場所・服屋などを増やしてほしい。友達と遊んだり服を買いに行ったりと、他の駅ですることが多い。もう少し友達に自慢のできる町にしてほしいと思う。	16～19歳	女性
東小金井駅の利便性が低いように思われます。nonowaでおしゃれなお店が増えたけれど、文房具屋やマクドナルドのような学生でも利用しやすい店ができたなら良いなと思っております。	16～19歳	女性
南口は再開発が進み、買物等便利だが、北口は少しさみしい気がします。あと、駅の出口が1つなのが不便です。少しだけ…北口バスを利用するので、北口側にももう1つ出口を作ってほしいです。	20～24歳	女性

商業施設のような大きな建物をつくるよりも、小さくても雰囲気良かったり個性のある素敵なお店が数多くある方が魅力的である。	20～24歳	女性
ゴミ焼却炉問題の改善→細かい・めんどくさい。学生の街というイメージがあるので、東小金井近辺の大学合同で学生主催のイベントを年に1,2回やって活気を作るとか。20代後半-30代半ばの人があったらうれしいと思うものを考える。	25～29歳	男性
歩道など自転車・徒歩できるスペースを作る(増やす)。チェーンレストランと居酒屋より個人の小さいお店を歓迎する。街並を考えて低い建物の真中に高いマンションなどを作らない。商店街を守る。花火大会やお祭りのイベント情報を市内で、もっと宣伝する(駅の新聞にものせるとかポスターを増やすとか)。	25～29歳	女性
日本人もボランティアをする事が日常化するような子ども教育をして欲しい。老人宅へのお弁当配達など一般化するとよいと思う。小金井市ならではの高いビルのない抜けた緑の景観を保って欲しい。駅前に居酒屋やチェーン店ではなく、小金井ならではの個人店舗があると友人たちも来る目的になる。(吉祥寺や下北沢など)	30～34歳	女性
まずは何をやるにも資金が足りない。小金井のイベントなどは中途半端。人口を増やし税金が増えるように商業施設を増やし、市外の人が魅力に思える街づくりをするべき。自然豊かな小金井だが都立公園はどこも駅から遠く、交通の便が悪いので結局市内の人しか来ない。その辺をもっとしっかり考えてみてはどうか?	30～34歳	女性
見やすいHPにリニューアル(一括して業者に頼むなどしてセンスあるHPに)。住民税の減少が見込まれるので、利益を創出する企業、商業施設を誘致してほしい。Exアウトレット、ルミネ、一流企業・市として問題がありすぎるのが悪い→予算的にムリだったが本当は武蔵野市や三鷹市に住みたかった。町としての魅力が少ないのも問題。緑が多いのはいいことだが、ただの雑草だらけの管理されてないイメージ。委託をすすめて職員を減らすなど行革の推進。	30～34歳	女性
人口減少している地域の若い人は、仕事がないから出ていくと思う。小金井市はベッドタウンで、仕事先となる人は少ない。就業先を増やすため、商業施設や、人を多く雇用する可能性のある工場などの施設を呼ぶことができれば、将来的な人口流出を防ぐことができると思う。	30～34歳	女性
小金井市は非常に魅力的な街です。駅周辺もキレイになり、とても可能性を感じます。駅周辺の開発、保育園等の充実、小金井公園の活用を進めれば、若い家族も増えていくと思います。家賃が上がりすぎなければ…。期待しています!	35～39歳	男性
高齢化に伴い、市の収支を維持することが大変になると思われますので、積極的に法人を呼び込み、設立させる環境づくりが大切かと考えます。介護を支える人材の育成、助成も大事だと思います。よろしくお願いします。	35～39歳	男性
駅周辺に高層ビルを建て複合型施設を充実させる。CoCoバスの南北長距離ルートを作って、市内の移動を容易にできるようにする。公立学校の放課後や休日の空き教室を解放して子供達の自習型学習指導や市民の利用機会を作る。	35～39歳	男性

再開発のやり方が間違っている。駅付近の店のセンスがない。ヨーカドー付近が、風がまきすぎる。	35～39歳	男性
小金井にあるMANGABARのような店が増えると良い。(老人から子供まで楽しめる。)	35～39歳	男性
小金井市の商業施設が少ない。ヨーカドーだけでは、子供を連れて行くには少なすぎる。府中は「くるる」や映画館、室内で過ごせる場所があり便利。小金井市は公園だけで真夏涼しく過ごせる所が少なすぎる。学校の夏休みの活動や子供が夏休み楽しく過ごせるよう何かプロジェクトがあったらいい。	35～39歳	女性

■子育て支援 103件(保育園・幼稚園等の充実:67件、その他:36件)

保育園・幼稚園等の充実:67件		
回答	年齢層	性別
保育園などの子育て環境を増やす。	16～19歳	男性
高齢者の方への支援等もちろん必要な事だと思いますが、若い人達に負担をかけすぎないような制度を作ってほしいです。若い人達が生き生きと働ける環境が作れば、市外から人が働きにきてくれるかも、と思いました。介護施設も必要になるとと思いますが、駅の近くとかに保育所とかがあると、働く女性達も楽になるとと思いました。	16～19歳	女性
保育所の増設。働きやすい職場環境作り。どの世代でも利用できる施設。(例えば図書館・映画館・スポーツ施設など)	20～24歳	女性
保育園等の待機児童の問題を解決してほしい(公立保育園を増やしてほしい)。出来るだけ早くに子どもを産み育てたいとは思っているが、仕事と育児のバランスを考えると、2人目以降をいつ作れるか見通しが立たない。一時保育などでも良いので、希望者が出来るだけ希望通りに利用できるシステムが必要。	20～24歳	女性
小金井市でも将来高齢化は大きな問題になってくるかと思います。そのような状況の中でも市が活気を持っていく上でも、より若い子育て世帯を受け入れていく必要があると思います。小金井市は小金井市公園をはじめとする緑が豊かな風土に加え、教育水準や治安の良さなどの子育てに恵まれた場所であり、都心部へのアクセスもよく、場所のポテンシャルは非常に高いと思います。待機児童の解消をはじめとする子育て世帯の受け入れを強化することが今後さらに重要になってくると思います。	25～29歳	男性
子育て環境の充実 ①保育園・幼稚園の延長保育の充実 ②児童館・放課後の子供見守りの施設の充実 ③図書館・多目的学習館の充実	25～29歳	男性
保育園を増やし待機児童を減らして欲しい。	25～29歳	女性
保育園の充実を進めてほしいです。子育てできなければ引越しを考えてしまいます。保育園に必ず入園できる安心な子育てできる市になってほしいです。	25～29歳	女性

子育てについて様々な面で支援が不足しているように感じます。まず第一に改善頂きたいのが保育園に関する問題です。家賃や物価が高くなるなか仕事を辞めるわけにはいかず、どこの保育園も定員いっぱい、働きたくても働けないのが現状です。是非、保育園問題を解決するため、保育園の数を増やしていただければ子育て世代数が増加するのではないかと思います。よろしく願いいたします。	25～29歳	女性
幼稚園・保育園の充実←幼稚園が坂下に集中していて遠い。公園等の遊び場の充実←夏の水遊び場が少ない。子育てするには安心のできる土地だが、子供を遊ばせるために市外へ行く事が多い。保育園のために市外へ転居した人もいる。若い子育て世代がずっと住み続けてくれる工夫が必要かと…。	25～29歳	女性
是非安心して仕事をしながら子どもを育てられるような環境整備をお願いしたい。保育園に入りやすくしてほしい。そうすれば子どもを持つことへの抵抗がなくなるから。今後高齢者の人口が増えることが予想されるので、高齢者が保育園というかたちにこだわらず、子供の保育を行う体制が進めばよいと思う。	25～29歳	女性
人口減少はもはや小金井市だけで対応できる問題ではないと考えますが、今後減り続ける若い世代を獲得していくために、雇用の拡大と子育て環境の充実を望みます。都心へのアクセスが良く自然も残る環境は素晴らしいと思っています。小金井市に住む友人たちからのすすめもあり転入しました。住みやすいが子育て環境に不安があると聞いています。単身者にとってはとても快適ですが、保育園が少ない等の話を聞くと、小金井市での子育てを働きながら実現できるのか不安もあり、当面子どもを持つ予定を立てられません。	25～29歳	女性
子どもを産み育てるのに、住民の負担を少なく減らせるような対策が必要だと思います。女性に働いてほしいというなら、働いていても子育てが出来るような社会の環境作りが大切です。保育園を増やし待機児童を減らすような具体的な対策や、一部の区のように子どもの医療費を中学生・高校生まで市が何割か負担するなど。難しいとは思いますが、小金井市が住みやすく子育てしやすい町になることを期待しています。	25～29歳	女性
幼稚園、保育園の増設。ごみ問題の解消。将来的に人口を増やすには、子育て世代の転入がポイントでは。小金井市は中央にJR中央線が通っているため通勤に便利。これに子供を育てやすい、預けやすい環境を整えば、特に共働きの世代の転入が増えると思う。一度子供を幼稚園や保育園に入れると転居もしづらくなるので永住者の増加にもつながるのでは。	25～29歳	女性
保育士の給料を上げ、保育所を増やすべき。	25～29歳	女性
保育園をふやしたり、教育費を充実させる。小金井は待機児童が多いと報告されているのだから、もっとそこに予算をかけるべき。市役所の市庁舎問題もなんとかして。	25～29歳	女性
保育園の問題を含め、とにかく子育て支援に遅れを感じます。	25～29歳	女性

子どもが市立の教育を受け地域で過ごすようになれば、自然と地域活性にもつながると思います。我が子は保育園に入る必要があると認定は受けていますが、待機児童です。待機児童がいる限り、未就児童は増えませんが一方で保育園が充実しているというだけで、市外から転入する人が急増します。そういう面ではチャンスでもあると考えています。今まで市政に正直やる気を感じなかったのが、このようなアンケートを取るという姿勢に感動しました。市役所ビル問題・前市長の問題大変だと思いましたが、応援してます。	30～34歳	男性
出産という素晴らしいことへの不安が大きいと思います。その後の仕事への復帰。「保育園はあるかな…」という、精神的不安は子供を産むか産まないかの選択に大きく影響します。子供の数=人口増加につながると思います。医療費免除の引き延ばし(中3まで)を今、お願いします。	30～34歳	男性
もう少し子育て世代への手当を手厚くして頂いたり、子育てしながら働きたいお母さんの思いを実現できるだけの保育園の数を確保したり、子育てしやすい町づくりに力を入れて頂ければ、人口の減少もいとめられるのではないかと思います。金銭面で難しいのであれば、お隣の市との統合や合併なども考慮に入れていく必要性が出てくるのではないかと思います。	30～34歳	男性
子どもを育てやすい環境を整えるのが大切かと思います。人口減少を止めるには人口増加がなければなりません。結婚している人と話すと子供は2人欲しいという声が多いです。ですが、環境(保育園や幼稚園)がないから…というのが現状かと思います。2人で夫婦ですから2人でとんとん、2.1～はプラスになるのですから、減少を見据えるのではなく、人口を増加させるためのまちづくりが大切なのでは?と思います。	30～34歳	男性
子育て世代が住みやすい環境にしてほしい(保育園の充実など)。駅周辺の商業施設を充実させてほしい。治安をよくしてほしい(ひったくりなど)。公園がたくさんあるところはいいと思う。	30～34歳	男性
「人口減少を見据えたまちづくり」を進めていくより先に、どうすれば人口減少を止められるか、どうすれば高齢化率を下げられるかを考えるべき。待機児童の問題などもっと子供を育てやすい環境づくりを迅速に進めるべきでは?	30～34歳	男性
保育園の増設。医療機関増設。	30～34歳	男性
入りたい人が全員入れるように保育園を増やしてください。	30～34歳	男性
保育園の整備。待機児童を減らすことが必要かと。出産を10月にひかえ仕事を辞めたが、できれば早く復職したい。しかし現状では仕事を続けていても保育園へ入れるか難しい状態で、3才4才児での保育園入園は大変だと聞きます。駅前の無駄な開発にお金をかけるならば、こういうことにお金を使ってほしいです。	30～34歳	女性

<p>社宅が小金井にあったので現在住んでいます、特にずっとここに住みたいとは正直思えない。周りの市町村と比べても、財政面に余裕があると思えない。幼稚園の補助金にしても小金井はだいぶ低かった。保育園も充実していないし、何より小金井市に魅力的な幼稚園がなく、西東京市まで通っていました。昔は緑町にもあったそうですが、建設予定はないのでしょうか?あと、保健センターが国分寺よりで大変遠く、civic center(ムサコ南口)に設けてほしいです。</p>	30～34歳	女性
<p>2040年の人口減少よりも、現在の待機児童の問題を何とかしてください。小金井市は福祉が弱すぎです。市役所も他の市や区に比べて覇気がなく残念な雰囲気です。</p>	30～34歳	女性
<p>30年以上小金井市に住んでいます。緑も多く交通の便もよく、いい街だと思いますが、子供を産んでから保育園の待機児童の多さに驚きました。待機児童が解消されなければ、子育てにとってはいい街とは言いつらい状況です。新しいマンションはどんどん増え、転入してくる方も多いのに、保育園の数はあまり増えないこの状況では、もともと小金井に住んでいる身としては住みづらくなっていると感じます。子供園の新設にも力を入れてほしいです。日曜日に開放される室内の遊び場等できると助かります。</p>	30～34歳	女性
<p>子育てしやすい町にして下さい。保育園や児童館が足りません。子供から大人になり就職する際、今の子は“Uターン意識”、“地元意識”が非常に強く感じます。だからこそ産まれ育った小金井に恩返ししたいと、地元意識をしっかり持った子に育てたいと思い、そのためには子供のうちから市政とのつながりをしっかり感じられるような取組をお願いしたいと思います。</p>	30～34歳	女性
<p>安心して子どもを預けられたり、教育を受けられる環境制度の充実。待機児童問題の解決。共働きも安心して子どもを預けられたり、働きに出られる環境であれば、もっと住みやすく子どもの数も増えると思います。また補助金等の充実をしてほしいです。</p>	30～34歳	女性
<p>待機児童の改善が必要だと思います。実際に私も保活を経験しましたが、認可と認可外とでは費用がかなり違ううえ、預かってくれる所が見つかるかとても不安でした。働く身としては保育園が見つからないというのは、出産をためらう一つの原因になると思います。現状ではフルタイムの方が優先されますが、アルバイトやパートとしてしか働く事ができない生活困窮者の私としては、フルタイム勤務ではなくても認可保育園に入れるようにしてほしいと思います。</p>	30～34歳	女性
<p>子育てが楽しいまちを作って、若いカップルも子どもを育ててみたいと思わせたらなあと思います。例えば児童館をきれいにしておしゃれ感をアップさせる等。不妊治療を受けてる人たちにお金・精神のサポートを提供する等。出産しても仕事にもどりやすくするため、保育園の数を増やしていただきたいです。</p>	30～34歳	女性
<p>保育園などもう少し子育て環境をよくしてほしい。病院が少なく待ち時間が長いので医療も充実させてもらいたいです。</p>	30～34歳	女性
<p>公認の保育園等の増加。保育士も常勤等で体遇を良くし、子育てがしやすい環境にしてほしい。新しい住宅の建設(駅周辺)。</p>	30～34歳	女性

現在の保育園の制度では、子供が保育園に入れない、または退園させられる可能性が高いため第二子を出産することができない。現実問題で子ども(第二子以降)を産むことをあきらめました。制度もきちんとしらず、小金井市に家を購入したのが間違いでした。	30～34歳	女性
子どもを持つ世帯に住んでもらえるよう、子育て環境の充実を図ってほしい。保育園の数を増やし、待機児童ゼロ→子どもが多い街は、活気がある、そして保育園に入れるということであれば、子育て世帯の人口増が見込める。徹底した高齢者に優しい街づくりを行う。高齢者が増える現状は変わらないのであれば、逆に高齢者が住みやすい街にする。バリアフリー、老人ホームの増設、バス、タクシーなどの無料化、高齢者向けのマンション建設(大学生なども入居できる、高齢者と若者が共に生活できるマンションなども良い)	30～34歳	女性
保育園を増やしてほしい。増えれば子どもももっと増えるのでは…。	30～34歳	女性
子供が保育園に入れるように。	30～34歳	女性
保育園か幼稚園が少ない。ふやして欲しいです。	30～34歳	女性
保育施設の充実。学童保育の期間延長。子育て費用の補助。	30～34歳	女性
保育園が少なすぎると思います!!専業主婦が、社会復帰しやすい環境を作ってください。	30～34歳	女性
公営の保育園や幼稚園を増設すべき。	30～34歳	女性
子育て世代が住みたいと思えるまちづくりが重要だと思います。保育園、病院保育を充実させ、安心して子供をあずける事が出来る環境をととのえるべきだと思います。幼稚園、小学校、中学、高校と魅力ある学校づくり、学童づくりが大切だと思います。	30～34歳	女性
昨夏、転居してきました。現在、育児休業中、保育園入園希望です。小金井市の待機児童の多さに驚くと共に、仕事復帰への不安を抱える毎日です。環境も良く、安心して住める反面、保育園に入れず、やむを得ず転居する方もいると聞きます。子育て世代が、身体的、精神的、社会的に安心して生活できるようにすることが、人口減少へつながると思います。対策は進めておられることと思いますが、ぜひ早急に保育園を増やしていただきたいです。	30～34歳	女性
中央線沿いで都内勤務者が多い地域なのだから、待機児童・学童のあり方が現状とマッチしていない事を正しく把握できないうちは、人口が増えないと思う。また、インフラ(ゴミ問題をはじめ市役所・福祉会館・図書館等)の整備について二転三転するような事が続けば、転居を考える人が増えるのは当然なのではないでしょうか。	35～39歳	男性
人口増加にもつなげるため、安心して子を産み育てられる環境作りをお願いします。第一に待機児童ゼロにして下さい。保育園の充実・入園させたい方全員入れるものでなくてはなりません。学童保育の充実。子育て(働きながらの)サポートの充実をお願いします。小金井市が子供の世代にも素敵な街となりますよう、より一層の市政の充実を期待致します。今後とも市民も一体となって、よりよい街作りしていきましょう。宜しくお願いします。	35～39歳	男性

子育て世代が引っ越してきたくなるような町づくり。義務教育(中学生まで)医療費負担をなしにする。保育園、学童の待機児童0にする。病児預かりの施設の増設。駅前に子供の一時預かり施設を作る。どこかの市であるようなボランティア(学生など)が無料で子供の勉強を見てくれる施設。ゴミの無料化(有料ゴミ袋をなくす)。市役所、市長の給料を全国の平均以下まで下げる。	35～39歳	男性
育児のしやすい街づくり。保育園の充実や学童保育の利用しやすさ(早朝も対応するなど)して子どもを産んでも女性が仕事を続けられる環境を作る。シルバー人材を保育や学童のサポートに入れて活用し、子どもが自分の親と違った世代ともふれ合う機会を増やす。シルバーの世代も近隣の子どものところと接点を持てばコミュニティーの活性が出来ると思われれます。※私の出身地の名古屋では放課後に空き教室を使ってシルバー人材の人が子供に勉強などを教える教室を行っていて、私のおいも利用しており、兄夫婦が大変助かっていました。	35～39歳	男性
保育施設の充実。子育てしやすい環境と負担軽減のしくみづくり。街の魅力向上(買物利便性、交通機関の充実、ゴミ処理施設確立)。	35～39歳	男性
保育園、幼稚園(給食あり)を充実させ、待機児童をなくし子育て世帯がすみやすいまちにして欲しい。	35～39歳	男性
認可保育園の数を増やし、安心して希望する保育園に子供を預けられる環境が整えば、少し人口減少のスピードを遅らせることができます。もちろん母親の勤め先の理解があって成り立つことですが、仕事に復帰できるかわからない状況で、子供を出産するということを選択するのはとても勇気がいります。	35～39歳	女性
子供を育てる世代が安心して、子供を生み育てることが出来る環境を作ってもらうことが第一だと思う。子供を生むことが出来ない環境は、最終的に人口減少に結びつく。私は子供を育てながら働きたかったが、保育園の待機児童で延長してしまっただが、結局入れず会社をやめることになった。子育てにはお金もかかるため、お金が入ってこなければ子供を生むことをちゅうちょする人も出てくると思う。やはり安心して子供を生み育てることが出来る環境を作ることが第一に必要と思う。そのため保育園・学童・医療費・その他補助等、期待したい。	35～39歳	女性
保育園を増やしてもらいたい。保育園の延長保育の利用について、より充実させてもらいたい。病児保育の対応の幅も広げてもらいたい。以上「保育」について現状よりも使い勝手のよいものにしてもらえると、もっと子育てをしやすく、小金井市で子育てをしていこう!という人が増えると思う。	35～39歳	女性
保育園や病後児保育の充実が必須だと思います。出産を契機に仕事をやめた人は少なくないと思います。仕事をやめたい人が多ければその分世帯収入も減りますし、市にとっても税収が減ることによって、個人にとっても市にとっても経済規模が縮小することになると思います。そうなれば様々なサービスの低下にもつながります。保育園建設の土地がなければ、既存の建物(商業施設や市民交流センターの一部を借りるなど)を利用すればいいのではないのでしょうか。人がいなければ主婦のパートで支えることはどうでしょうか。	35～39歳	女性

高齢化率33%すべてが働けないとは思えないので、労働の提供と市外に働きに出ている人が辞めて、扶養に入ることがないように、辞めないですむような保育所などの環境整備(時間外・病気時の対応)が必要だと思う。私に子供はいませんが、職場の子供がいる女性は子供が熱などで休んだり、早退したりが多くなってしまい、仕事がとてつらそうです。また居づらそうです。働き続ければ所得も上がるので、2人が3人4人と産める人もいると思う。	35～39歳	女性
高齢者の雇用確保、雇用創出。子育てに関する理解。(企業の)就業時間の多様化に対応した保育所の創設。	35～39歳	女性
せっかく子育てに向けた環境(公立小中学校の充実・公園等)があるのだから、保育園を充実させて子育て世代にアピールするようになっていくべきだと思う。子育て世代はよい場所であれば転入してくると思う。ホール等のハコモノはいらないが、図書館は充実させてほしい。ゴミ対策等、自治体として当たり前のことを当たり前にしてほしい。	35～39歳	女性
待機児童対策を早急に!! 子育て支援の充実!!	35～39歳	女性
子育てや教育費の軽減と保育園・幼稚園の充実。安くて新鮮なスーパーなども増えると、若い人も住みやすく永住したくなると思います。主人は市の合併が良いのではないかと考えております。	35～39歳	女性
学童にもう少し入りやすいようにしてほしい。保育園や子ども園を増やしてほしい。	35～39歳	女性
人口減少を止めるためには、子育て世代が住みやすい市であることが必要であると思う。そのために、現在、不足している保育所の整備、また、小金井市には現在ない制度として「夏休み学童(4年生以降も受入れ)」等を整備してほしい。	35～39歳	女性
人口減少にフォーカスすると、何ひとつ浮かびませんでした…。見据えるべきは減少ではなく、どうしたら増加、あるいは現状キープできるのか、ということでは?と思います。そもそも市として人口をふやしたいのか減らしたいのか(それはないと思いますが…)、キープしたいのか、この質問からは向かいたいビジョンが見えません。個人的には住みやすくとても気に入っている町です。保育施設の空きが少なすぎるのが難点ですが、それを理由に引越を考えるほどではありません。今のところは。	35～39歳	女性
武蔵小金井駅前開発の市介入中止(ムダ使いしない)。小金井市待機児童“0”。高齢者施設の充実。	35～39歳	女性
待機児童ゼロで医療費や学費の支援が多ければ子育て世代が移り住むようになり、労働者の人口も増え税収も増えるのではないのでしょうか。税収が増える分子育て支援の予算も増えると思いますが、地域は活性化したいと思います。高齢者ばかりでは地域の機能維持は難しいと思うので。	35～39歳	女性

「人口減少を見据えたまちづくり」の前に現在足りていない保育園の数を増やしてほしい。園をふやすのが難しいのなら定員数を増やす、又は助成金を増やす等早急に対策を進めてほしい。先のことも大切ですが、何年後と言わずに目の前の困っている人を助ける市政であってほしいです。そのような心構えを小金井市には感じられません。長く住みたいと思えるような人に優しい市政であってほしいものです。	35～39歳	女性
保育園を増やす。保育園でなくても短時間利用(一時保育)できる保育施設を増やす。学童保育の夏季利用のみの募集をしてほしい。学童保育の入所条件の緩和(PM1時～PM4時までの条件)(週4日仕事をしている)。子医療費の所得制限をなくす。小学校3年までに延長する。放課後、学校の教室を利用して見守り学習をする。老人にばかり手当が厚すぎるこの国、どうにかして欲しい。	35～39歳	女性
その他:36件		
回答	年齢層	性別
税金のムダの多い市には住みたくないで、まずは市役所の土地を借りて、ムダづかいしたりするのをやめた方がいいと思います。よくわからない所に税金つかうなら、少子化対策に少しでもつながっていくように、子育てのための支援等に回すべきだと思います。	16～19歳	男性
子供たちの遊び場を増やす(外でのびのびと遊べるように)	16～19歳	女性
宮崎駿の書籍「虫眼とアニ眼」にあるイーハトーブ町の案を採用して、高齢者と子供達が気軽にかかわれる環境を作る。保育園の業務を一部負担してもらい代わりに、その分安く入れる老人ホームを作る。老若男女の中で低くなりつつある、子育てのステータスを上げる。	20～24歳	女性
子どもを大事にするまち。人口減少で高齢者を支える次世代を大切にすまち。	20～24歳	女性
結婚して子供を産んで子育てをしてという流れが充実している生活が何の心配もなく暮らしていける街なら住みたいと思うし、他の地域からも来ると思います。住民税や子供にかかる色々な支出、府中とかは小学校の子供に使うドリルやら色々なお金がすべて無料と聞きました。小さいかもしれませんが、これから子供を産んで育てていく上では重要です。保育園もすぐ入れるのか、まだわかりませんが不安な点はたくさんあります。若い世代にもわかりやすいPRをお願いします。	20～24歳	女性
子育て支援。次世代を担う若者や子どもに対する施策を充実させてほしい。“高齢化”よりも“少子化”に危機感をもつべきだと思う。	20～24歳	女性
子育てしやすいような体制を作る。住民税が役に立つようにサービスを充実させて欲しい。	25～29歳	男性
高齢者に対する政策はもちろん重要だが、それ以上に子育て世代に対する支援や負担減のための政策を実施してほしい。(出産費用の補助や、学費の負担など)「子育てにはお金がかかる」という意識を改善していくことが人口減少を見据えたまちづくりには必要だと思います。	25～29歳	男性

全国的にも子育て世帯が市内で使用できる“子育て支援カード”のようなものや商品券についても、他世代より少しお得になるものがありますが、小金井は商品券も全員同じ金額であったり、あまり優遇を感じません。せっかく中央線という良い立地なので、もっと活かしたお金の集め方を考えてほしいと思います。(企業誘致など)子育てセンターも遠すぎます。みんなの使えるような駅近などや“ゆりかご”も一部なので、もう少し広く府中の“たち”を見習ってほしい。また子供が室内で遊べる自由入場などもあるといいと思います。	25～29歳	女性
妊娠出産した方へのプレゼントなども考えるべき。ゴミ代が高すぎる。ゴミ処理現場を作るべき。小金井公園の遊具を増やす。綺麗にする。	25～29歳	女性
子供を安心して出産でき、育てやすい環境である事が大切だと思う。これから出産や子づくりを考えている私にとっては、まず1番にお金の問題がでてきて「お金が安心できるほどもっていない」「子供を生みたいがこの先の費用が心配」等の悩みがあります。人口を増やす為には新しい命が必要かと思いますが、手厚い支援が保証されるように、やっていってほしいです。私自身もこの問題にはシビアに考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。	25～29歳	女性
子育てしやすい街にして、子どもの人口が増える環境作りをする。	25～29歳	女性
女性が出産のために退職しない制度を市がバックアップし、他の市や区の模範となり、注目を浴びる。「小金井市で子供を産みたい。」という特に出産後も働きたいと考える女性に有利な条件を市が用意する。 ex.)育休制度が市に在住もしくは勤務の場合100%認められる。上記が不可能な場合、出産後も労働を希望する女性たちの職場支援を市が行う。	25～29歳	女性
一人一人に対する手厚い保護。出産、育児、介護の充実など。	25～29歳	女性
福祉をもっと充実させてほしい(武蔵野市や府中市、三鷹市のように)。子供がいても妻が働ける環境にしてほしい。今ではパートもできない(子供のあずけ先がない)。小平市などのように子供をうんだ後に、子育てのサポートなどがほしい。近隣の市はあるのに小金井市はない。	30～34歳	男性
先に少子高齢化対策をして、住む人々が子供をもちたくなる施策を進めてほしい。上手くいけば2040年の人口は試算より増えるかもしれない。また助成などは本当に必要な人にこそ情報が届いていないことが多いので、周知してほしい。	30～34歳	女性
市で運営の子供が遊べる室内が近くにほしい。商業施設も一緒だったら、年齢関係なく気軽に休日などに出て行きやすく、人が集まると思います。	30～34歳	女性
子育てひろば・母親同士が交流できる場・子供が安全に友達や異世代と交流できる場がますます重要になってくると思います。	30～34歳	女性
駅に近いのもあり小金井市はとて素晴らしい環境だと思います。子どもを産み、やはり地元に戻りたくるので今から子育てしやすい街にし、20～30年後に今の子供たちが子育てに戻ってくるようにすればよいと思います。小金井の子育て環境に感謝しています。	30～34歳	女性

不妊治療の為、不定期の休みがとれず、長く勤めた仕事をやめ、現在、妊娠中 です。治療で多額な費用を負担していますが、妊娠後再就職は困難ですので、 社会的にも経済的にも不安が大きいです。	30～34歳	女性
小金井市が特に住みやすい街とは思わない。今後、出産を希望しているが、他 の自治体と比較し、子育てに関するサービスがなく、勤務地から少々離れてい るため、今後、転出を検討する予定。	30～34歳	女性
出産費用や子供手あてを充実してほしい。2人産みたいけども、きびしい。出産 費用を無料にしてほしい。税金が高すぎて子供を作る余裕がない。まるで税金 のために働いているような物。生活保護を受けたほうがよっぽど良い。働いて 税金をおさめているのがバカバカしいです。	30～34歳	女性
人口減少しないように少子化対策・子育て支援などの施策をしてほしい。出産 時の年齢が若ければ若いほど、出産費用手当・各種育児手当が増額するよう な仕組みなど。	35～39歳	男性
子育てしにくい。共働きには特に。	35～39歳	男性
子どもに対する保障の充実	35～39歳	男性
子育てにかかる費用の負担を軽くするようにすれば、子供を生もうとする人達 が増えるのかと思います。	35～39歳	男性
調布市のような、すこやか(国領)のような子育て世代に特化した、町づくりをし てほしい。	35～39歳	男性
出産助成金、サポートチケットがほしかった。杉並の応援券のような。小中学校 の学力が落ちないように努力してほしい。	35～39歳	女性
若い世代を取り込む工夫をしてほしい。子育て支援の充実をすすめていけば、 市外からの転入もあるのではないと思う。医療機関が少ないので増やす。	35～39歳	女性
働く人を増やすには女性の社会への進出が必須!!子どもの保育、サポートの環 境をより良いものにしてほしい。小金井市に、大きな企業を!!高齢者(自分自身 も)の予防運動!!子供3人目からの賞与!	35～39歳	女性
高齢者と子どものつながりをもってほしい。また、60代でもまだまだお元気な方 も多いので、保育ジジ、パパの家族預りシステムを設けたらよい。	35～39歳	女性
子育て世帯にもっと特典をつけてほしい。空き屋対策。	35～39歳	女性
子供の医療費援助の拡大など、子育てしやすい環境を作り、若い世代が住み 続けるようにしていく。	35～39歳	女性
共働き世帯が子育てしやすい環境づくり。幼児期からの公的な高度教育サー ビス。高齢者が安心して生活できるサポート	35～39歳	女性
子育て支援、働く人の中には子育てだけでなく老人の介護で仕事をあきらめる 人もいるので育児と介護に援助があると住みやすい町=人が定着しやすい町と なるのではないのでしょうか。「不安」を軽減してくれる制度があれば、住みやすく 人口流出を防げると思います。	35～39歳	女性

核家族だけでなく2世代、3世代と継続して住みたくなる街になるとうれしいです。子育て、介護など頑張っても1人ではやりきれない事について自治体のサービスが充実すると良いですね。小金井で生まれて育った子供達が大人になり、自然と地元のことを大事に思える様に育ててゆきたいです。	35～39歳	女性
--	--------	----

■子育て・教育 5件

回答	年齢層	性別
若手が減っていくのは残念に思う。だから学校施設の向上とともに、福祉を充実させることが大事だと思う。小金井市は学校が多いので、学校と連携するのも良いかもしれません。(小中高を主に)ゴミ問題や市役所なども問題を早急に解決することが第一と考える。	16～19歳	男性
子育てに重点を置いた制度を充実させていくことが必要だと思います。確かに増加傾向の強い高齢者への支援も必要だとは思いますが、これからの小金井市を担っていくのは子ども達に違いありません。具体的かはわかりませんが、小学校や中学校との連携を強化しても良いかもしれません。市内にある高校や大学とも手をつなぎながら、最後に、私はもっと子ども達に市政を身近に感じてもらえたらと思います。投票率低下の防止を含め、日本や小金井市、自分の将来を真剣に考えられる機会は重要ではないでしょうか。	20～24歳	女性
お互い尊重し合い助け合う、そんな心を育てていくような教育をしてほしい。未来は人そして教育の仕方によって決定づけられると思う。	25～29歳	女性
今後は働きながら育児・介護を担うのが主流になると思いますが、仕事をやめなくともケア責任を負える社会を作っていくことが必要だと思います。ワークライフ・バランス制度を充実させる等、市には率先して対応して頂きたい。他市・23区に比べ、子育て支援が充実しているとは言えず、若い世代の意見が市政に反映されていないと感じています。共働き世帯が増加することで、小金井市に落とすお金も増加するのではないのでしょうか。	30～34歳	男性
産婦人科を増やす。(安心して出産、育児できるように)小学校・中学校を選択性にする(区画がわかりづらく通学路が暗かったり、あまり安心な環境でないという印象です)小学生が安心して遊べる場所の確保。幼児と高齢者のふれあいなど。※別かもですが、小学校・中学校のトイレを洋式にして、清潔にして欲しいです。ゴミ問題や駅前ばかり整備されて、駅から遠い市内まわりへの配分が少なく、偏りを感じ、小金井市在住はちょっとはずかしいと思っています。すみません。	35～39歳	女性

■市民の自己実現(誰もがいきいきと暮らせる) 4件

回答	年齢層	性別
空家を有効活用できるようにする。介護施設と保育園などの合体。老人が生きがいを持てるよう畑の開放。	25～29歳	女性

若者にとって魅力を感じられるまちであれば(高齢者のみならず)高齢者→若者に対し、便利な時代に生まれて来て苦労しなすぎないイメージ。若者→大学まで親や周囲からの期待で受験戦争を乗り越えて来て、就職難&非正規雇用地獄。→高齢者の御陰で将来に期待が持てない状態。→高齢者抜きに、若者が将来に希望を感じられる(こんな便利なまちに生まれ変わる(保育園、24時間託児所増設)など+心がワクワクできるまち)とイメージできるまちであれば。	25～29歳	女性
定年後でも、自分らしく元気に働ける職場の拡充。空き家など住環境を整備して、新しく住んでもらったり、店舗として利用できるようにする。ジブリの製作会社があることのアピール→活気ある街に。(小金井の駅をジブリの作品展示したり電車発車のメロディーをジブリの曲に変えるなど、会社に協力をもらう)	30～34歳	女性
小金井は都心と違い居住年数が長いのではないかと。これから高齢化社会を迎えるわけですが、スローライフを過ごせるゆったりした街を、このまま形成・維持して頂ければと思います。	35～39歳	男性

■高齢者福祉 9件

回答	年齢層	性別
老人介護の設備やボランティアの充実。幼児を持つ女性のコミュニティ作りのサポート。	16～19歳	男性
税金の無駄使いをやめて、福祉施設整備やごみ問題解決に充ててほしい。図書館が少ないので、武蔵野プレイスのような充実した図書館がほしい。	20～24歳	女性
高齢化は仕方がない。うちの両親も高齢者である。(母71才・父62才)母は認知症気味で家にこもりがちになってしまった。市に対して思うのは、だんだんそういった人たちが増えていく中で、認知症患者に対しての何らかのコンタクトを取るべきである。これから結婚して小金井を出ていくという時がくるとするならば、私の母はどうなってしまうのか?という不安でいっぱいである。父はまだ頭が大丈夫な方なので、なんとかこなしていますが…2人共となると高齢者に優しい街作りを是非して行って下さい。	25～29歳	女性
自分が2040年の時には60歳手前になるので、その視点から思うことはやっぱり、高齢者施設が(老人ホーム等)充実できれば、金銭的にも安く入れる方向で。子供が貴重な時代になると思うので、保育施設の充実。高齢施設と保育施設が同じ場所、もしくは近くにあればお互いにとってメリットが多いのではないかと。そういう施設を希望します。イメージですが、ジブリアニメの「崖の上のポニョ」のような感じ	30～34歳	女性
高齢化社会を見据えた、介護施設の充実。地域コミュニティがとりやすいように公共の場などを増やす(公民館・図書館)。駅前だけでなく学区ごとにスーパーやコンビニ等、商業施設を増やす(高齢だと駅まで遠いため)。CoCoバスをもっと増やす(路線)特に南北東西。	30～34歳	女性

高齢者と子どもが身近なまちづくり(ポニョのように老人ホームと保育園がとなり同士(近隣)イベントの実施)。孤立した高齢者を生まない街づくり(老人向けインターネット講習など)。企業の誘致(税収を増やす。働く世帯の増加)社宅が作りやすい環境(入れかわるサイクルがある)。建売住宅乱立を抑止する(後の孤立高齢者を防止)。	30～34歳	女性
高齢者に対する訪問診療、看護、介護スタッフの増員、デイケアデイサービス等の施設の充実。健康寿命を延ばすための知識の配布(食事、生活習慣、筋力低下を防ぐ運動etc)	30～34歳	女性
高齢者が増加する中、介護にたずさわる人の賃金が上がらないと支えていく人がいなくなると思う。子育て環境が充実しないと子供は増えないと思う。	35～39歳	女性
高齢福祉と子ども福祉に力を入れ、相互に良い影響があるような環境づくり(ex、高齢+保育施設の創立)。	35～39歳	女性

■医療体制 3件

回答	年齢層	性別
男性・女性不妊専門の病院が市内に一件もない。婦人科で20:00以降でも通える病院もない。不便です。	30～34歳	女性
医療の充実。企業誘致。起業支援。子供が安心して遊べる場所の確保維持。市財政の健全化 全てが必要不可欠な事だと思います。	30～34歳	女性
子育て世代・若い世代の転入を呼び込めるよう、福祉・公共施設・病院等の充実。もともと緑が多く都心からも適度な距離で、ハードは条件がよいが、財政難もありソフトがお粗末すぎる。土地の持つ魅力に頼り過ぎで、行政の努力があまり見えない。既得権をもつ一部の層との癒着が市民にも見えてしまう。行政のあり方はいかかなものかと思う。住むまではそういった部分は分からないことが多いので気にならなかったが、長く住むほど保守的で変化を嫌う消極的な姿勢が目立つように感じた。	35～39歳	女性

■人権、男女平等 1件

回答	年齢層	性別
マタハラ対策ができたらもっと女性が子供を生むと思います。現在「子供ができたら→仕事をやめる」という現状です。人口減少はもともと「日本の考え方」にある。やるべきこと→女性に優しい環境。「子供は将来の投資です」	25～29歳	女性

■安全・安心 1件

回答	年齢層	性別
治安が悪い。住み続けたいとは思わない。	20～24歳	男性

■地域コミュニティ・近所づきあい 7件

回答	年齢層	性別
人口減少に伴い、高齢化が進行する試算が出ているのであれば、地域間コミュニティ施設・趣味団体の充実を図ったまちづくりを希望します。	20～24歳	男性
地域コミュニティの強化	20～24歳	女性
市民の健康増進の為に、市営の食堂を開いてほしいです。単身者の若者や高齢者が健康的なバランスのとれた食事を日々とりつづけることはハードルが高いです。健康的な食事をリーズナブルな価格で夜遅くまで提供する食堂が、駅の近くにあれば、それだけでも小金井に住みたいと思う人が増えるのではないかと思います。地域のコミュニティの場にもなって、良いかと思います。	25～29歳	男性
「高齢者を大好きな市民づくり」私はネイリストをしているのですが、ネイルをすることで笑顔になっていく人が増えるのが好きです。なので年配の方たちも特技を披露して周りを笑顔にする。そんな自慢大会みたいなイベント楽しそう。小金井市に有名高齢者が増えれば小金井市民もきっと高齢者が好きになる!!そんな単純な発想しか思いつきませんでした…。好きになればきっと高齢者も住みやすい町になるし、市民も高齢者のために頑張ると思う。難しいですね。「人口減少を見据えたまちづくり」	25～29歳	女性
小金井はお年よりも子どもも多くみかけます。お年寄り子ども達がコミュニティをもちあげられるような施設づくりやイベントがあるとよいと思います。	30～34歳	女性
近隣の市町も同じような状況だと思います。武蔵野市・国分寺市・小平市・府中市と様々な面で提携するべきだと思います。駅前の好条件にある宮地楽器ホールを武蔵野プレイスのような市民が集える施設に改装し、世代を問わず利用できたら街が活気付くと思います。	35～39歳	男性
高齢者世帯と若いファミリーが気軽に触れ合える場の創設、機会の提供。	35～39歳	男性

■市民参画 2件

回答	年齢層	性別
武蔵小金井駅前のように「どこにでもありそうな街」にしないで、「小金井らしさ」をちゃんとコンセプトを持って住民参加型で作りあげていく。これだけ豊かな自然・公園があり、スタジオジブリもあり、とても恵まれている。特色を出せる環境があるのに活かしきれない。昔を知っている人間にとって、とても悲しい街になってきている。どこに向かおうとしているのか全く分かりません。土建屋などゼネコンとの癒着を疑ってしまいます。	35～39歳	男性
市の施設や公共機関を各所につくり、手厚いサービスを受けられるようにする。税収入が減少することも予測されるため、企業や大型商業施設などを誘致する。近くの大学(これだけ周りに大学がある市もないと思う)と連携し、まちづくりに積極的に参加してもらおう(知恵を拝借また大学の研究対象の1つとする。Win-Winの関係)。ハードではなくソフトで勝負できる魅力のあるまちにするため、市民からの意見を聞けるような機会をつくる。	35～39歳	女性

■日常生活の利便性 6件

回答	年齢層	性別
もう少し栄えて生活必需品がそろいやすくなる。小金井公園は小金井の宝だと思うから、もっとPRする。	20～24歳	女性
武蔵小金井駅北口に商業施設を誘致してほしい。主婦層の買い物する場所が北口には不足している。住むにあたり金銭的なメリットが周辺地域に比べてない。財政が厳しいのであれば、企業を誘致して税収をアップさせる等の対策をしてはどうか。出産祝いと子育て支援金(任意の)予防接種代金とかの補助	25～29歳	男性
東小金井に銀行があると助かります。公園もほしいです。	25～29歳	女性
若い家族世帯を増やす為には、日常生活に不便のない環境を作るのがまず大事だと思う。東小金井は緑も多く都心にも出やすいので良い所だと思うが、駅前に大型スーパー等がなく、となりの武蔵境や武蔵小金井に行かなければいけないものも多く不便を感じる。なので、次のマンションの更新の時には離れようかと迷う所です。おしゃれなカフェやお店ができたのは嬉しかったが、長い目で住む事を考えた時、今の場所を候補に入れるかどうかは難しいと思うのが現状です。	30～34歳	女性
23区内から転居してきて一番の不便さは、23区・埼玉県・横浜いずれの方面へも行きづらいことです。そして市内だけで用が足せるほど設備や施設がそろっている訳でもありません。(だから家賃が安価なのでしょうが)また住民税が優遇されてる事もなく、23区の一部より個人の負担分が多いです。もし同じ住民税であれば夫婦共働きの場合、利便性が良い23区への移住を考えます。その方が公共の施設(病院・学校・図書館・役所)の選択肢も増えます。	30～34歳	女性
高齢者・学生などの若者が暮らしやすい街づくり。駅前開発し充実した利便性の高い環境を求めます。かつ武蔵境・武蔵小金井ほど、ごちゃごちゃ感はなくてよいと思います。緑がたくさん静かさは保ってほしいです。	35～39歳	女性

■交通の利便性 8件

回答	年齢層	性別
都心部(新宿)まで25～30分かかるが、これは時間がかかりすぎである。また中央線の混雑具合はストレスである。中央線の休日運転の停車駅を平日でもスタンダードとし複々線化し、総武線の乗り入れが可能になれば文句なく人口は増えると思う。街の発展=人口増加=交通の利便性だと思う。	20～24歳	男性
中央線しかないのはとても不便(遅延や人身事故等多い為)。高齢化社会に向け、設備を充実したほうがよい(総合病院や老人ホーム等)。とても素敵な小金井市。どの地域よりも素敵で愛される街になりますように。	20～24歳	女性

朝の通勤ラッシュの軽減を市としても取り組んでほしい。例えばバスの運行を増やし、都心へのアクセスが可能な駅まで運ぶ(ex私鉄沿線の駅など)中央線の混雑も少しは減るかもしれない。その結果、流入と定住化もはかれる。マイナンバーの導入で、おそらく市職員の業務は将来的に削減される。窓口の手続きがネット経由になるため。窓口職員を市役所だけでなく出張所などを設置して配置すれば、より行政サービスの拡散がはかれる。職員数も減らせ、高齢者サービスも充実できる。	30～34歳	男性
街の利便性の向上のため。東小金井の駅周辺のさらなる開発と交通機関の改善がすすめばと思います。中央線が止まる東小金井から動けなくなります。京王線や西武線が利用できるバスの運行を期待します。(最低限三鷹行きか吉祥寺行きのバスがあれば便利になると思います)	30～34歳	女性
バスの本数を増やす。大きなショッピングモール。	30～34歳	女性
高齢者、こどものためにもCoCoバスはいいシステムだと思います。続けてほしいです。市民講座や体験教室などの充実(単身であまりチェックしていないので、現状で十分かもしれませんが…)核家族・少子化で兄弟がいなくても自分の子どもが同年代、ちょっと上下、高齢者とも触れ合える機会があればいいと思います。	30～34歳	女性
小金井市はどんどんキレイに便利になっていると思います。電車やバスなどもっと増やして、どこにでも行きやすくしたら、もっと便利になると思います。	30～34歳	女性
若い人が高齢者をささえて行く為にも、都市への交通が大切だと思います。中央線の混雑を少しでも解消し働きやすくする事を、まず考えてほしいです。	35～39歳	男性

■住宅条件 6件

回答	年齢層	性別
空家の貸出し(リノベーション)or販売	25～29歳	女性
子育て中の世帯向けに広い家をなるべく安い値段で貸す。保育園を増やすのが難しいのならば、育休を好きなだけ取得でき、その間の収入を保障する世の中になるように、国や企業にはたらきかける。	25～29歳	女性
都心へのアクセスがよく勤務先や学校に通いやすいため住むには魅力が多いと思われる。特に私のような転勤の多いサラリーマンにとっては家賃が手ごろなマンションが増えれば、地方から戻ってきた際にまた住みつく決め手となるように思う。	30～34歳	男性
1人暮らし用の賃貸マンション・アパートを増やす。(学生・働く世代用と高齢者向け)賃貸マンション等を探すと、古い物件のものが増えています。内装も汚いと選べなくなります。リフォームをすすめて市外からの人を流入させる。街はとても住みやすいと思うので。	30～34歳	女性

住宅の価格が安ければ住む人は増えると思う。中央線沿線の住宅賃貸は比較的、他地域よりも高いが、小金井市が周辺自治体よりも安く設定されれば、人は呼び込めると思う。または武蔵小金井駅へのアクセスのよさも向上すれば(バスなど)よいと思う。小金井街道は渋滞の解消もすみやすさにつながると思う。	35～39歳	男性
①2,3世帯優遇制度。うちの場合は子世帯が小金井市だが親世帯を将来的に呼びたいと考えている。ただし家賃や土地代が高いのがネックだが、逆に親世帯が小金井市に住んでいる場合、子世帯がどんどん入ってくれば、若い人が支えられるのではないのでしょうか?②若い人が高齢者とかかわるシステム作り。近所・地域を含め防災の時に生かせるような関係づくりができるとうい。小金井市に引越してきて本当によかったです。みんないい人で環境もとてもよいです。市の制度をよりよくしようとがんばって下さる皆さんに感謝しています。	35～39歳	女性

■文化・スポーツ 4件

回答	年齢層	性別
誰もが使えるような図書館を建てていただきたいです。小金井市の図書館は使いづらいです。	16～19歳	男性
図書館があまりなくて不便です。隣の市の図書館は9:30～22:00までやっているの勉強するときはわざわざ隣の市まで毎回行っています。もっと学生が勉強できる場が欲しいです。図書館じゃなくてもとりあえず勉強できる場が欲しいです。小金井の図書館みたいに5時で閉館だと、少し早すぎます。	16～19歳	女性
学芸大、緑中のような教育のプロに協力してもらい「知能の街」としてブランド化していくと良いと思います(大人も子どもも)。図書館の図書の知的レベルを上げる(大学図書館レベルの図書の充実)。	30～34歳	男性
駅近くに大きな図書館がほしい。本の数も多い方がよい。	35～39歳	男性

■ごみ問題 14件

回答	年齢層	性別
ゴミ処理場問題解決。施設のバリアフリー化。子育てしやすい環境。	20～24歳	男性
税金が高い。ゴミ処理施設 この問題が良くなれば魅力的。	20～24歳	男性
ごみ処分場の抱える問題を解決して下さい。行政サービスとしても、環境問題としても、看過できない問題です。受益者と受苦者がはっきり分かれる問題の為に、対応が難しいと思いますが、本気で人口減少を見据えたまちづくりを考えるのであれば、持続可能性を重点にまちづくりをすべきと(インフラ面で)考えます。	20～24歳	男性
1.ゴミ処理場 2.ゴミ処理場 3.ゴミ処理場	20～24歳	男性

ゴミ袋を有料にする時点で、製造費用がかかり環境にも良くない。ゴミ袋を梱包している袋にも費用がかかりゴミも増える。ゴミの分別の意識づけとしては良いが、現にゴミ袋有料化も1つの項目として引越しを考えている人々もいるので、一考あるのではないかと…。	20～24歳	女性
現在のまちづくりが行えていないのに、「人口減少を見据えたまちづくり」なんてできると思えません。ゴミ問題、保育園の不足、必要な人に使えない、入園できない、ゴミにコストがかかる。目の前の問題を解決できない市が、この先の問題を解決していける市だと誰か思うのでしょうか。今の問題を一つ一つ解決して下さい。そうすれば、これから先の問題も解決していける良い市になると思います。住みやすいと思える事をすれば良いだけだと思います。よろしくお願いします。	25～29歳	男性
住民税の減税。市の施設の充実。ゴミ袋無料。	25～29歳	女性
一番身近に感じていることは、ゴミ袋が高いことです。交通アクセスも便利でいい街だとは思いますが、子供ができて小金井に住むかどうかは分からない。お金次第かなと思います。	30～34歳	女性
ごみ問題の解決	30～34歳	女性
小金井市の税金がまず高すぎます。そのわりに街の整備もいまいちで越してきたのを後かいています。又、ゴミ問題もどうかしてほしいです。野川の方にも土地があるならゴミ焼却場をつくればいいのではと思います。ゴミ袋も高すぎ、市民にやさしくありません。市民のことをもっと考えてほしいです。東小金井駅も改札口が10:00すぎるとNONOWA口は閉まる。市民に優しい寄りそった街づくりに今後期待します。	30～34歳	女性
人口が増加している若い世代の多いうちに市役所庁舎、ゴミ問題などを解決しておかないと市政が立ちゆかなくなると思います。こきんちゃんグッズをもう少し手広くできないのでしょうか。手土産にしようと買いに行っても欠品している事が多い。貴重な収入源ではないのでしょうか。	30～34歳	女性
将来を見据えるのも大切ですが、現在解決していないゴミ処理問題や保育施設の充実等を図り、現在の足場を固め、今住んでいる住人が今後もずっと住みたいと思う環境を作るのが市政の第一歩であり、将来に向けた取り組みにもなると思います。	35～39歳	男性
小金井市のゴミ問題の解決策を深刻に考えていくことが大切だと思う。これによって他の地域からの移住者が増加。またはより良い環境作りとなり、人口減少をふせぐことも可能であるのでは。駅前開発も大切だと思うが、住民一人一人に街を好きになってもらうのが一番大切な気がする。	35～39歳	女性
税金・住民税・ゴミ問題・ごみ袋が高い!ごみ無料化	35～39歳	女性

■その他 26件

回答	年齢層	性別
市役所の職員を減らす。	16～19歳	男性
ユニバーサルデザインを積極的に取り入れる。	16～19歳	女性
税金のムダ使いをやめて、市民のためになる使い方をして下さい。	16～19歳	女性
補助金の充実。	20～24歳	男性
高齢者の多い小金井が2040年、人口が減少するのは必然のように思える。若者への支援を検討するべき。	20～24歳	女性
人口を増化させようと努力すれば、町としても成長して行くと思います。がんばればいいんじゃないですか？	20～24歳	女性
小金井市に住む人全員が問題意識を持つことと現状を理解することが必要だと思います。各所帯の所得は割と高く生活保護を受けている人も少ない恵まれた環境なのにもったいないと思います。経営収支を一刻も早く80%台に落とすよう子ども手当なり社会保障なり給与なり削るべきだと思います。	20～24歳	女性
駅で配っているティッシュや生ごみの水切り袋を作るお金があるなら税金を安くしてほしい。あと、駅で配ることがもらえない人もいて不公平。小金井市民を優先にしてほしい。小金井ごみ袋を安くしてほしい。小金井のイメージキャラクターこきんちゃんのグッズを増やしたり、宮崎駿さんが作ったキャラクターこきんちゃんをもっと売りにした方が良い。小金井のきれいな水を全国へ発売して知ってもらおう。このアンケートの謝礼を出すべき。乳がん検診を2年ごとに2000円ではなく、毎年2000円の方が良い。	20～24歳	女性
タニタの健康プロジェクトを導入してほしい。	25～29歳	男性
前問30で申し上げたとおりです。この面積の小さい市に対し、市議、市職員の数には明らかに過大です。都下におけるベッドタウンでしかないのですから、都心通勤者への配慮等にもっと重点を置くべきです。貴市の発展を祈念しております。	25～29歳	男性
若人が働きやすい環境づくりが大切だと思います。仕事の拘束時間を減らしたり、高齢の方だけでなく、若人への金銭負担軽減も視野に入れて頂きたいです。(増税も予想されているようなので…)	25～29歳	女性
東京都の他の市からの転居で小金井市に来ました。前に住んでいた市よりも国民健康保険がとつても高く驚きました。市によってこんなにも違うものなのかと。正直、他の市へ引越したほうが良かったかなとも思いました。	25～29歳	女性
そんなざっくりした質問には答えられません。もう少し具体性のある質問にして下さい。	25～29歳	不明
若い世代が住みやすいまちづくりをしてもらえれば良いと思います。そうすれば自然と人が増えます。よく考えて街作りをして下さい。	30～34歳	男性
人口は減ったほうが良いと思います。人が多すぎです。	30～34歳	男性
大学があり学生が多く住んでいると思うので、彼らが卒業後も小金井市に残りたいと思えるような町にする。65才以上の方々が働ける環境を作る。	30～34歳	女性

高齢化社会になる事によって、若い世代に重くのしかかってくる負担を減らして、未来ある若者に私達大人が負担をかけずに責任を取っていくか、収入が無くても暮らしていけるようにするか、ムダな財を町や国が使わず考えてほしい。	30～34歳	女性
小金井市は所得の高い高齢者が多いので、その人達の税金を高くして、その分介護や医療サービスを充実させるといいと思う。高齢者を若年層が支えるのではなく、高齢者が子育て世帯を支えるまちがあってもいいのではないか。	30～34歳	女性
余裕が何事にも大事かと	35～39歳	男性
高齢者に向けた施策よりも、これからの世代に向けたまちづくりをしてほしい。	35～39歳	男性
納税をしている者として、税金をお給料とされていらっしゃる皆様が上記の事をお考えになる立場ではないでしょうか？	35～39歳	女性
既存施設の空きスペースを活用したり、耐震補強をして新しく立派な建物を作らないでほしい。(役所など)若者に借金を残さない政策を望みます。	35～39歳	女性
税金の使い方を適正に、住民サービスを公正に。	35～39歳	女性
まちづくりの計画という、とにかく施設の整備・道路の整備・公園・ショッピングセンター等、ハード面の整備に目が行きがちですが、小金井市というコンパクトな地域柄また既に充分ハード面は整っている。というかどんなに作っても誰かしらから不満は出ると思うので、やはりいかにソフト面での充実を図れるかだと思います。今回のオリンピック・国立競技場の件でもそうですが、お金をかけてハードを作るという、お金の使い方はもはや時代遅れです。今あるハードを生かし、いかにソフトで勝負できるかが今後のカギになってくると思います。	35～39歳	女性
特定の年齢・世代のための施設でなく、あらゆる年代の人間が集い利用できるような場を設けていく。(例、保育園+ケアホーム)	35～39歳	女性
小金井で育った若者が、また小金井で家庭を持つと思うような街づくりができるとよいと思います。そうすることで、他からの転入も増えるのではないのでしょうか？	35～39歳	女性

第6章 調査票

1. 若年世代の進学・就職・出産・子育てなどに関する意識調査

進学・就職・出産・子育てなどに関する意識調査

～人口減少を見据えたまちづくりを進めていくために～

日頃から、市政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、日本各地において、人口減少やそのことに起因する、まちの活力の低下が問題となっており、小金井市においても、近い将来、人口減少社会が到来し、これらの課題に直面することは避けられない状況です。

そのような状況を踏まえ、小金井市では、人口減少に的確に対応し、まちの活力を維持していくための、今後5年間の施策の方向性を示していくため、「人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたします。

将来を担う子どもや若い世代が「住みやすい」「住み続けたい」、または「また、戻ってきたい」と思えるまちづくりを進めるにあたって市民のみなさんのご意見等を活用させていただくため、平成27年7月1日を基準日として、市内にお住まいの**16歳から39歳の方2,000人**を対象に、アンケート調査を実施します。

人口変動に影響を与える、進学・就職・出産・子育てに関する実態や考え方を伺い、今後の取組みを検討する際の基礎資料とさせていただきます。

ご記入いただいた内容について、個人の情報が公表されることはありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。将来の小金井のため、率直なご意見をお聞かせください。

平成27年7月

小金井市長 稲葉 孝彦

ご回答にあたってのお願い

- 1 この調査の回答は、あて名のご本人がご記入いただきますようお願いいたします。なお、あて名のご本人がご記入できない場合は、ご家族の方などがお考えを聞きながらご記入ください。
- 2 ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 3 お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 4 質問によって、○をつける数を「1つだけ」「あてはまるものすべて」などと指定していますので、その範囲内でお答えいただきますようお願いいたします。
- 5 「その他」にあてはまる場合は、()にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**8月17日(月)まで**にご投函ください(切手を貼る必要はありません。)。なお、調査の内容などについて、わからないことがございましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 小金井市企画財政部企画政策課 担当: 廣田、津田

電話 042-387-9800

メールアドレス s010199@koganei-shi.jp

市外から小金井市に転入してきた方にお伺いします。

問10 転入の理由は何ですか。(最も大きな要因1つに○)

- 1 あなたの仕事の都合(就職・転職・転勤など)
- 2 親や子どもの仕事の都合(就職・転職・転勤など)
- 3 あなたの学校の都合(進学・転校など)
- 4 子どもの学校の都合(進学・転校など)
- 5 結婚のため
- 6 親や子ども、その他親族との同居のため
- 7 親や子ども、その他親族との近居のため
- 8 住宅の都合(家の購入・借家の借り換えなど)
- 9 生活環境(交通や買い物の利便性・治安など)をよくするため
- 10 その他()

問11 小金井市を選択した理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 通勤・通学に都合がよかったから
- 2 住宅購入費・賃料が手ごろだったから
- 3 希望していた広さの住宅があったから
- 4 親や子どもの近くに住みたかったから
- 5 みどり・水辺などの自然環境がよいから
- 6 道路などの都市基盤が整備されているから
- 7 子育て環境が希望に合っていたから
- 8 教育環境が希望に合っていたから
- 9 病院などの医療体制が充実しているから
- 10 街並みや街の雰囲気がよいから
- 11 生涯学習・文化などの公共施設が充実しているから
- 12 高齢者や障がい者の福祉が充実しているから
- 13 治安がよいから
- 14 静かな環境で生活したかったから
- 15 小金井市に魅力を感じたから →問11-1へ
- 16 その他()

問11-1 問11で「15」を選択した方にお伺いします。

あなたが感じた小金井市の魅力は何ですか。具体的に書いてください。

現在、高校生の方にお伺いします。

問12 高校卒業後の進路はどのように考えていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 大学・短大、専門学校などに進学したい →問13へ | |
| 2 働きたい →問15へ | |
| 3 その他 () | |

問13 問12で「1」と回答した方にお伺いします。

学生生活を送る上での住まいはどのように考えていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 自宅から大学などに通いたい | 2 自宅から離れて大学などに通いたい |
| 3 住まいにはこだわらない | 4 その他 () |

問14 問13の回答のように住まいを希望する理由はなんですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1 小金井市以外に暮らしたい地域があるから →問17へ | |
| 2 親もとを離れて暮らしたいから | 3 小金井市に愛着があるから |
| 4 住みなれた地域で暮らしたいから | 5 自宅の方が生活に困らないから |
| 6 地元の友人がいるから | 7 親が希望しているから →問18へ |
| 8 行きたい大学があるから | |
| 9 その他 () | |

現在、高校、高専、短大・大学、専門学校などに在学中の方にお伺いします。

問15 就職先の地域に関して希望はありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 市内で働きたい | |
| 2 市外(小金井市の自宅から通える地域)で働きたい →問16へ | |
| 3 市外(小金井市の自宅から通えない地域)で働きたい | |
| 4 特にこだわらない(働ければいい) | |
| 5 働きたいと思わない →問18へ | |
| 6 その他 () | |

問16 問15で「1」～「3」と回答した方にお伺いします。

問15の回答のように働く場所を考える理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 小金井市以外に暮らしたい地域があるから →問17へ | |
| 2 親もとを離れて暮らしたいから | 3 小金井市に愛着があるから |
| 4 住みなれた地域で暮らしたいから | 5 自宅の方が生活に困らないから |
| 6 地元の友人がいるから | 7 親が希望しているから →問18へ |
| 8 働きたい会社があるから | 9 自宅から徒歩圏の場所で働きたいから |
| 10 地元で働くことに興味があるから | |
| 11 その他 () | |

問17 問14で「1」を選んだ方、または問16で「1」を選んだ方にお伺いします。

暮らしたい地域とその理由は何ですか。

地域や街の名前： 理由：

小金井市の住みやすさなどについてお伺いします。

問28 小金井市は住みやすいと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 住みやすい
- 2 どちらかというに住みやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 やや住みにくい
- 5 住みにくい

問29 将来、小金井市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 住み続けたい
- 2 どちらかというに住み続けたい
- 3 あまり住み続けたくない
- 4 住み続けたいと思わない
- 5 わからない

問30 「住み続けたいまち」とはどんなまちだとお考えですか。(○は3つまで)

- 1 みどり・水辺などの自然環境がよい
- 2 街の清潔さなどの住環境がよい
- 3 温暖化対策など環境への配慮がある
- 4 駅周辺の整備などの街の利便性が高い
- 5 商店街の活性化などの街の賑わいがある
- 6 市内外から多くの人が訪れ、楽しめる
- 7 安心して子どもを産み育てられる
- 8 子どもがのびのび育つ環境がある
- 9 学校などの教育・学習環境がよい
- 10 誰もがいきいきと暮らせる
- 11 高齢者が安心して暮らせる
- 12 安心して医療を受け、健やかに暮らせる
- 13 個人の人権や生き方を尊重される
- 14 街が安全・安心である
- 15 地域コミュニティ・近所づきあいがある
- 16 まちづくりに幅広い世代が参加している
- 17 買物などの日常生活が便利である
- 18 勤務地や繁華街への交通が便利である
- 19 住宅条件(広さ・日当たり・家賃などのバランス)がよい
- 20 文化施設やスポーツ施設など、余暇活動がしやすい環境がある
- 21 その他()

みなさんのご意見をお聞かせください。

小金井市では、平成27年（2015年）7月1日現在、117,833人が暮らしています。

小金井市の人口は、現在は微増傾向にありますが、国の機関（社会保障・人口問題研究所）の試算では、将来の小金井市の人口は、平成32年（2020年）に約12万3千人まで増加した後、減少に転じ、平成52年（2040年）には約11万7千人になると言われています。さらに、その試算では平成52年（2040年）時点での高齢化率は約33%となり、将来的に人口減少、そして高齢化が進んでいくことが予想されています。

そのような将来予測が示されるなかにあって、小金井市では現在、「人口減少を見据えたまちづくり」に向けた検討を進めています。

問31 「人口減少を見据えたまちづくり」を進めていくために、何かご意見・アイデアがありましたら、是非お聞かせください。



以上でアンケートは終了です。返信用封筒に入れてご返信ください。
ご協力ありがとうございました。

小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進学・就職・出産・子育てなどに関する意識調査報告書
平成 28 年3月

発行 小金井市 企画財政部 企画政策課
〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号
TEL:042-387-9800 FAX:042-387-1224
<http://www.city.koganei.lg.jp>

この報告書の用紙には、古紙を配合しています。